Panasonic

DVDプレーヤー一体型Hi-Fiビデオ
取扱説明書

品番 NV-VHD1

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックDVDプレーヤー一体型Hi-Fiビデオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT9499

もくじ

はじめに

使用前

ページ

ビデオ

再生・録画

ページ

予約録画

ページ

便利機能

ページ

DVD

基本再生

ページ

応用再生

ページ

初期設定

ページ

その他

編集

ページ

ご参考

ページ

特長／付属品

特長

■本機1台でビデオとDVDの両方が楽しめます

ビデオ側が予約録画中、または予約録画の待機中の場合でも、電源を入れてDVD側の機能をお楽しみいただけます。

録画チェック(➜33)
ビデオ側で録画をしながらDVDの視聴ができ、現在行っているビデオの録画状況の確認もできます。

自動出力切換(共用出力選択➜46)
操作や本機の動作に応じて、自動的にビデオとDVDの出力が切り換わります。

ビデオ/ディスク同時出力
ビデオとDVDをそれぞれ同時にお楽しみいただけます。

■ビデオ部

5倍モード(➜32)
例えば、120分カセットに約10時間の録画ができます。

かんたん予約ガイド(➜34,36)
テレビ画面の指示に従って、簡単に予約の操作をすることができます。

プログラムナビ(➜40)
リストを使って予約録画した番組を簡単に探せます。

テープリフレッシュ(➜43)
カセットの内容を一度にすべて消去することができます。

■DVD部

ワンタッチシネマメモリー(➜55)
A (アドバンスド・サラウンド)(V.S.S.)、B (バス・プラス)、C (シネマ)、D (ダイアログ・エンハンサー)それぞれの設定を記憶させ、ワンタッチで呼び出すことができます。

- **Advanced Surround (V.S.S.)(A)(➜55)** (アドバンスド サラウンド)
  フロントスピーカー(L/R)だけでもサラウンド感を得ることができます。
- **Bass Plus(B)(➜55)** (バス プラス)
  アクティブサブウーハー(アンプ内蔵)に接続して、迫力ある重低音をお楽しみいただけます。
- **Cinema(C)(➜55)** (シネマ)
  画面の暗部の輪郭を忠実に再現するなど、映画の再生に適した画質でお楽しみいただけます。
- **Dialogue Enhancer(D)(➜55)** (ダイアログ エンハンサー)
  映画など、迫力ある効果音が記録されたソフトでのセリフ部を聞きやすくすることができます。

100倍速サーチ(➜50)
DVDでは、100倍速で早送り/早戻し再生がお楽しみいただけます。

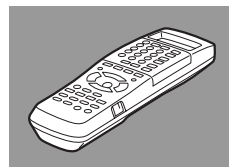
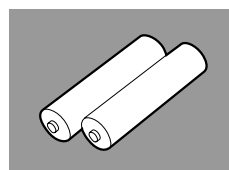
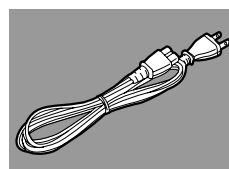
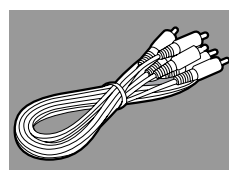
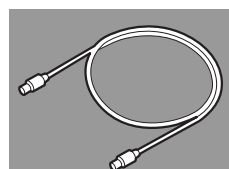
D1映像出力端子(➜19)
輝度(Y)信号、コンポーネント(CB、CR)信号に分離して記録されているDVDの映像情報をそのままテレビに伝えます。

前面光デジタル音声出力端子(➜60,68)
MDなどへデジタル録音することができます。

DVD-R、CD-R/RW対応(➜10)
DVD-R、音楽用CD-R/RW再生に対応しています。

MP3(➜76)再生対応(➜10,48)
MP3で記録されたCD-R/RWの再生に対応しています。

付属品

- 下記の部品が入っているか確かめてください。
- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。
  (以下に品番を記載しているもののみ)
- この取扱説明書に記載の付属品・別売品のメーカー希望小売価格・品番は、2001年11月現在のものです。
- **メーカー希望小売価格には消費税や工事代などは含まれていません。**

リモコン
(➜14)
EUR7901KR0
メーカー希望小売価格：5,000円

リモコン用乾電池(2本)
(➜17)
単3形乾電池(R6P)

電源コード
(➜18)
VJA0536T
メーカー希望小売価格：400円

映像・音声コード
(➜18)
K2KA6BA00002
メーカー希望小売価格：300円

75Ω同軸ケーブル
(➜18)
VJA1125
メーカー希望小売価格：400円

- (➜○○)は、参照していただくページを示します。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

表示	内容
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)**

絵表示	内容
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

「安全上のご注意」**(➔5〜7)**に記載の本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠警告

煙が出ている、異常に熱い・においい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。
●販売店にご相談ください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。
●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

内部に水や異物などが入ったときやキャビネットが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。
●販売店にご相談ください。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

禁止

火災・感電・故障につながります。
●乳幼児にご注意ください。

電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。
●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

指定(交流100ボルト)以外の電源電圧では使わない

また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

禁止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

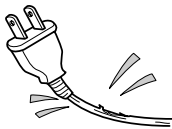
安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

電源コードやプラグを破損させない

禁止

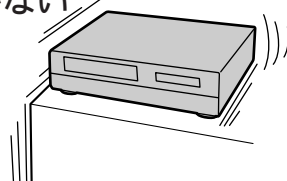
ステープルなどで
壁などに固定すると、コードが破損し、火災・感電につながります。
●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

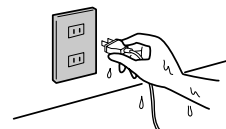
内部に水が入ると
火災・感電・故障につながります。
●水が入ったときは、販売店にご相談ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁止

落下すると、
けがや製品の故障につながります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

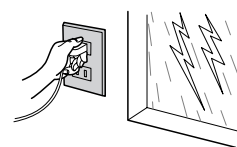
感電につながります。
●必ず、乾いた手で抜き差ししてください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。
●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

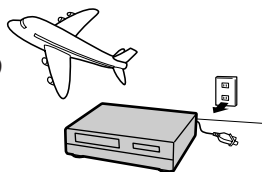
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグにふれない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

⚠注意

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

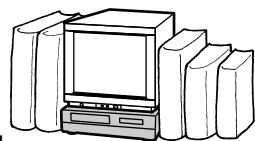
電源プラグを抜く

誤って内部にふれると、
感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災のおそれがあります。
(ディスクや、テープ保護のためカセットも取り出しておいてください)

風通しの悪いところ、狭いところに置かない

高温になると発熱し、
火災・感電のおそれがあります。

●次のようなところに置かないでください。
・押し入れ、本箱など、風通しの悪いところ。

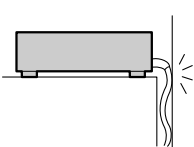
・じゅうたんやふとんの上。

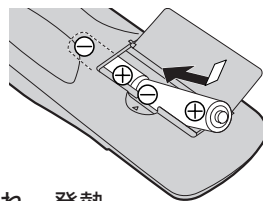
禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところに置かない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると、火災・感電のおそれがあります。
●1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。
(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です)
●費用についても、そのときお確かめください。

⚠注意

電源コードが無理に曲げられるような設置をしない

禁止

電源コードが破損し、火災・感電・故障のおそれがあります。
●後面は、壁から10cm以上離してください。

コード類を接続したまま移動させない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電・故障のおそれがあります。
●必ず、接続を外してから移動させてください。

電源コードを持って抜かない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。
●必ず、電源プラグを持ってください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

倒れたり落下などをして、けがをするおそれがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要です

アンテナが倒れると、けがや感電するおそれがあります。
●販売店にご相談ください。

カセット挿入口・ディスクトレイに指を挟まれないように注意する

指に注意

けがをするおそれがあります。
●乳幼児にご注意ください。

電池は、⊕ ⊖を確かめ、正しく入れる

間違えると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

電池の⊕ ⊖部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。
●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

新しい電池と古い電池をまぜて使わない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

電池を分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

充電式電池や種類が違う電池を使わない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

液漏れしたときは：

●万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

設置・使用するとき

■接続するときは、すべての機器の電源を切る

■水平なところで使う

下に雑誌などを置いて傾けて使わないでください。

■カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

■ディスクトレイにディスク以外のものを入れない

■揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

- キャビネットが変形したり、塗装がはげるおそれがあります。

■前面パネルについて

- 本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体(ビデオ/DVD)表示窓の文字(テープカウンターなど)が見にくいことがあります。

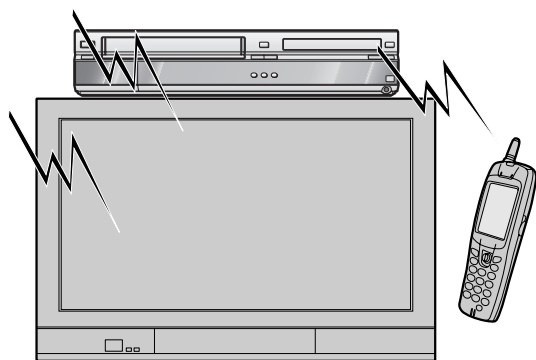
音量について

■DVDの再生中に音量を上げている場合、別の入力への切り換え時などには音量に気を付ける

- 本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。
  別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

録画・再生中は

■強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない

- 映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりするおそれがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

大切な録画のとき

■二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

- 本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

「露付き」について

■「露付き(つゆつき)」とは

- 冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「露付き」といいます。

- 本機やカセットに「露付き」が起こったまま使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
- 「露付き」が起こりやすいとき
  - ・梅雨の時期
  - ・本機やカセットを寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
  - ・寒い部屋を急に暖房で暖めたとき
  - ・エアコンの冷風がビデオやカセットに直接当たっているとき
  - ・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ・設置した直後
- 「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2時間程度)、電源を入れたまま放置してください。
- ディスクに露が付いたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

使わないとき

- 長期間(約1か月以上)使わないときは、カセットとディスクを取り出し、電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  カセットは、テープを始端まで巻き戻してから取り出してください。
- 電源コンセントに接続されていると、電源を切っても約2.2ワット(時刻表示消灯時は約1.7ワット)の電力を消費しています。
- 機能を保つため、1か月に一度くらいは再生などをしてお使いください。

お手入れについて

■キャビネットが汚れているとき

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

■汚れがひどいとき

- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
  そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

移動・輸送するとき

■落としたり、ぶつけたりしない

■カセットとディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

著作権について

■あなたが録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■著作物を無断で放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。
Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

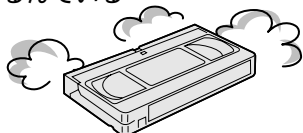
この製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。
著作権1992－1997年ドルビーラボラトリーズ。
不許複製。

「DTS」および「DTSディジタルサラウンド」はDTS社の商標です。

カセットについて

品質のよいカセットを使う

■お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット(テープ)の例
  - ・ほこりやカビなどが付いている
  - ・ジュースや水などの液体が付いている
  - ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
  - ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
  - ・テープがたるんでいる

- このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたりテレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
  ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの取り扱いについて

■落としたり、激しい振動を与えたりしない

■お茶やジュースなど、液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

■新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

■使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

■次のようなところに置いたり保管したりしない

- 急激な温度の変化や、湿度の高いところでの保管・使用は、「露付き」の原因になります。**(➜8)**
  - ・ほこりの多いところ
  - ・高温になるところ(推奨温度：15 ℃～25 ℃)
  - ・温度差が激しいところ
  - ・湿度の高いところ(推奨湿度：40 %～60 %)
  - ・湯気や油煙の出るところ
  - ・冷暖房機器に近いところ
  - ・自動車のダッシュボードの中

■強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

ディスクについて

再生できるディスク

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。
本書では、記号を用いてその説明箇所に当てはまるディスクを表しています。

ロゴマーク	名称	本書内マーク
	DVDビデオ 12cmまたは8cm リージョン番号：「2」または「ALL」 映像方式：NTSC	DVD
	DVD-R 4.7 GB for General Ver.2.0 映像方式：NTSC	DVD
	ビデオCD 12cmまたは8cm 映像方式：NTSC	VCD
	音楽CD 12cmまたは8cm	CD

- CD-R/RWも再生できます。

■DVD-Rディスク

- DVDビデオレコーダー「DMR-E20」(当社製)でDVD-Rディスク(当社製)に録画し、ファイナライズしたDVD-Rは「DVDビデオ」として再生できます。
  ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できない場合があります。

■CD-R/RWディスク

- CD-DAフォーマットまたはビデオCDフォーマットで記録され、録画・録音終了時にファイナライズ*されたCD-R/RW再生に対応しています。
  *CD-R/CD-RW再生対応機器で再生できるよう処理すること。
- MP3で記録されたCD-R/RWの再生に対応しています。
- 記録状態によっては再生できないことがあります。

DVD、ビデオCDのなかには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。
ディスクのジャケットなどもご参照ください。

■再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD
- PAL方式で記録されたディスク
- DVD-RAM
- DVD-ROM
- DVD-AUDIO
- ＋RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CDV
- CD-G
- CVD
- VSD
- フォトCD
- SVCD
- SACD
- MD
- MO
- PD
- MVDISC

リージョン番号について

リージョン番号とは、発売地域ごとにDVDビデオソフトと機器に割り当てられた番号です。
本機のリージョン番号は「2」です。
本機は「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」のいずれかが表示されたもののみ再生できます。
例)

…など

ジャケットの各マークについて

- **音声数**

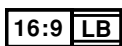
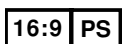
- **字幕数**

- **アングル数**

(数字は記録されている数を示します)

- **画面サイズ(横：縦)**

4:3 ：横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。

LB ：レターボックス(横：縦＝4：3で上下に黒帯が入っている画面)で記録されていることを示します。

16:9 LB ：横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されていることを示します。

16:9 PS ：横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビの場合はパン＆スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生されるように指定されていることを示します。

テレビに映し出される映像は、テレビの画面サイズ(横：縦)やテレビの画面モードによって異なります。

- **記録されている音声の種類**

DOLBY DIGITAL ：ドルビーデジタル:
本機では、このディスクを2チャンネルの音声でお楽しみいただけます。

：DTSデジタルサラウンド:
DTSデコーダーを内蔵する機器(別売)と接続すると、DTSの音声をお楽しみいただけます。

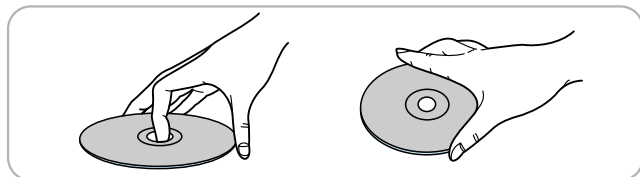
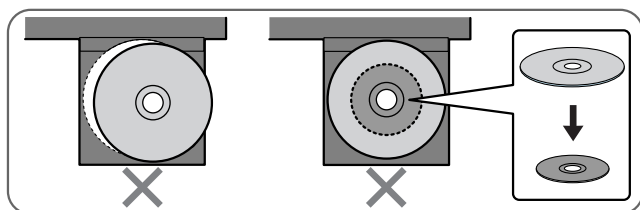
再生時の制約について

DVD、ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、再生状態が決められているものがあります。
このようなディスクの場合、本機はソフト制作者の意図に従って再生するため、操作したとおりに動作しないことがあります。
再生するディスクに付属の説明書も合わせてご覧ください。また、プレイバックコントロール付ビデオCDでは働かない機能があります。

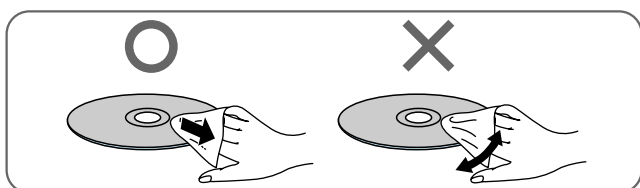
例：
- 頭出しのために**スキップ** ⏮ ⏭ を押しても、“⃠”(禁止)マークが表示される。
- インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中は、続き再生メモリー機能やリピート再生、マーカー等の機能が働かない。…など

ディスクの取り扱いについて

ディスクの破損や故障の原因になりますので、次のことをお守りください。

- 左ページのマークが入ったものでも、ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使わない。(故障の原因になります)
- そりの大きなディスク、割れたりひびの入っているディスクは使わない。
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない。
- シングルディスク(8cmディスク)アダプター、CD用スタビライザー、傷付き防止用プロテクターなどは使わない。
- 汚したり、傷付けたりしない。
- 落としたり、曲げたりしない。
- サインペンやボールペンなどで文字を書かない。
- 紙やシールをはらない。
- 再生面にふれないようにして持つ。

- 再生したい側のラベルを上にして、ディスクトレイに置く。
- ガイドからずれたまま、ディスクトレイを閉めない。
- ディスクトレイに2枚以上のせない。

お手入れ・保管するとき

■指紋やほこりが付いたとき

- 水を含ませたやわらかい布で図の方向にふいてください。
  推奨品：クリーニングクロスVUA7091(別売)

- レコードクリーナー、シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

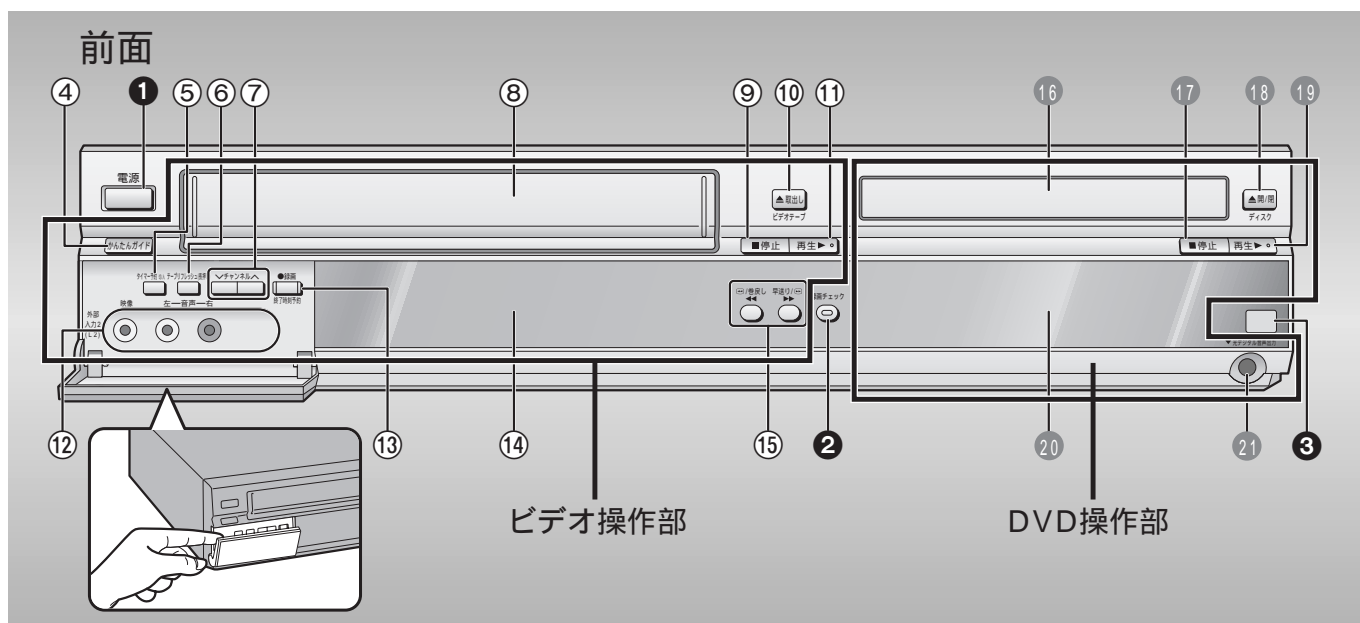
■保管するとき

- 専用のケースに入れる。
- 次のようなところに置いたり保管したりしない。
  - ・直射日光の当たるところ
  - ・湿気やほこりの多いところ
  - ・暖房機器の熱が直接当たるところ

各部の名前

詳しくは、関係するページをお読みください。

本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

前面

■ビデオ/DVD共通操作部

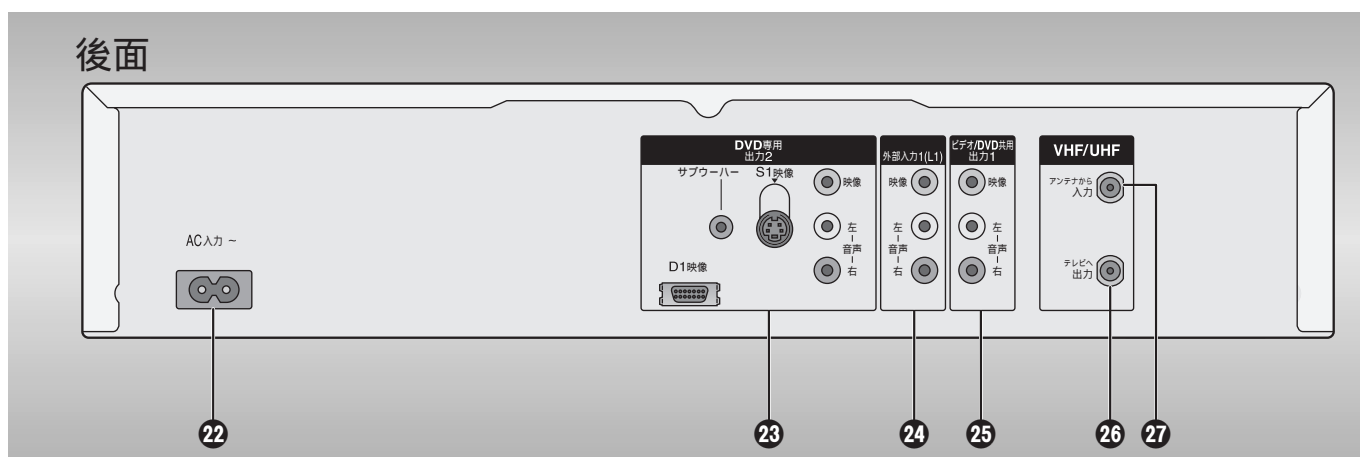
❶ 電源 ボタン……(➜22)
❷ 録画チェック ボタン……(➜33)
❸ リモコン受信部……(➜17)

■ビデオ操作部

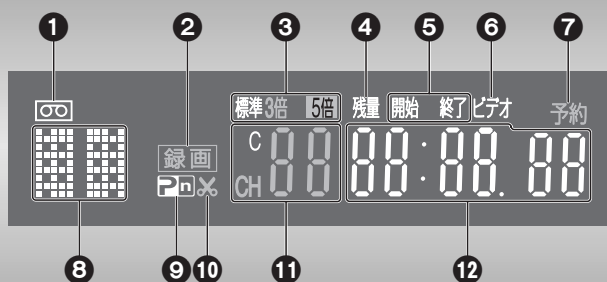
④ かんたんガイド ボタン……(➜34,36)
⑤ タイマー予約 切/入 ボタン……(➜39)
⑥ テープリフレッシュ(長押し) ボタン……(➜43)
⑦ チャンネル ∨ ∧ ボタン……(➜22,32)
⑧ カセット挿入口……(➜28)
⑨ ■停止 ボタン……(➜28)
⑩ ⏏取出し(ビデオテープ) ボタン……(➜28)
⑪ 再生▶ ボタン……(➜28)
⑫ 外部入力2(L2)端子……(➜67)
(映像・音声左右)
⑬ ●録画/終了時刻予約 ボタン……(➜32,33)
⑭ ビデオ表示窓……(➜右ページ)
⑮ 巻戻し◀◀ 早送り▶▶ ボタン……(➜28)

■DVD操作部

⑯ ディスク挿入口……(➜48)
⑰ ■停止 ボタン……(➜49)
⑱ ⏏開/閉(ディスク) ボタン……(➜48)
⑲ 再生▶ ボタン……(➜48)
⑳ DVD表示窓……(➜右ページ)
㉑ 光デジタル音声出力端子……(➜60,68)
DVDのデジタル音声出力専用端子で、光デジタルケーブル(別売)のみ接続できます。

後面

㉒ 電源入力ソケット……(➜18)
㉓ DVD専用出力2端子……(➜19)
(映像・S1映像・D1映像・音声左右・サブウーハー)
㉔ 外部入力1(L1)端子……(➜66)
(映像・音声左右)
㉕ ビデオ/DVD共用出力1端子……(➜18)
(映像・音声左右)
㉖ VHF/UHF出力(テレビへ)端子……(➜18)
㉗ VHF/UHF入力(アンテナから)端子……(➜18)

本体(ビデオ/DVD)表示窓

詳しくは、関係するページをお読みください。

■ビデオ表示窓

❶ 📼 ....(➜28)
- カセットが入っているとき。
- カセットが入っていないときに、録画、予約録画などの操作をすると点滅。

❷ **録画**(橙色) ....(➜32)
- 録画中、予約録画中。

❸ **録画モード** ....(➜32)

標準 ：標準モードで録画・再生中。
3 倍(橙色)：3倍モードで録画・再生中。
標準3倍 ：ぴったり録画(**➜35,37**)で予約した番組の予約録画確認中。
5倍(橙色)：5倍モードで録画・再生中。

❹ **残量** ....(➜44)
- テープ残量表示中。

❺ **開始・終了** ....(➜33,34,36)
- 予約録画の開始・終了時刻を表示中。
- 終了時刻予約録画中。

❻ **ビデオ** ....(➜22)
- 本機の映像を見ているとき。(映像・音声コードで接続していないときのみ)

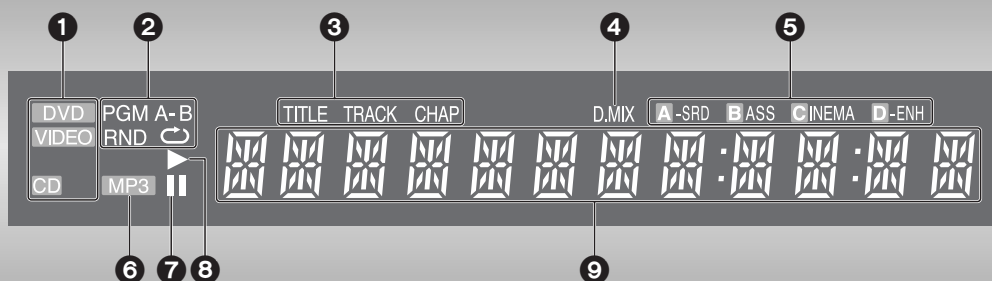
❼ **予約**(橙色)
- 予約録画の待機中、実行中。

❽ **動作状態** ....(➜28,32)
- 再生、早送り、巻き戻しなど、本機の動作状態を表示。

❾ **プログラムナビ** ....(➜40)
- プログラムナビ機能が「入」のとき。

❿ ✂(橙色) ....(➜33)
- CMカット録画時。

⓫ **チャンネル番号**(橙色)
- テレビ放送受信中、予約録画操作時の予約チャンネルを表示。

⓬ **メイン表示部**
- 現在時刻、テープカウンター、テープ残量
- 予約開始・終了時刻
- サービス番号…など。

■DVD表示窓

❶ **ディスクの種類** ....(➜48)

DVD VIDEO：DVDビデオ、DVD-R
VIDEO CD ：ビデオCD
CD ：音楽CD

❷ **再生状態** ....(➜51〜53)

PGM ：プログラム再生
RND ：ランダム再生
⮌ ：リピート再生
A-B ⮌ ：A-Bリピート再生
PGM ⮌ ：プログラムリピート再生

❸ **モード** ....(➜51)

TITLE ：タイトル番号
TRACK ：トラック番号
CHAP ：チャプター番号

❹ **D.MIX**(ダウンミックス)

マルチチャンネルのサウンドトラックがダウンミックス許可されているとき。

❺ **A-SRD(アドバンスド・サラウンド)(V.S.S.)** .....(➜55)

Advanced Surround(アドバンスド サラウンド)(V.S.S.)が[入]のとき点灯。

BASS(バス) ....(➜55)

Bass Plus(バス プラス)が[入]のとき点灯。

CINEMA(シネマ) ....(➜55)

画質モードが映画鑑賞向けの画質のとき。

D-ENH(ダイアログ・エンハンサー) ....(➜55)

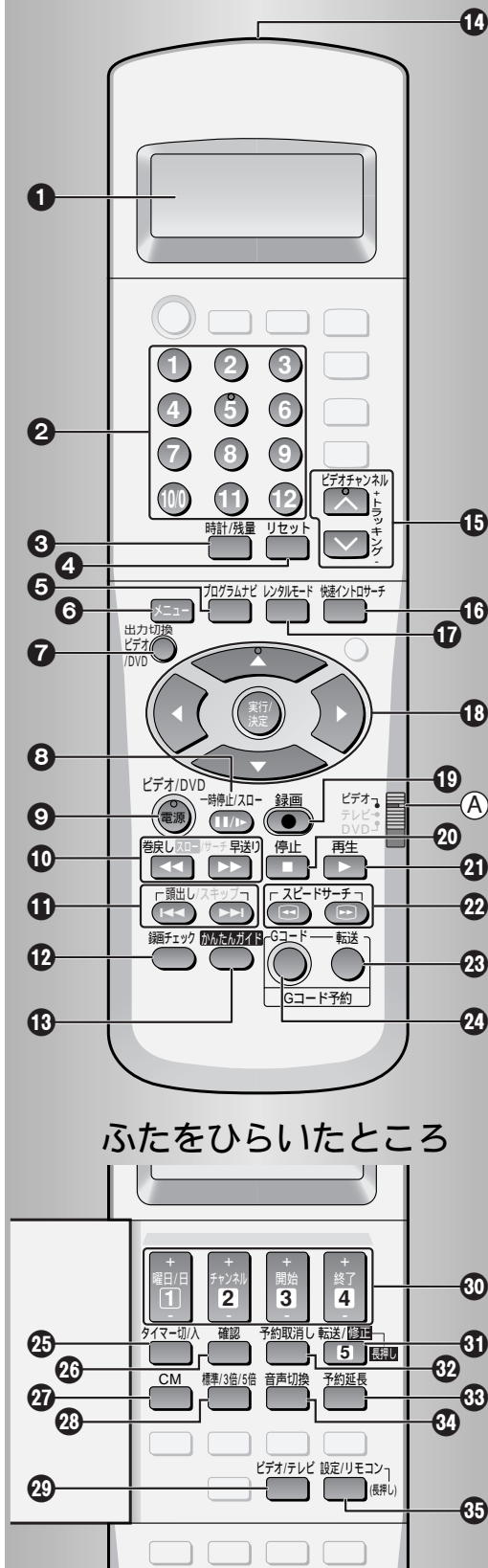
Dialogue Enhancer(ダイアログ エンハンサー)が[入]のとき。

❻ **MP3**(エムピースリー) ....(➜48,76)

MP3で記録されたCD-R/RWを再生中に点灯。

❼ **静止(一時停止)** ....(➜50)

❽ **再生** ....(➜48)

❾ **メイン表示部**
- 再生経過時間
- タイトル/チャプター/トラック/プログラム番号
- 各種メッセージ…など。

リモコン(ビデオ操作部)

Ⓐ ビデオ/テレビ/DVDスイッチ
ビデオの操作をするときは、必ず[ビデオ]を選んでください。
[ビデオ]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ リモコン表示部
❷ ❶〜⓬ボタン ....(→23,32,34)
❸ 時計/残量ボタン ....(→44)
❹ リセットボタン ....(→44)
❺ プログラムナビボタン ....(→40)
❻ メニューボタン ....(→22,26,46)
❼ 出力切換(ビデオ/DVD)ボタン ....(→19,46)
❽ 一時停止/スロー ❚❚/▶ボタン ....(→29,32)
❾ ビデオ/DVD電源ボタン ....(→22)
❿ 巻戻し◀◀ 早送り▶▶ボタン ....(→28)
⓫ 頭出し ⏮ ⏭ ボタン ....(→42)
⓬ 録画チェックボタン ....(→33)
⓭ かんたんガイドボタン ....(→34,36)
⓮ リモコン送信部 ....(→17)
⓯ ビデオチャンネル∧ ∨
(トラッキング＋ −)ボタン ....(→22,31,32)
⓰ 快速イントロサーチボタン ....(→42)
⓱ レンタルモードボタン ....(→30)
⓲ ▲ ▼ ◀ ▶ 実行/決定ボタン ....(→26,40,46)
⓳ 録画●ボタン ....(→32,66,67,69)
⓴ 停止■ボタン ....(→28,32)
㉑ 再生▶ボタン ....(→28)
㉒ スピードサーチ ◀◀ ▶▶ ボタン ....(→29)
㉓ 転送ボタン ....(→34)
㉔ Gコードボタン ....(→34)
㉕ タイマー 切/入ボタン ....(→39)
㉖ 確認ボタン ....(→38)
㉗ CMボタン ....(→30,33,35,37)
㉘ 標準/3倍/5倍ボタン ....(→32,34,36)
㉙ ビデオ/テレビボタン ....(→22,33)
㉚ 曜日/日 チャンネル 開始 終了ボタン ....(→21,36)
㉛ 転送/修正(長押し)ボタン ....(→36,38)
㉜ 予約取消しボタン ....(→38)
㉝ 予約延長ボタン ....(→35,39)
㉞ 音声切換ボタン ....(→45)
㉟ 設定/リモコン(長押し)ボタン ....(→21,23,46)

本書では、本体のボタン名を再生▶、リモコンのボタン名を再生▶や❶などで示し、「各部の名前」以外のページでは“ ボタン ”を省略しています。

リモコン(テレビ操作部)

実際の操作内容についてはテレビの説明書をお読みください。

Ⓐ **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**
テレビの操作をするときは、必ず[テレビ]を選んでください。
[テレビ]を選んでいないと正しく操作できません。

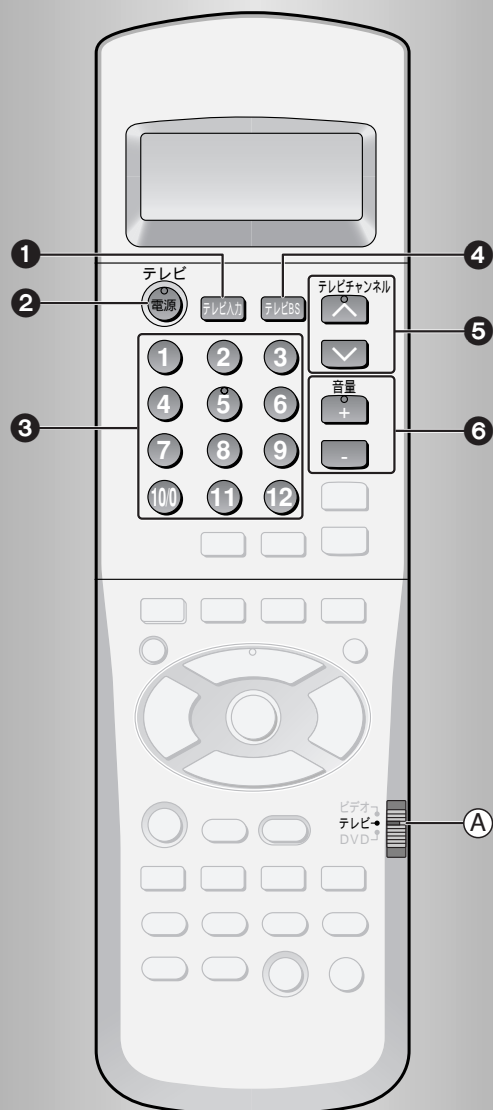
❶ **テレビ入力 ボタン** ....(➔22,33)
入力(テレビ、ビデオ1など)を切り換えるとき。

❷ **テレビ電源 ボタン** ....(➔21)

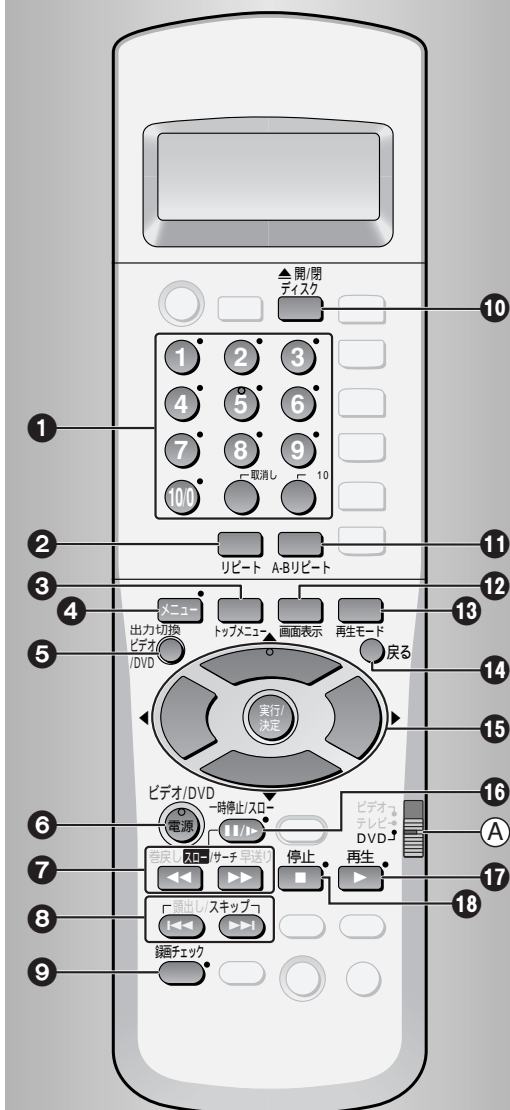
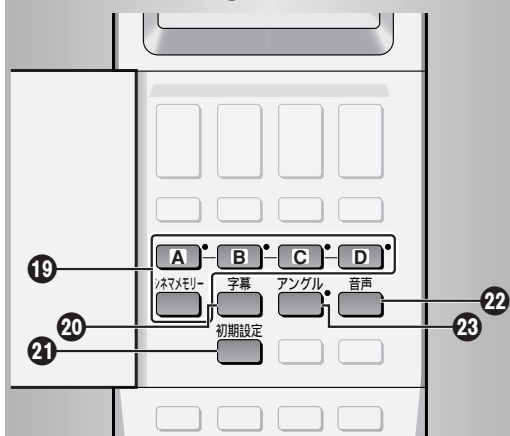
❸ **①〜⑫ボタン** ....(➔33,66)
チャンネルを直接選ぶとき。

❹ **テレビBS ボタン** ....(➔66)
BSチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押したあと、約10秒以内に❺、❼、❾、⓫を押してください。(例：BS 7chの場合、テレビBS→❼)

❺ **テレビチャンネル∧∨ボタン** ....(➔21,33)
チャンネルを選ぶとき。

❻ **音量 ボタン** ....(➔21)
音量を調節するとき。

詳しくは、関係するページをお読みください。

各部の名前

詳しくは、関係するページをお読みください。

リモコン(DVD操作部)

Ⓐ ビデオ/テレビ/DVD スイッチ
DVDの操作をするときは、必ず[DVD]を選んでください。
[DVD]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ ①～⑩/0 取消し ≧10 ボタン……(➜49,51)
❷ リピート ボタン……(➜52)
❸ トップメニュー ボタン……(➜49)
❹ メニュー ボタン……(➜49)
❺ 出力切換(ビデオ/DVD) ボタン……(➜19,46)
❻ ビデオ/DVD電源 ボタン……(➜22,48)
❼ スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ ボタン……(➜50)
❽ スキップ ⏮ ⏭ ボタン……(➜51)
❾ 録画チェック ボタン……(➜33)
❿ ⏏開/閉ディスク ボタン……(➜48)
⓫ A-Bリピート ボタン……(➜53)
⓬ 画面表示 ボタン……(➜56)
⓭ 再生モード ボタン……(➜49,51)
⓮ 戻る ボタン……(➜49,62)
⓯ ▲ ▼ ◀ ▶ 実行/決定 ボタン……(➜49,50,56,62)
⓰ 一時停止/スロー ⏸/⏵ ボタン……(➜50)
⓱ 再生▶ ボタン……(➜48)
⓲ 停止■ ボタン……(➜49)
⓳ シネマメモリー、 A B C D ボタン……(➜55)
⓴ 字幕 ボタン……(➜54)
㉑ 初期設定 ボタン……(➜62)
㉒ 音声 ボタン……(➜54)
㉓ アングル ボタン……(➜54)

設置の手順 次の手順で設置してください。

1 リモコンの準備をする

❶ リモコンに電池を入れる............................(➜右記)

2 アンテナ、テレビなどと接続する

❶ VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する.....(➜18)
- 時刻表示を確認する

② CATVホームターミナル、テレビと接続する..(➜20)

❸ テレビを操作できるようにする...................(➜21)

❹ テレビに本機の画面を出す..........................(➜22)
- ②はCATV放送をご覧になる方のみ必要です。

3 受信チャンネルを設定する

❶ 市外局番入力チャンネル設定.......................(➜23)

❷ マニュアルチャンネル設定...........................(➜26)
- Gコード予約をするためのガイドチャンネルは必ず設定しておいてください。(詳しくは➜23,26をお読みください)

各表示イラストについて

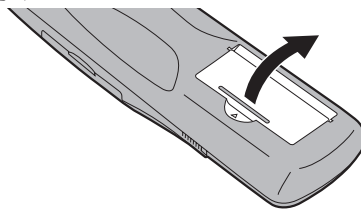
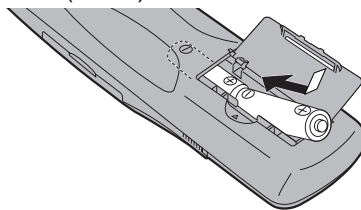
本書では、各操作手順に記載しているイラストを次のように表示しています。

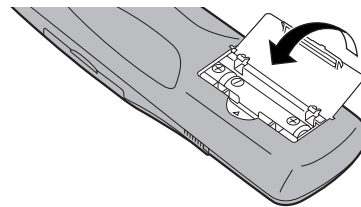
●本体(ビデオ/DVD)表示窓

●リモコン表示部

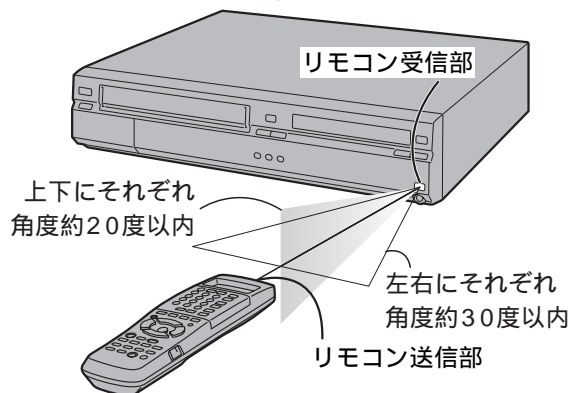
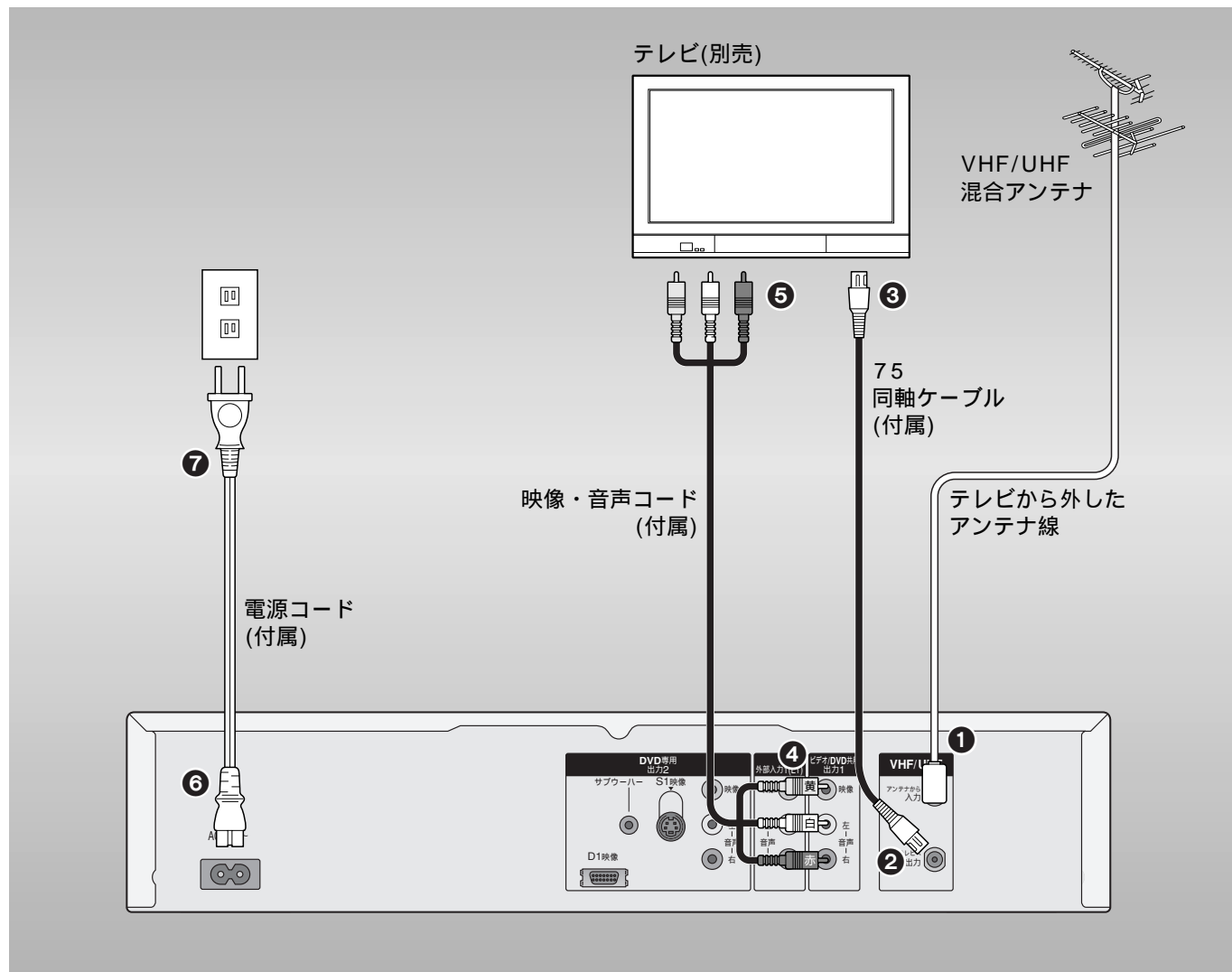
●テレビ画面

リモコンに電池を入れる

1 ふたを開ける

2 単3形乾電池(付属)を入れる

- ⊕⊖を確認してください。

3 ふたを元どおり閉じる

- リモコン表示部が薄暗くなってきたら、電池を交換してください。(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
- 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(➜21)、リモコンモード(➜46)を合わせ直してください。
- 充電式電池(Ni-Cd(ニッケルカドミウム)など)は使わないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1か月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

操作のしかた

リモコン受信部に向け、確実にボタンを押す

- 操作できる範囲は正面で約7m以内、角度は左右に約60度、上下に約40度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

テレビ(別売)
VHF/UHF混合アンテナ
❺ ❸
75Ω同軸ケーブル(付属)
❼
映像・音声コード(付属)
テレビから外したアンテナ線
電源コード(付属)
❹ ❶ ❻ ❷

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する

❶ VHF/UHF入力端子へ
❷ VHF/UHF出力端子へ
❸ VHF/UHFアンテナ入力端子へ
❹ ビデオ/DVD共用出力1(映像・音声)端子へ
❺ ビデオ入力（映像・音声）端子へ
❻ 電源入力ソケットへ
❼ ご家庭の電源コンセントへ

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。

■ヒント

- アンテナ線はまず本機に接続します。本機とテレビの両方のチューナーに電波を送るため、❶でアンテナ線を先に本機に接続したあと、❷～❸で本機からテレビに75Ω同軸ケーブル(付属)で接続し直します。

■テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき

- 別売の部品や加工が必要です。
  詳しくは、販売店にご相談ください。

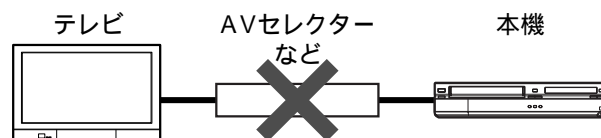
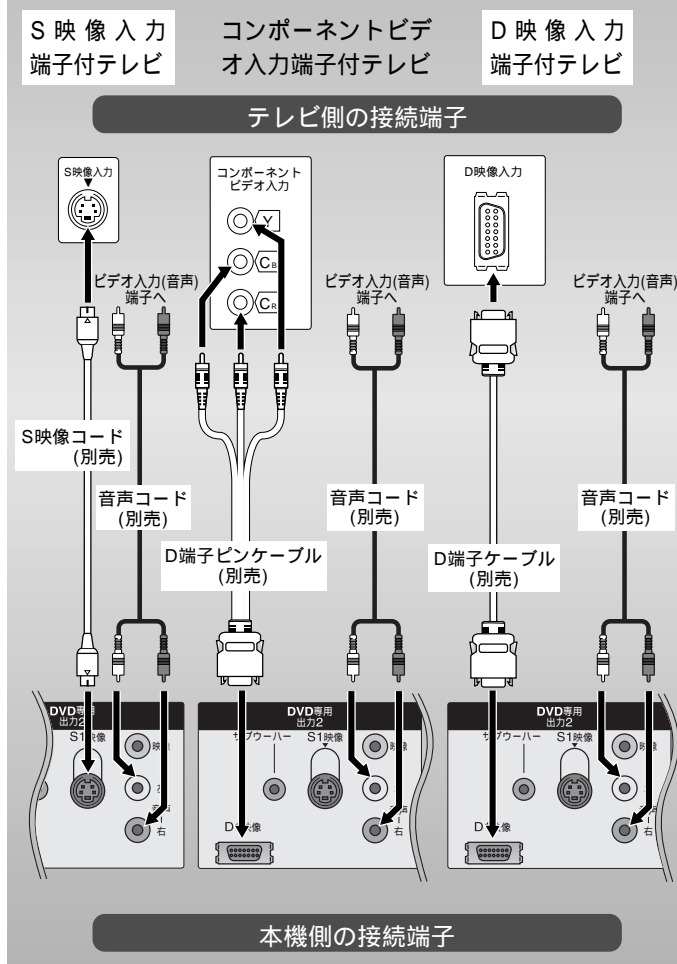
■テレビにビデオ入力(映像・音声)端子があるとき

- 必ず映像・音声コード(付属)で❹～❺を接続してください。この接続をしないと、ステレオ音声(ハイファイ音声)は楽しむことができません。
- ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合を説明しています。
- より迫力のある音声で楽しみたいときは、アンプ(別売)やスピーカー(別売)と接続してください。**(➜59)**
- 音声端子が1つしかない(モノラル)テレビは、ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

■テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないとき

- ❹～❺の接続は不要です。
  ビデオ専用チャンネル“ CH 1 ”または“ CH 2 ”を設定してください。テレビで1(または2)チャンネルを選べば、本機の映像が映ります。ただし、音声はモノラルになります。
  (映像・音声コードで接続していないとき➜22)

■お願い

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
  AVセレクターなどを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD再生時に映像が乱れることがあります。

■**DVDの映像をより高画質にお楽しみいただくとき**

ご使用のテレビがS映像入力端子やコンポーネント映像入力端子を持つ場合、左ページの接続に加えて、上記のいずれかの接続をすると、より高画質なDVDの映像をお楽しみいただけます。このときは、**DVD映像出力用の映像コード(黄)は外しておいてください。**

上記の接続をした場合、ビデオとDVDの映像をご覧いただくには、テレビ側でそれぞれの入力チャンネルを選んでください。

■**お願い**

DVDに対応していないハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。

(映像方式が異なりますので、映像が乱れたり、映らないことがあります)

時刻表示を確認する

- 電源コンセントに接続すると、ビデオ表示窓に現在時刻が表示されますので、合っているか確認してください。
- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
  自動バックアップ機能(**➜下記**)で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。
- ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。
  (**➜47**)
  ・誤差が2分以上あるとき
  ・時刻表示が“ 0：00 ”で点滅しているとき

■**自動バックアップ機能について**

- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。(**➜47**)

ビデオ/DVD共用出力とDVD専用出力について

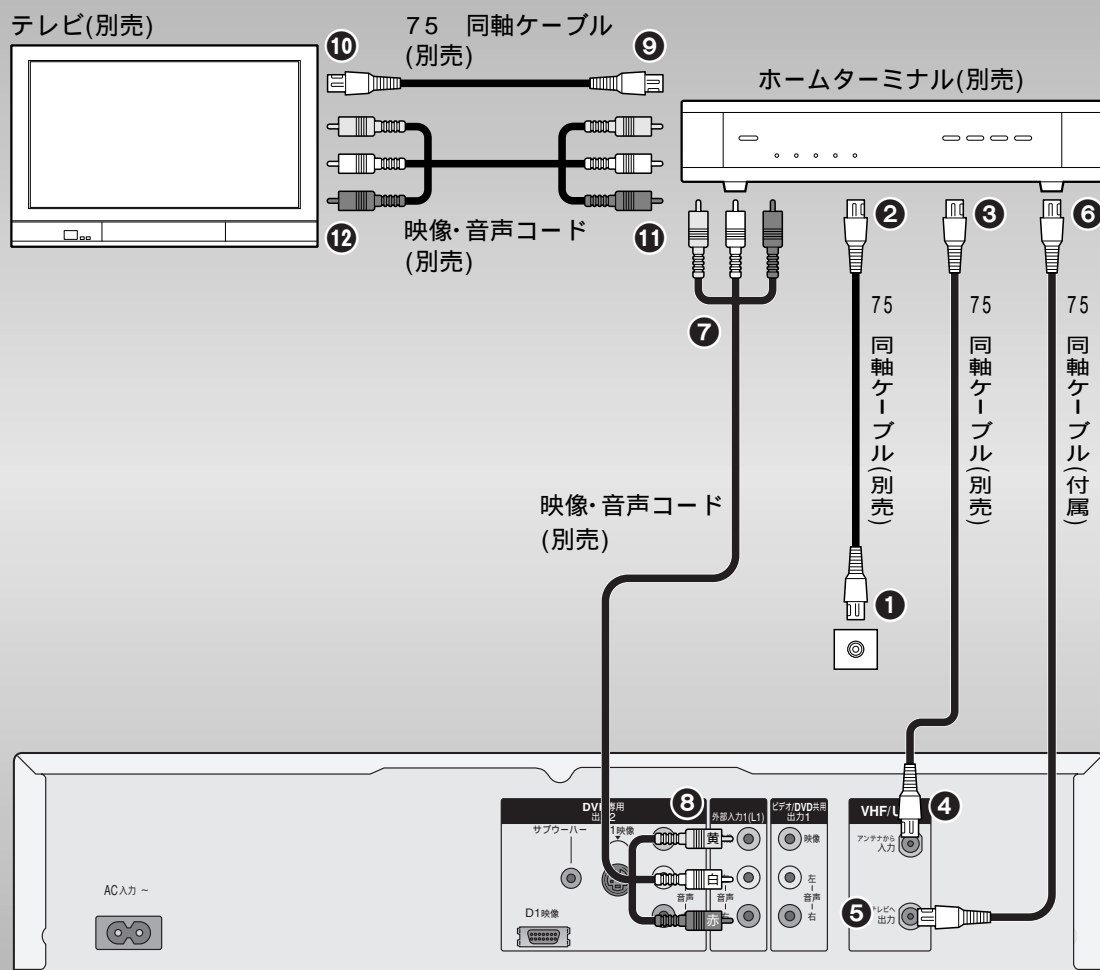
本機には、ビデオとDVDの映像を出力する共用出力端子と、DVDの映像のみを出力する専用出力端子があります。

共用出力端子:　　ビデオ/DVD共用出力1端子(本機後面)
DVD専用出力端子:光デジタル音声出力端子(本機前面)
　　　　　　　　DVD専用出力2端子(本機後面)

共用出力では、ビデオやDVDの映像を切り換えたり、ビデオの映像のみに固定してお楽しみいただくことができます。(**共用出力選択➜46**)

DVD専用出力では、ディスク内容の出力のみをお楽しみいただけます。

■**ヒント**

- VTRモード設定の[共用出力選択](**➜46**)で[自動](工場出荷時の設定)を選んでいても、操作によっては切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、リモコンの**出力切換(ビデオ/DVD)**を押して、出力を切り換えてください。
- ビデオ、DVDそれぞれに入力が切り換わったときなどに、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。
  本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられるためです。DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。

CATVホームターミナル、テレビと接続する

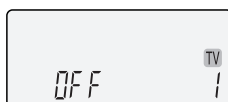
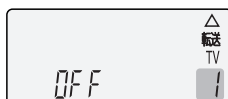
❶ **ご家庭のケーブルテレビ端子へ**
❷ **ケーブル入力端子へ**
❸ **ケーブル出力(VTRへ)端子へ**
❹ **VHF/UHF入力端子へ**
❺ **VHF/UHF出力端子へ**
❻ **ビデオRF入力端子へ**
❼ **映像・音声出力端子へ**
❽ **外部入力1(映像・音声)端子へ**
❾ **RF出力端子へ**
❿ **VHF/UHFアンテナ入力端子へ**
⓫ **映像・音声出力端子へ**
⓬ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**

■お願い/ヒント
- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれますが、引っ越しや配置換えなどによりご自分で接続されるときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
- CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。(➜26)
  特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、Gコード予約ができません。
- リモコンの予約チャンネル表示設定を行ってください。(➜39)
  工場出荷時には、CATVチャンネルの予約チャンネル表示はすべてとばされています。このままでは、フリーセット予約ができません。必要なチャンネルを表示させてください。
- 有料番組を本機で受信してもコピーガードやスクランブルの影響できれいに映りません。
  有料番組を見たり録画したりするには、本機の入力をホームターミナルを接続した外部入力チャンネル(上図接続例の場合：**[L1]**)に切り換えてください。

本機のリモコンでテレビの操作ができます。
● また、テレビの入力を[ビデオ1]に切り換えることができる「今すぐ再生」機能を働かせることができます。

【準備】● テレビの電源を入れる。

1 ビデオ/テレビ/DVD を[テレビ]にする

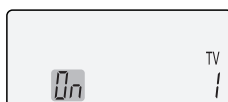
2 設定/リモコン(長押し) を"☎"が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに2回押す

3 ＋終了－ でメーカー番号を合わせる

● テレビに向けて操作してください。
● メーカー番号が合うと、テレビの電源が切れます。
● 複数の番号を持つメーカーは、音量調節などが正しく操作できる方の番号に合わせてください。

操作できるテレビメーカー・一覧表

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	❶ ❿ ㉒ ㉓	パイオニア	⓭
アイワ	⑱	ビクター	⓮
NEC	❻ ⓯	日立	❺ ⓴
三洋	⑦ ⑯	富士通ゼネラル	⑨
シャープ	② ⑪ ㉑	フナイ	⑲
ソニー	❸ ⓱	三菱	⑧ ⓬
東芝	❹		

「今すぐ再生」を働かせたいときのみ、

4 チャンネル で"On"を表示させる

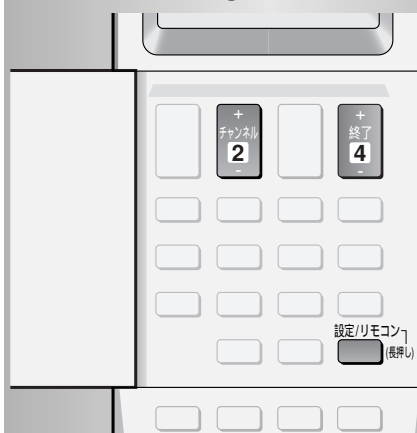
● ただし、手順3一覧表の番号が、"○"の番号のテレビをお使いの方は働きません。

5 リモコンのふたを閉じる

6 正しく操作できることを確かめる

● テレビ電源 でテレビの電源を入れ、チャンネル切換や音量調節などをしてみてください。

■お願い/ヒント
● 一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。

■「今すぐ再生」機能について
● ビデオ/テレビ/DVD が[ビデオ]のときに、リモコンの 再生▶ または プログラムナビ を押すと、テレビの入力が自動的に**[ビデオ1]**になります(テレビの入力を**[ビデオ1]**にする信号も同時に出すようになります)。
このため、本機後面の出力1端子に接続した映像・音声コードは、必ずテレビのビデオ1端子に接続してください。
● すでにテレビのビデオ1端子を他の接続でお使いのときは、「今すぐ再生」機能を働かせないでください。(" OFF "を表示させる)

■ふたをひらいたところ

テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面を出し、正しく接続できたかどうかを確かめてください。
テレビで本機の画面を見るときも、下記の操作を行ってください。

映像・音声コードで接続、またはS1/D1映像端子を使って接続したとき

1 **ビデオ/テレビ/DVD を[テレビ]にする**

2 **テレビ入力 を押し、テレビの入力をビデオ入力に切り換える**

- 例えば、テレビのビデオ1端子に接続しているときは、**[ビデオ1]**にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

3 **ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする**

4 **ビデオ/DVD電源 を押し、電源を入れる**

5 **ビデオチャンネル ∧ ∨ を押すなどして、本機ビデオ側の画面が映っていることを確かめる**

- または録画済みのカセットを再生してみてください。

映像・音声コードで接続していないとき

設置した直後のみ

1 **ビデオ/DVD電源 を押し、電源を入れる**

2 **メニュー を約5秒以上押し続け、ビデオ表示窓に“ - - - - ”を表示させる**

3 **ビデオチャンネル ∧ ∨ を押し、“ CH 1 ”または“ CH 2 ”を選ぶ**

- 放送がない方(テレビで本機の画面を見る方)のチャンネルを選んでください。
- 押すごとに、“ CH 1 ”⟷“ CH 2 ”⟷“ ---- ”(切)と変わります。(工場出荷時は“ ---- ”)

4 **メニュー を押す**

1 **ビデオ/テレビ/DVD を[テレビ]にする**

2 **❶または❷を押し、テレビで本機の画面を見るためのチャンネルを選ぶ**

- 設置した直後**(➜上記)**で“ CH 1 ”を選んだときは❶、“ CH 2 ”を選んだときは❷を押してください。

3 **ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする**

4 **ビデオ/DVD電源 を押し、電源を入れる**

5 **ビデオ/テレビ を押し、ビデオ表示窓に“ ビデオ ”を表示させる**

ビデオ

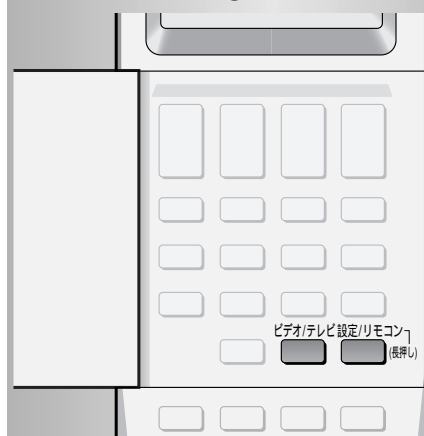
6 **ビデオチャンネル ∧ ∨ を押すなどして、本機ビデオ側の画面が映っていることを確かめる**

- または録画済みのカセットを再生してみてください。

ビデオ、DVDそれぞれの画面を出す

VTRモード設定の**[共用出力選択]**を**[自動]**(工場出荷時)にしている場合は、操作や本機の動作に応じて自動的にビデオとDVDの画面が切り換わります**(➜46)**。また、 出力切換(ビデオ/DVD) を押しても画面が切り換わります。

- 設定を[手動]にしている場合は、 出力切換(ビデオ/DVD) を押すごとに画面が切り換わります。
- 設定を[VTR]にしている場合は、ビデオの画面のみお楽しみいただけます。

■ふたをひらいたところ

設定のしかた

お使いになる地域の市外局番を利用して、受信チャンネルを設定する方法です。

【準備】 ● VHF/UHFアンテナが正しく接続されていることを確認する。
● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

1 設定/リモコン(長押し) を"☎"が出るまで(約2秒以上)押し続ける

2 お住まいの都市(地域)の市外局番を一覧表(➔24)で確かめる

3 リモコンのふたを閉じ、❶～⑩/0 で市外局番を入力する

- 市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。
- 間違えたときは、手順1からやり直してください。

4 転送 を押す

- テレビ画面に市外局番が表示され、約1分間のオートサーチを始めます。

オートサーチが終わったら、

5 リモコンのふたをひらき、すぐ閉じる

- 市外局番入力チャンネル設定が終了します。

6 ビデオチャンネル ∧ ∨ (または❶～⑫)でチャンネルを切り換えながら、すべてきれいに受信できていることを確かめる

- ❶～⑫では、一覧表に記載されているチャンネルポジション1～12の放送局を直接選ぶことができます。

■ヒント

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13～20(愛媛県は14～20)に追加登録されます。

■同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されたとき

- 必ず映りの悪い方のチャンネルを削除しておいてください。**(➔27)**

■受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき

- マニュアルチャンネル設定**(➔26)**で、必要な設定を行ってください。

■最初から設定し直したいとき

- 左記手順3で、市外局番の代わりに ⑩/0 を6回押し、[000000]と入力して転送すると、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

VHF/UHFチャンネル
VHFの1～12チャンネルが受信できる状態
CATVチャンネル
すべてのチャンネルがとばされた状態
外部入力チャンネル
すべてのチャンネルが使える状態

- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。

チャンネル設定に関する用語

■チャンネルポジション

- 放送局を登録する位置です。
  ビデオチャンネル ∧ ∨ を押すごとに、チャンネルポジションに登録された順番で選局できます。
- **マニュアルチャンネル設定時のチャンネルポジション表示の変わりかた**
  ・VHF/UHFチャンネル設定時……………………**PO**
  ・CATVチャンネル設定時……………………………**CH**
  ・外部入力チャンネル(L1·L2)設定時……………**入力**
  ・拡張チャンネル設定時…………………………………**PO**

■受信チャンネル

- 放送局からの電波を実際に受信するためのチャンネルです。
- 新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

■表示チャンネル

- ビデオ表示窓やテレビ画面に表示させるためのチャンネルです。新聞・雑誌などに載っているチャンネルに合わせておくと選局しやすくなります。
- 実際の受信チャンネルと違う数字になる地域もあります。

■ガイドチャンネル

- Gコード予約をするために必要なチャンネルです。
- ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。
  例)NHK総合テレビ：80、NHK教育テレビ：90

■拡張チャンネル

- 将来のシステムに対応するもので、現在は使うことができません。
- 「市外局番入力チャンネル設定」を行うと、自動的に設定されますが、実際の操作には関係ありません。

市外局番入力チャンネル設定一覧表(VHF/UHF)

市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

都道府県	都市名	市外局番	チャンネルポジション／放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル																			
			①				②				③				④				⑤			
			放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	0177	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	9
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
秋田	秋田	018					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	3
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	3
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	2
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	9
山形	山形	023													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	3
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	3
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合	44	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	1
栃木	宇都宮	028	NHK総合	29	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	27	3	90	日本テレビ	25	4	4	とちぎテレビ	31	31	2
群馬	前橋	027	NHK総合	52	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	4
埼玉	さいたま	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	39	3	80					中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	31	3	80	毎日テレビ	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合	28	28	80					毎日テレビ	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日テレビ	18	4	4	テレビ大阪	19	19	1
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4	NHK奈良	51	51	-
和歌山	和歌山	073					NHK総合	32	2	80					毎日テレビ	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	3
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	1
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	8
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	8
山口	山口	083	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日テレビ	4	4	4	NHK総合	37	37	8
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日テレビ	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	3
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	3
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	3
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	1
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	1
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	1
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	9
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

- 一覧表の ①～⑫ の放送局は、リモコンの❶～⓬で直接選ぶことができます。
- 本機のリモコンで、BS放送もGコード予約することができます。
  Gコード予約するときに必要なガイドチャンネルについては、➜**27**をご覧ください。
- マニュアルチャンネル設定でガイドチャンネルを手動で合わせるときは、各放送局の“ ガイドCH ”の項目をご覧ください。

チャンネルポジション／放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル

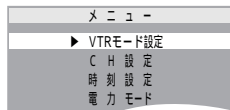
⑥				⑦				⑧				⑨				⑩				⑪				⑫				⑬			
放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
								北海道文化	27	27	27					北海道テレビ	35	35	35					NHK教育	12	12	90				
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	37	37	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1								
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	59	59	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	61	61	35	北海道放送	53	53	1								
海道放送	6	6	1					北海道文化	32	32	27					札幌テレビ	10	10	5					NHK教育	12	12	90				
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	41	41	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1								
海道放送	6	6	1													NHK教育	10	10	90					札幌テレビ	12	12	5				
								北海道文化	27	27	27					青森朝日	34	34	34	北海道テレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38				
				NHK教育	7	7	90					NHK総合	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38				
												NHK総合	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37				
田放送	6	6	11					NHK教育	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37				
手放送	6	6	6	宮城テレビ	34	34	34	NHK教育	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12				
				東日本放送	32	32	32					宮城テレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12				
レビュー山形	36	36	36					NHK総合	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38				
HK教育	6	6	90					テレビュー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38				
島中央	33	33	33	東日本放送	32	32	32	宮城テレビ	34	34	34	NHK総合	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12				
島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央	37	37	33	宮城テレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12				
島中央	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					NHK教育	10	10	90					福島放送	36	36	35				
BSテレビ	40	6	6					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12				
BSテレビ	23	6	6					フジテレビ	21	8	8					テレビ朝日	19	10	10					テレビ東京	17	12	12				
BSテレビ	56	6	6	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12				
BSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12				
BSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12				
BSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12				
BSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12				
レビ山梨	37	37	37	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12				
								NHK総合	8	8	80					新潟総合	35	35	35					NHK教育	12	12	90				
レビ信州	30	30	30									NHK教育	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11								
越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38												
ューリップ	32	32	32													NHK教育	10	10	90					富山テレビ	34	34	34				
陸放送	6	6	6	北陸朝日	25	25	25	NHK教育	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37				
陸放送	6	6	6									NHK総合	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39				
岡朝日	33	33	33									NHK総合	9	9	80					静岡放送	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35				
岡放送	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育	8	8	90					静岡朝日	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35				
レビ愛知	25	25	25	岐阜放送	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35				
阜放送	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25				
BCテレビ	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35				
BCテレビ	38	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	42	10	10					NHK教育	46	46	90				
BCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90				
BCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90				
BCテレビ	20	6	6					関西テレビ	22	8	8					読売テレビ	24	10	10					NHK教育	26	12	90				
BCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育	12	12	90				
BCテレビ	44	6	6					関西テレビ	46	8	8					読売テレビ	48	10	10					NHK教育	26	12	90				
																山陰放送	22	22	10					山陰中央	24	24	34				
HK総合	6	6	80					山陰中央	34	34	34					山陰放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90				
								山陰中央	58	58	34	NHK教育	9	9	90																
				瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11								
				NHK教育	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12				
				中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35					広島テレビ	11	11	12								
				テレビ山口	38	38	38	RKB毎日	8	8	4	NHK総合	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	福岡放送	35	35	37				
BCテレビ	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	岡山放送	31	31	35				
BCテレビ	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育	38	12	90				
HK総合	6	6	80	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	37	37	37	愛媛朝日	25	25	25
海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	広島ホーム	35	35	35	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	36	36	37	愛媛朝日	14	14	25
HK教育	6	6	90					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38	高知さんさん	40	40	40								
HK教育	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					熊本放送	11	11	11	福岡放送	37	37	37				
HK総合	6	6	80					RKB毎日	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90				
レビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	RKB毎日	48	48	4	NHK総合	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37				
レビ熊本	34	34	34	長崎国際	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化	27	27	27	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	熊本県民	22	22	22				
レビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	9	9	80	テレビQ	19	19	19	熊本放送	11	11	11	RKB毎日	4	4	4				
海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	福岡放送	37	37	37	大分朝日	24	24	24	テレビQ	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育	12	12	90				
				鹿児島放送	32	32	32	NHK総合	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90				
崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																				
崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	熊本県民	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30								
児島テレビ	35	35	38	熊本県民	22	22	22	NHK総合	8	8	80	熊本朝日	16	16	16	南日本放送	10	10	1	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90				
								沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90				

手動でチャンネルを合わせる（マニュアルチャンネル設定）

市外局番入力チャンネル設定で正しく設定されなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作してください。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

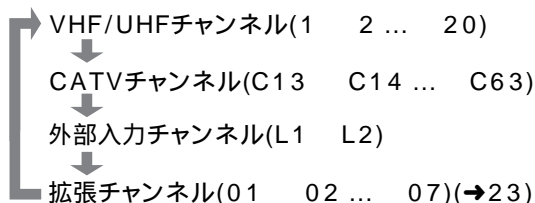
VHF/UHFチャンネルの設定

1 メニュー を押す

2 ▼ で[CH設定]を選び、実行/決定 を押す

3 ◀ で[PO]を選び、▲ ▼ で設定したいチャンネルポジションを選ぶ

- “ 1 ”～“ 20 ”の中から選んでください。
- ▲ を押すごとに、下記のように変わります。(▼ を押すと逆方向)

VHF/UHFチャンネル(1 → 2 …→ 20)
↓
CATVチャンネル(C13 → C14 …→ C63)
↓
外部入力チャンネル(L1→ L2)
↓
拡張チャンネル(01 → 02 …→ 07)(**➜23**)

(➜23)

- POは“Position（ポジション）”の略です。

4 ▶ で[CH]を選び、▲ ▼ で受信チャンネルを合わせる

- 設定したい放送局が映るように、数字を変えていってください。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。

5 ▶ で[表示]を選び、▲ ▼ で表示チャンネルを合わせる

- ビデオ表示窓やテレビ画面に表示させたい数字に合わせてください。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。

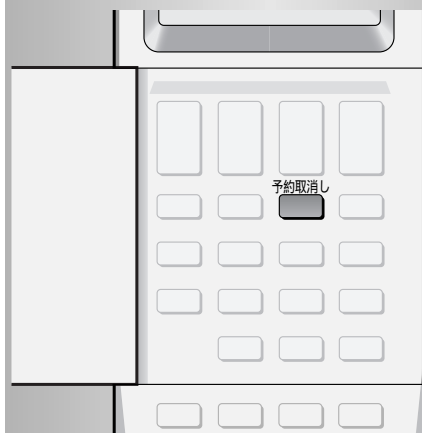
6 ▶ で[ガイドCH]を選び、▲ ▼ でガイドチャンネルを合わせる

- 各放送局のガイドチャンネルは、市外局番入力チャンネル設定一覧表(**➜24**)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせてください。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。
- ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

7 メニュー を押す

■2つ以上のチャンネルを設定するとき

- 手順6のあと、実行/決定 を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

■ふたをひらいたところ

CATVチャンネルの設定

左ページ手順2のあと、

3 ◀で[PO]を選び、▲▼で設定したいCATVのチャンネルポジションを選ぶ

- チャンネルポジションの表示が" CH "になります。

4 ▶で[表示]を選び、▲▼で表示を出す

- " C－－ "のチャンネルはとばされています。

5 ▶で[ガイドCH]を選び、▲▼でガイドチャンネルを合わせる

- 各放送局のガイドチャンネルは、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➔24)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせてください。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。
- ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

6 メニューを押す

■2つ以上のチャンネルを設定するとき

- 手順5のあと、実行/決定を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

■お願い/ヒント

- CATVによっては、BS放送をVHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。
  このときは、Gコード予約するための各放送局のガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

放送局名	受信チャンネル	ガイドチャンネル
	BS 1	71
	BS 3	72
WOWOW	BS 5	73
NHK衛星第1	BS 7	74
ハイビジョン放送	BS 9	75
NHK衛星第2	BS11	76
	BS13	77
	BS15	78

不要なチャンネルの削除

ノイズ画面のチャンネルが設定されているときや、選局の順番を入れ替えたいときなどに操作します。

左ページ手順2のあと、

3 ◀で[PO]を選び、▲▼で削除したいチャンネルポジションを選ぶ

4 予約取消しを押す

- CH(受信)、表示・ガイドCHのすべてが" －－ "になります。

5 メニューを押す

■2つ以上のチャンネルを削除するとき

- 手順4のあと、実行/決定を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

映りの悪いチャンネルの微調整

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。

左ページ手順2のあと、

3 ◀で[PO]を選び、▲▼で微調整したいチャンネルポジションを選ぶ

4 ◀▶で微調整バーを選び、▲▼で微調整する

色が付いていないとき…▲
しま模様が出るとき……▼
(" ▮▮ "にすると、元の状態に戻ります)

- 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

5 メニューを押す

■2つ以上のチャンネルを微調整するとき

- 手順4のあと、実行/決定を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

カセットを入れる

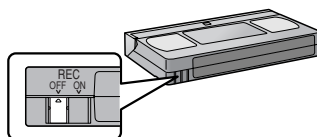
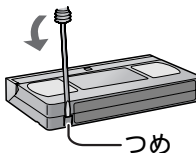
テープが見える面を上にして、
中央部をゆっくりと押し込む

● 自動的に電源が入ります。

● VHS、S VHS、D VHSマークの付いたカセットが使えます。
● プログラムナビ機能を[入]にしているときは、カセットを入れたときに、テレビ画面に" プログラムナビデーター確認中 "と表示されます。(➜40)

■残しておきたい録画を誤って消さないために

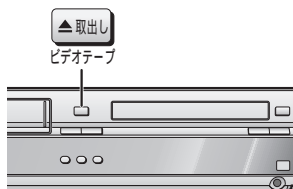
● 誤消去防止用の「つめ」を折り取ってください。
● もう一度録画できるようにしたいときは、折り取った部分にセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)

● 誤消去防止つまみタイプのカセットのときは、つまみをスライドさせて" OFF "にしてください。" ON "に戻すと、録画が可能になります。カセットの説明書もよくお読みください。

カセットを出す

⏏取出し(ビデオテープ) を押す

● カセットが途中まで出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。

■リモコンでカセットを取り出す

停止■ を約3秒以上押す。

● 電源が切れていても、カセットは取り出せます。
● 次のようなときは、カセットは取り出せません。
・録画中(リモコンで取り出そうとすると、録画が停止します)
・予約録画中、または予約録画の待機中

再生する

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

再生▶ を押す

■停止する

停止■ を押す。

■早送り(巻き戻し)する

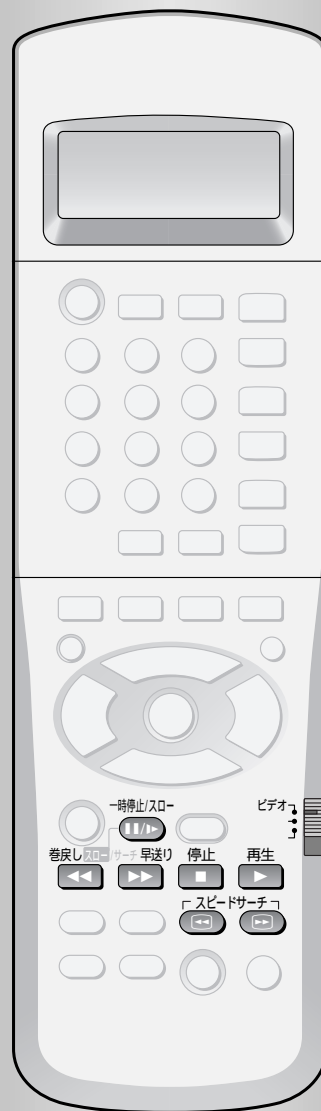
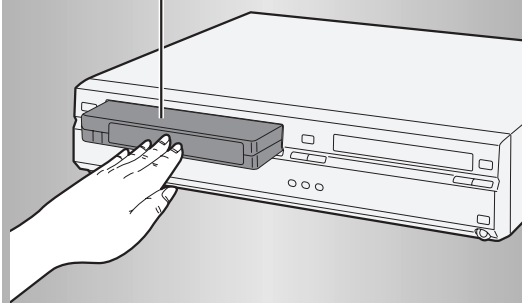
停止中に、早送り▶▶ (巻戻し◀◀)を押す。

■お願い/ヒント

● 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが" OFF "になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
● すでにカセットが入っているときは、電源が切れていても、再生▶ を押すだけで再生を始めます。
● 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
このときは、手動でトラッキングを調整してください。(➜31)

■SQPB(S-VHS簡易再生)機能について

(SQPB=S-VHS Quasi Playback)(エスブイエッチエス クワジ プレイバック)

● S-VHS方式で録画されたS VHSカセットも再生することができます。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
● デジタル(D-VHS)方式で録画されたD VHSカセットは再生できません。

早送り(巻き戻し)再生

再生中に、
早送り▶▶ (巻戻し◀◀)をポンと短く押す

- 押し続けると、押している間だけ早送り(巻き戻し)再生を行い、指を離すと通常の再生に戻ります。

静止画再生

再生中に、
一時停止/スロー ⏸/▷ を押す

スロー再生

再生中に、
一時停止/スロー ⏸/▷ を約2秒以上押し続ける

■**通常再生に戻す**
再生▶ を押す。
- 静止画再生のときは、 一時停止/スロー ⏸/▷ をもう一度押しても、通常再生に戻すことができます。

■**ヒント**
- 通常再生以外のときは音声は出ません。
- 早送り(巻き戻し)再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため、通常の再生に戻ります。
- 静止画再生を約5分以上、スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。
- 5倍モードで録画したときは、ふつうの再生時以外は画面が乱れます。

高速で早送り(巻き戻し)再生する(スピードサーチ)

通常再生の約15倍速(標準)、約50倍速(3倍)で見ることができます。(音声は出ません)

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

スピードサーチ ⏪ ⏩ を押す

再生▶▶
再生◀◀

⏩：早送り方向
⏪：巻き戻し方向

■**通常再生に戻す**
再生▶ を押す。

■**お願い/ヒント**
- 速度は切り換えることができます。
  スピードサーチが始まったあと、同じ方向のボタンを押すごとに、下記のように速度が切り換わります。
  標準：約15倍速⟷約10倍速
  3 倍：約50倍速⟷約30倍速
  15倍速(50倍速)時に画像が乱れるときは、10倍速(30倍速)に切り換えてご覧ください。
- 5倍モードで録画された部分はブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
- お使いになるテレビによっては、画像が乱れることがあります。
- 早送り(巻き戻し)再生中のテープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
- スピードサーチを約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

番組を繰り返し見る

同じ番組を繰り返して見ることができます。
- 録画状態によっては、正しく働かないことがあります。**(➜下記)**

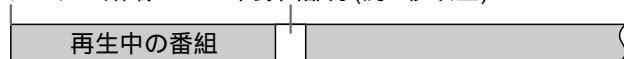
【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

再生中に、
再生▶ を約5秒以上押し続ける

自動巻戻し再生▶
0:12:34 標準

- この機能は解除するまで働き続けます。

■**解除する**
もう一度、 再生▶ を押す。
- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。

■**ヒント**
- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。
  (未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されます)

テープの始端　**未録画部分(約5秒以上)**
再生中の番組
▶ :再生
◀◀:巻き戻し

- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

CMを早送りして見る(自動CM早送り再生)

CMを自動的に早送りして再生することができます。

- 録画されている番組によっては、正しく働かないことがあります。**(➜下記)**

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

再生を始める前または再生中に、

CM を押し、
“ 自動CM早送り 入 ”を表示させる

- CM中に CM を押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

■解除する

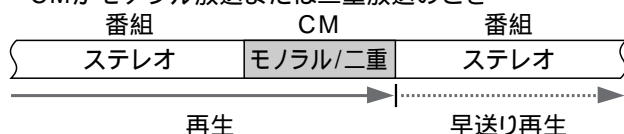
CM を押し、“ 自動CM早送り 切 ”を表示させる。

- 電源を切っても解除されます。

■お願い/ヒント

- 番組がモノラル放送または二重放送(2か国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
  (CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	早送り再生	再生

- 次のようなときは正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき
    (CMも通常どおり再生されます)
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき

  - ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
  - ・外部入力録画したカセットを再生するとき

画質を変えて見る

通常の再生画質以外に、2種類の画質に切り換えることができます。レンタルソフトなどを見るときに、用途に合わせて切り換えてください。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

再生中に、

レンタルモード を数回押し、
好みの画質にする

タイナミック

- 押すごとに“ スタンダード ”→“ ダイナミック ”→“ ソフト ”→…と変わります。

スタンダード(工場出荷時)

通常の画質です。

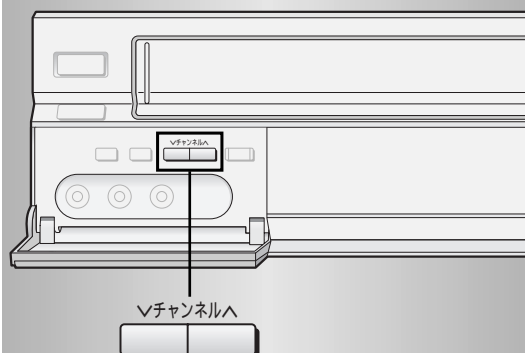
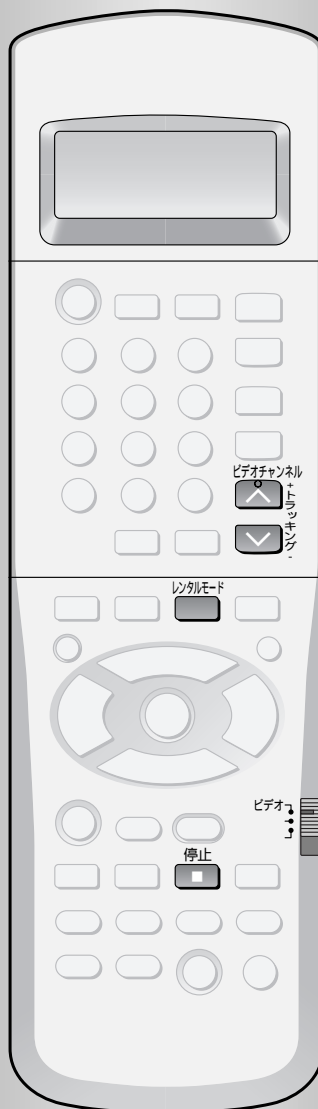
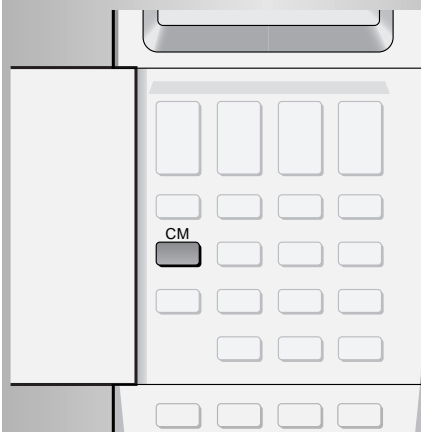
ダイナミック

輪郭をすっきりさせ、メリハリのある映像が楽しめます。

ソフト

通常の画質よりもソフトな映像にします。

■お願い/ヒント

- 再生中の画質を変えるための機能ですので、それ以外では働きません。

再生画面にノイズが出るとき

次の3つの要素が考えられます。

①**トラッキングがずれている**
(白い帯状のノイズが出るときなど)
下記の操作でトラッキングを調整してください。

②**ビデオヘッドが汚れている**
(画面全体にノイズが出るときなど)
ビデオヘッドクリーナー(別売)で、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

③**テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となるおそれがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

① トラッキングを調整する

通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別のビデオで録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

再生中に、

チャンネル∨ ∧のどちらかを押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- **チャンネル**∨ ∧を2つ同時に押すと、自動調整に戻ります。

■お願い/ヒント

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に切り換わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- リモコンの**ビデオチャンネル**∧ ∨**(トラッキング**＋ －**)**でも同様の調整をすることができます。

② ビデオヘッドをクリーニングする

再生中、本体表示窓に“ U11 ”が表示されたときは、ビデオヘッドが汚れています。

乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)を入れ、約10秒間録画する

- 約10秒後に**停止■**を押してください。
このあと、録画済みのカセットを入れ、再び再生してみてください。

■お願い/ヒント

- まだノイズが出るときは、もう一度上記の操作を行ってください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、

チャンネル∨ ∧のどちらかを押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- **チャンネル**∨ ∧を2つ同時に押すと、元の状態に戻ります。

■お願い/ヒント

- お使いになるテレビによっては、調整しきれないことがあります。
- リモコンの**ビデオチャンネル**∧ ∨でも同様の調整をすることができます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。
(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

テレビ番組を録画する

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。
● 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜28)

1 ビデオチャンネル ∧ ∨ (または❶～⓬)で、録画したいチャンネルを選ぶ

CH 4

2 標準/3倍/5倍 を数回押し、録画モードを選ぶ

3倍

標準：カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍：標準に対して3倍の録画ができます。
5倍：標準に対して5倍の録画ができます。

3 録画● を押す

■録画をやめる

停止■ を押す。

■不要な場面をとばす

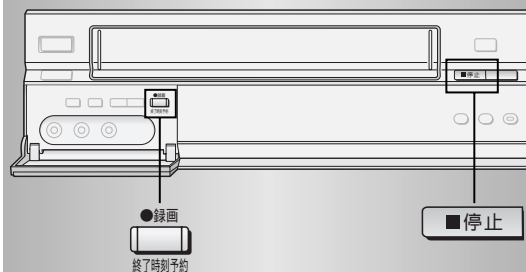
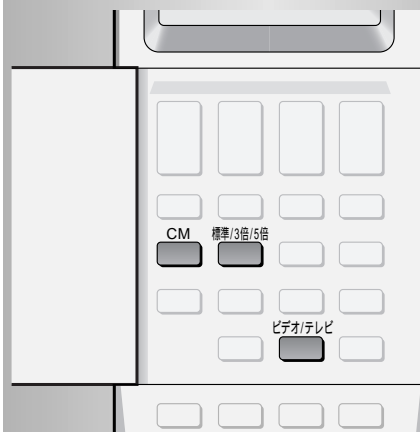
不要な場面がきたら、一時停止/スロー ❙❙/▷ を押す。

- 録画の一時停止になります。
- もう一度 一時停止/スロー ❙❙/▷ または 録画● を押すと録画が再開されます。

■5倍モードについて

- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の" 5倍 "が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
  カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオでの再生や保存を目的とするときは、標準モードで録画されることをおすすめします。

■お願い/ヒント

- ❶～⓬では、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜24)に記載されているチャンネルポジション1～12の放送局を選ぶことができます。(市外局番入力チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)
- 録画中にチャンネルを変えることはできません。
  (録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため停止します。
- S-VHSカセットを使っても、S-VHS方式では録画できません。
  (VHS方式で録画されます)
- D-VHSカセットを使っても、デジタル(D-VHS)方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)

■ふたをひらいたところ

録画中に別のチャンネルの番組を見る

下記の方法でテレビ画面を出してください。
録画に影響はありません。

映像・音声コードで接続したとき

1 ビデオ/テレビ/DVD を**[テレビ]にする**

録画中に、

2 テレビ入力 **を数回押し、テレビが受信しているチャンネルに切り換える**

3 **テレビチャンネル**∧∨**(または①〜⑫)で、見たいチャンネルを選ぶ**

映像・音声コードで接続していないとき

録画中に、

1 ビデオ/テレビ **を押し、本体表示窓の"ビデオ"表示を消す**

2 ビデオ/テレビ/DVD を**[テレビ]にする**

3 **テレビチャンネル**∧∨**(または①〜⑫)で、見たいチャンネルを選ぶ**

■**ヒント**
- 予約録画中も上記の手順でテレビ番組を見ることができます。

CMをとばして録画する (CMカット録画)

CMを自動的にとばして録画することができます。
- 番組によっては、正しく働かないことがあります。**(➔下記)**

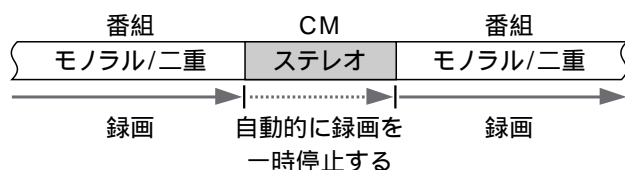
【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

録画中に、

CM を押し、"✂"を表示させる

- CM中に CM を押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

■**解除する**
CM を押す。
- "✂"が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

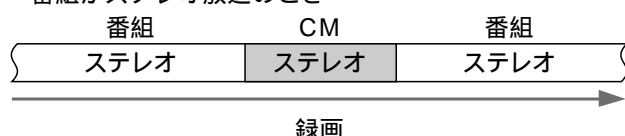
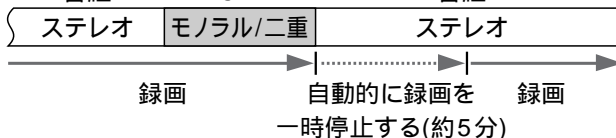
■**ヒント**
- 番組がモノラル放送または二重放送(2か国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
録画	自動的に録画を一時停止する	録画

- 次のようなときは、正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき

番組	CM	番組
ステレオ	ステレオ	ステレオ

録画

・CMがモノラル放送または二重放送のとき

番組	CM	番組
ステレオ	モノラル/二重	ステレオ
録画	自動的に録画を一時停止する(約5分)	録画

・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・外部入力チャンネルを録画するとき

■**予約録画時に働かせたいとき**
- CMカット予約**(➔35,37)**

終了時刻だけを予約して録画する(終了時刻予約録画)

指定した時刻になると、自動的に録画をやめ、電源を切ります。DVDの再生中は電源は切れません。
- 急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画としてお使いください。

録画中に、

本体の ●録画/終了時刻予約 を押す

- 本体表示窓に"終了"と"- - : - -"が表示されます。
- 続けて押すごとに、30分単位で録画終了時刻が変わります。
- 最大2時間先まで予約できます。

■**解除する**
録画中に、本体の ●録画/終了時刻予約 を数回押し、本体表示窓に"- - : - -"を表示させる。
- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。
- 録画もやめるには、 停止■ を押します。

■**ヒント**
- リモコンの 録画● では働きません。
- 予約録画(Gコード予約やフリーセット予約)中は働きません。

DVDを視聴中に録画を確認する(録画チェック)

DVDを再生中に、現在行っているビデオの録画状況を確認することができます。
- 共用出力時**(➔46)**で、テレビにDVDの映像が表示されている場合に操作できます。

DVDを再生中に、

録画チェック を押す

通常録画の場合　　予約録画の場合

- 出力が自動的に切り換わり、現在録画中の場面と録画に関する情報が表示されます。
約5秒後にDVDの再生画面に戻ります。

■**ヒント**
- 録画中以外で 録画チェック を押すと、予約内容の一覧画面が表示されます。

Gコードで予約する（Gコード予約）

ビデオ

予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、本機に転送するだけで簡単に予約できます。最大16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

■Gコードとは

- 新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8けた)

00 夜のワイドショー
▽私の結婚観　丘西裕子
▽あの有名選手に迫る
河本泰蔵　氷口稔 78864
55 N天 20668

■Gコード予約を正しく行うには

- ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。**(➜23〜27)**

※Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

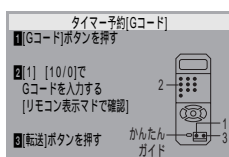
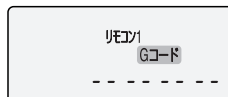
【準備】
- ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜28)**

■Gコード予約の操作がわからないときはかんたんガイドをご利用ください。

かんたんガイド を押す

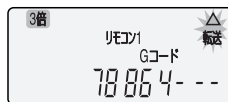
- テレビ画面の指示に従って予約の操作をすることができます。

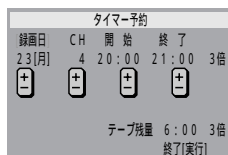
表示を消す

- かんたんガイド を2回押す。

1 Gコード を押し、“ Gコード ”を表示させる

2 ①〜⑩⓪ でGコードを入力する

- 間違えたときは、 Gコード を2回押し、正しいGコードを入力し直してください。

3 標準/3倍/5倍 で録画モードを選ぶ

- [標準]、[3倍]、[5倍]、[標準3倍]から選んでください。
- **[標準3倍]**について**(➜右ページ)**

4 ふたをひらいたまま、 転送 を押す

- テレビ画面にGコードが表示され、約4秒後に予約内容が表示されます。さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。

5 ビデオ/DVD電源 を押し、電源を切る

- ただし、DVD側の機能は電源を入れてお楽しみいただけます。

■2つ以上の予約をするとき

- 手順1〜4を繰り返してください。(予約録画の待機状態でも予約できます)

■お願い/ヒント

- 手順3で録画モードを**[5倍]**にしたときは、転送直後にビデオ表示窓の“ 5倍 ”が点滅します。
- 転送後は、テープ残量も画面に表示されます。
転送時の本体の録画モード([標準]、[3倍]または[5倍])で計算されます。カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 手順3は省略できます。ただし、本体の録画モードが[標準]になっているときは[標準3倍]**(➜右ページ)**で、[3倍]になっているときは[3倍]で、[5倍]になっているときは[5倍]で自動的に予約されます。
- 複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されているときは正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。**(➜27)**

■ふたをひらいたところ

■野球中継延長などで放送開始が遅れたり、番組が予定より延長されたとき

- Gコード予約は、放送開始・終了の予定時刻に合わせて予約しますので、このようなときは、その番組の最初から最後までを録画することはできません。
  ただし、予約延長(➜右記)で、前もって終了時刻を延長しておくことはできます。

■転送後、テレビ画面に“ 予約ミス ”と表示されたとき

- もう一度最初から予約し直してください。

■転送後、ビデオ表示窓に“ FULL ”と表示されたとき

- すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。**(➜38)**

■[CH]の項目が“ G−− ”(点滅)になっているとき

- 予約したチャンネルのガイドチャンネルが正しく設定されていません。

- このときは、下記の操作で予約を完了すると、そのチャンネルのガイドチャンネルが設定されていないときは自動的に設定されます。
  1. ＋チャンネル− で、予約チャンネルを合わせる。
  2. 実行/決定 を押す。
  予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。

■BS放送の番組を予約するとき

- テレビのチューナーを使って予約録画してください。**(➜66)**

カセットに収まるように予約録画する（ぴったり録画）

標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

左ページ手順3で、

標準/3倍/5倍 を数回押し、[標準3倍]を選ぶ

■お願い/ヒント

- VTRモード設定**(➜46)**の[テープ長さ]を正しく合わせておかないと正しく働きません。
- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。下図の例では、2番目の番組の途中から3倍モードで録画し、3番目の番組は録画できません。

予約内容

1番目(30分)	2番目(60分)		3番目
実際の録画状態			
[標準]で30分録画	[標準]で15分録画	[3倍]で45分録画	(60分カセットを使ったとき)

- カセットによっては、正しく働かないことがあります。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後までを録画することはできません。
- CMカット予約**(➜右記)**も働かせたときは、CMをとばした分だけ録画される時間が短くなるため、テープが余ることがあります。
- ぴったり録画中に予約延長**(➜39)**も働かせたときは、その時点で番組の残り時間とテープ残量を計算し直します。(ただし、一度予約延長を行って3倍モードに切り換わる番組は、後から延長時間を短くしても標準モードには戻りません)
- 5倍モードでは働きません。

CMを自動的にとばして予約録画する（CMカット予約）

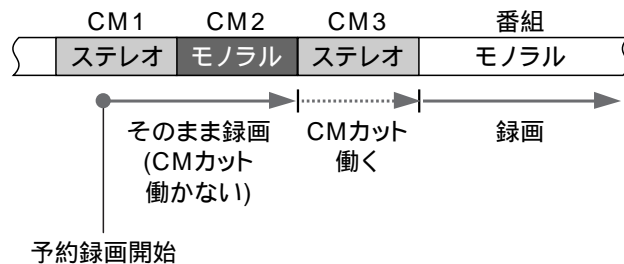
左ページ手順3のあと、

CM を押し、“ ✂ ”を表示させる

3倍 リモコン1 ✂ 転送 Gコード 78864- --

- もう一度押すと消えます。

■ヒント

- 予約録画される番組によっては、正しく働かないことがあります。**(➜33)**
- 予約録画開始直後がCM中のときは、そのCM中は働きません。
  ただしCM中でもモノラル音声のCMからステレオ音声のCMに切り換わったときは働きます。

予約録画の終了時刻を延長する

予約した番組の終了時刻を最大2時間先まで延長できます。

左ページ手順3のあと、

予約延長 を数回押す

- 下記のように延長される時間が変わります。

15分 ➜ 30分 ➜ 45分 ➜ 60分 ➜ 90分 ➜ 120分 ➜ 延長しない ➜ 15分

転送直後に予約内容を修正する

テレビ画面に予約内容が表示されている間は、内容を修正することができます。

テレビ画面に予約内容が出ている間に、

下記のボタンで修正する

曜日/日	：毎日・毎週予約などに修正**(➜36)**
チャンネル	：予約チャンネルを修正**(➜36)**
開始	：開始時刻を修正**(➜36)**
終了	：終了時刻を修正**(➜36)**
CM	：CMカット予約するとき**(➜上記)**
標準/3倍/5倍	：録画モードの変更、またはぴったり録画するとき**(➜左記)**
予約延長	：終了時刻を延長するとき

- 修正の操作をした約14秒後に、予約録画の待機状態になります。

■転送後、録画の待機状態になったあとに、予約内容を修正したいとき

- **(➜38)**

Gコードを使わずに予約する（フリーセット予約）

ビデオ

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

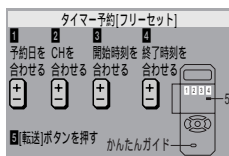
【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[**ビデオ**]にする。
● 本機の時刻が正しいことを確かめる。
●「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜28)**

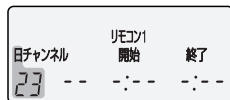
■フリーセット予約の操作がわからないときはかんたんガイドをご利用ください。

かんたんガイド を2回押す

● テレビ画面の指示に従って予約の操作をすることができます。

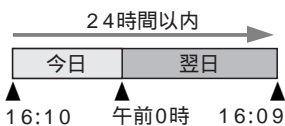
表示を消す

● かんたんガイド を押す。

1 ＋曜日/日－ を押し、予約日を合わせる

● [＋]側を押すごとに、下記のように変わります。([－]側を押すと逆方向)

→今日の予約
(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)
現在時刻が16時10分ならば、翌日の16時09分までが「今日」になります。

24時間以内
今日 | 翌日
16:10 (予約設定時刻) 午前0時 16:09

→1週間以内の予約(日→月→火→水→木→金→土)
→1か月以内の予約(1→2→3→…→29→30→31)
→毎日予約(毎週日～土→毎週月～土→毎週月～金)
→毎週予約(毎週日→毎週月→毎週火→…→毎週土)

● 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

2 ＋チャンネル－ を押し、予約チャンネルを合わせる

● 表示チャンネルで合わせてください。
● [＋]側を押すごとに、下記のように変わります。([－]側を押すと逆方向)

→VHF/UHFチャンネル(1→2→3→…→62)
→BSチャンネル(BS1→BS3→BS5→…→BS15)
→CATVチャンネル(C13→C14→C15→…→C63)
(工場出荷時はとばされています)
→外部入力チャンネル(L1→L2)

● 押し続けると、10ずつ変わります。

3 ＋開始－ を押し、開始時刻を合わせる

● 押し続けると、30分単位で変わります。

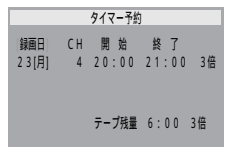
4 ＋終了－ を押し、終了時刻を合わせる

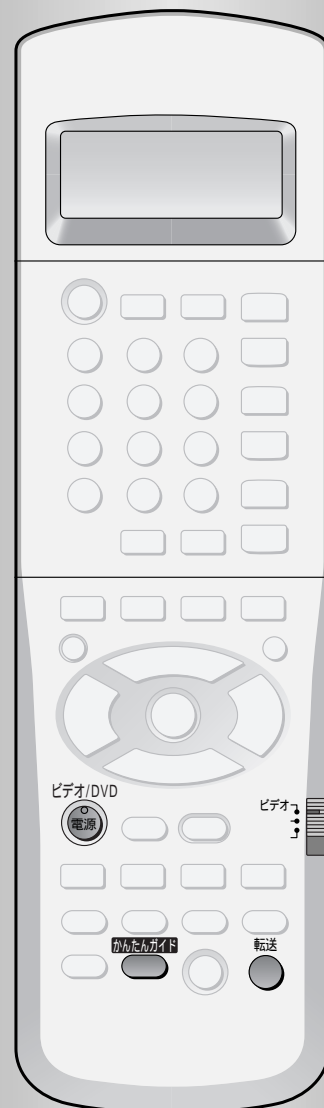
● 押し続けると、30分単位で変わります。

5 標準/3倍/5倍 で録画モードを選ぶ

● [標準]、[3倍]、[5倍]、[標準3倍]から選んでください。
● **[標準3倍]**について**(➜右ページ)**

6 転送/修正(長押し) を押す

● テレビ画面に予約内容が表示され、約14秒後に予約録画の待機状態になります。

7 ビデオ/DVD電源 を押し、電源を切る

● ただし、DVD側の機能は電源を入れてお楽しみいただけます。

■ふたをひらいたところ

■2つ以上の予約をするとき
- 手順1～6を繰り返してください。(予約録画の待機状態でも予約できます)

■お願い/ヒント
- 時刻は24時間表示です。
- 転送後は、テープ残量も画面に表示されます。
  転送時の本体の録画モード([標準]、[3倍]または[5倍])で計算されます。カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- 手順5は省略できます。ただし、本体の録画モードが[標準]になっているときは[標準3倍]で、[3倍]になっているときは[3倍]で、[5倍]になっているときは[5倍]で自動的に予約されます。
- 予約の際に各ボタンを押しても、リモコン表示窓が右図のまま動かないときは、確認を押すと元に戻ります。

■すぐに予約録画を始めたいとき
- 予約チャンネル(手順2)と終了時刻(手順4)のみを合わせて転送してください。(終了時刻までの予約録画を始めます)

■予約チャンネルについて
- 必ず表示チャンネルで合わせてください。
- 本体で表示されていないチャンネルは予約できません。

■素早く予約チャンネルを合わせたいとき
- 使わない予約チャンネルは、とばしておくと素早く合わせることができます。**(➜39)**

■CATVの予約チャンネルに合わせたいとき
- 工場出荷時はすべてとばされています。必ず予約チャンネルを表示させておいてください。**(➜39)**

■転送後、ビデオ表示窓に“FULL”と表示されたとき
- すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。**(➜38)**

■BS放送の番組を予約するとき
- テレビのチューナーを使って予約録画してください。**(➜66)**

■転送後、録画の待機状態になったあとに、予約内容を修正したいとき
- **(➜38)**

カセットに収まるように予約録画する (ぴったり録画)

標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

左ページ手順5で、
標準/3倍/5倍を数回押し、[標準3倍]を選ぶ

■お願い/ヒント
- VTRモード設定**(➜46)**の[テープ長さ]を正しく合わせておかないと正しく働きません。
- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。下図の例では、2番目の番組の途中から3倍モードで録画し、3番目の番組は録画できません。

予約内容

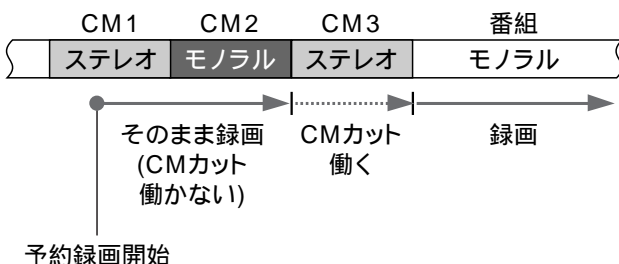
1番目(30分)	2番目(60分)		3番目
実際の録画状態			
[標準]で 30分録画	[標準]で 15分録画	[3倍]で 45分録画	(60分カセットを使ったとき)

- カセットによっては、正しく働かないことがあります。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後までを録画することはできません。
- CMカット予約**(➜下記)**も働かせたときは、CMをとばした分だけ録画される時間が短くなるため、テープが余ることがあります。
- 5倍モードでは働きません。

CMを自動的にとばして予約録画する (CMカット予約)

左ページ手順5のあと、
CMを押し、“✂”を表示させる

- もう一度押すと消えます。

■お願い/ヒント
- 予約録画される番組によっては、正しく働かないことがあります。**(➜33)**
- 予約録画開始直後がCM中のときは、そのCM中は働きません。
  ただしCM中でもモノラル音声のCMからステレオ音声のCMに切り換わったときは働きます。

予約内容を確認する、取り消す

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消しすることができます。
- 電源が入っているとき、または予約録画の待機状態のときに操作してください。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

確認する

1 確認 を押す

録画日	CH	開始	終了	
26[金]	8	16:00	17:00	標準
25[木]	6	19:00	20:00	3倍
23[火]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

- テレビ画面に予約内容の一覧が表示されます。

■予約内容一覧画面を消す
メニュー を押す。
- 手順1のあと、約1分そのままにしたときは、メニュー を押さなくても消えます。

取り消す

2 確認 を数回押し、取り消したい予約内容を選ぶ
- 押すごとに、1つ下の予約内容が選ばれます。

3 予約取消し を押す

録画日	CH	開始	終了	
26[金]	8	16:00	17:00	標準
--[-]	--	--:--	--:--	標3
23[火]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

■予約内容一覧画面を消す
メニュー を押す。
- 手順3のあと、約1分そのままにしたときは、メニュー を押さなくても消えます。

予約内容を修正する

予約済みの内容をテレビ画面で修正することができます。
- 電源が入っているとき、または予約録画の待機状態のときに操作してください。

1 確認 を数回押し、修正したい予約内容を選ぶ

録画日	CH	開始	終了	
26[金]	8	16:00	17:00	標準
25[木]	6	19:00	20:00	3倍
23[火]	4	20:00	21:00	3倍
--[-]	--	--:--	--:--	標3

- テレビ画面に予約内容の一覧が表示され、押すごとに１つ下の予約内容が選ばれます。

2 転送/修正(長押し) を約2秒以上押し続ける

3 下記のボタンで修正する

タイマー予約

録画日	CH	開始	終了	
25[水]	6	19:00	20:54	3倍

曜日/日 ：毎日・毎週予約などに修正(➜36)
チャンネル ：予約チャンネルを修正(➜36)
開始 ：開始時刻を修正(➜36)
終了 ：終了時刻を修正(➜36)
CM ：CMカット予約するとき(➜35,37)
標準/3倍/5倍 ：録画モードの変更、またはぴったり録画するとき(➜35,37)

4 実行/決定 を押す

5 リモコンのふたを閉じる

■ふたをひらいたところ

すでに録画が始まっている番組を予約延長する

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

予約録画中に、

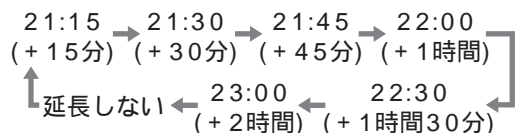
予約延長 を押す

終了 21:15

- 続けて押すごとに、下記のように延長される時間が変わります。

延長される時間の変わりかた

例：終了時刻を21時00分で予約したが、
　　ここから延長したい場合

21:15（＋15分）→ 21:30（＋30分）→ 21:45（＋45分）→ 22:00（＋1時間）→ 22:30（＋1時間30分）→ 23:00（＋2時間）→ 延長しない → 21:15

■**お願い/ヒント**

- 終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
- 予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。

予約録画を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。
また、始まった予約録画を途中でやめることができます。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

予約録画の待機を一時解除する

タイマー 切/入 を押す

予約

- ビデオ表示窓の“ 予約 ”が消え、電源が入ったときの状態になります。
- もう一度押すと元の状態に戻ります。

予約録画を途中でやめる

タイマー 切/入 を押す

- 録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

■**お願い/ヒント**

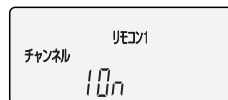
- 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度 タイマー 切/入 を押すと予約録画が再開されます。
- 本体の タイマー予約 切/入 でも、同じ操作ができます。

リモコンの予約チャンネル表示を設定する

本体の表示チャンネルに合わせて、使わない予約チャンネルはとばしておくと、フリーセット予約のときに素早く合わせることができます。

- また、CATVを受信される方は、必ず下記の操作を行って必要な予約チャンネルを表示させてください。
  (工場出荷時は、CATVチャンネルはすべてとばされています)

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

1 設定/リモコン(長押し) を“ ☎ ”が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらにもう1回押す

2 ＋チャンネル－ を押し、とばしたい(表示させたい)予約チャンネルを選ぶ

- 押し続けると、10ずつ変わります。

3 開始 を押し、[OFF]か[On]を選ぶ

OFF ：とばす
On ：表示させる

4 リモコンのふたを閉じる

■**お願い/ヒント**

- 必ず表示チャンネル(本体で表示させているチャンネル)で設定してください。
- 2つ以上のチャンネルをとばしたい(表示させたい)ときは、手順2～3を繰り返してください。
- とばされたチャンネルは、フリーセット予約できません。

リストを使って予約録画した番組を探す(プログラムナビ)

本機で予約録画すると、自動的にプログラムナビリストにその予約内容が登録されます。
このリストを利用して番組を探し出すことができます。

プログラムナビ機能を切/入する

VTRモード設定の[プログラムナビ]で[入]を選ぶ(➔46)

Pn **点灯**：プログラムナビ機能[入]
Pn **消灯**：プログラムナビ機能[切](工場出荷時)

- Pn が消えていると、予約録画してもプログラムナビリストに登録されません。

リストから頭出しする

【準備】● プログラムナビ機能を[入]にしておく。(➔上記)
● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

1 **プログラムナビ を押す**

プログラムナビ		
録画日	CH	開始
4/23[火]	4	21:00
4/25[木]	6	19:00
4/26[金]	8	16:00

- 再生中に押したときは、再生をやめ、プログラムナビ画面を表示します。

2 **プログラムナビ を数回押し、頭出ししたい番組を選ぶ**

プログラムナビ		
録画日	CH	開始
4/23[火]	4	21:00
4/25[木]	6	19:00
4/26[金]	8	16:00

約3秒後

プログラムナビ		
録画日	CH	開始
4/23[火]	4	21:00
4/25[木]	6	19:00
4/26[金]	8	16:00

- 押すごとに、1つずつ上の番組が選ばれます。
- 選んだあと、約3秒以上そのままにしておくと、自動的にその番組の頭出しを行い、そこから再生します。
- 頭出しを始めたあとでも、プログラムナビ を押すと別の番組を選ぶことができます。

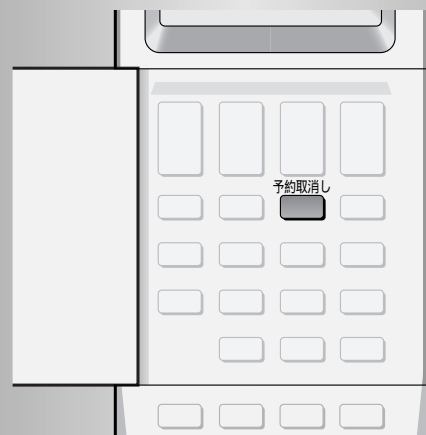
■途中で頭出しをやめる

メニュー を押す。

- プログラムナビ画面が消え、停止します。

■プログラムナビのしくみ

- プログラムナビリストは、カセットごとに記憶されます。そのカセットで最近予約録画した番組が、最大で14番組分、登録・表示されます。(1ページ7番組のリストが2ページ分)
- 15番組以上の予約録画をしたときは、一番古い番組がリストから削除されます。
- カセットで20本分、予約で50番組分まで登録できます。
- 本機にカセットを入れると、カセットを識別するための信号(プログラムナビデーター)を自動的に確認します。
  次に、現在のテープ位置から前後約10秒間の信号を確認します。(確認中は、テレビ画面に“ プログラムナビデーター確認中 ”と表示)
  信号が確認できなかったときは、プログラムナビ を押したときに、もう一度信号を確認します。
- 通常録画、終了時刻予約録画(➔33)をしたときは登録されません。
- 予約録画でも、映像のない(音声のみの)番組を予約録画したときは登録されません。
- テープ残量で番組を記憶しますので、VTRモード設定(➔46)の[テープ長さ]を正しく合わせておかないと、正しく働かないことがあります。
- 正しく頭出しをするために、予約録画は約15分以上(5倍モード時は約25分以上)行ってください。それより短いと登録されません。

■ふたをひらいたところ

■お願い/ヒント
- 本機以外のビデオ(当社製の同機能付きビデオも含む)で予約録画したカセットでは、正しく働きません。
- テープの始端から、番組と番組の間をあけないように録画してください。
- 未録画など、信号がない部分で信号を確認しようとすると、正しく確認できません。

テープ始端

	予約録画番組1		予約録画番組2

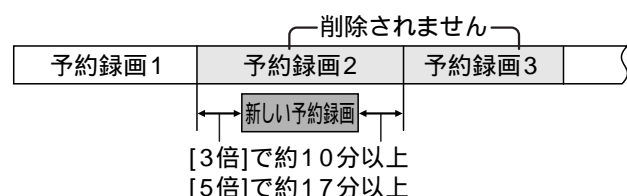
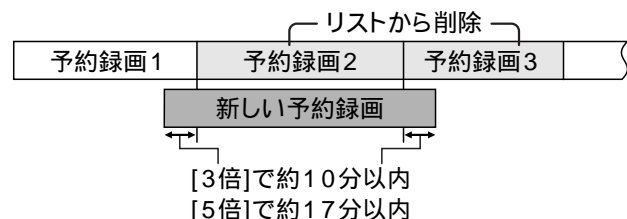
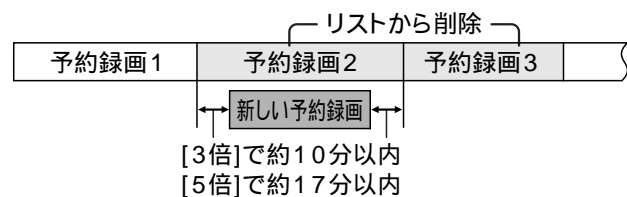
未録画などで信号がない部分

このときは、本機で予約録画した番組の部分で、プログラムナビ を押してください。より確実に信号を確認できます。それでも確認できなかったときは、テレビ画面に“ プログラムナビデーターが確認されません ”と表示され、頭出しできません。
- 予約操作の完了後に、登録可能な残りプログラム数が表示されます。
- すでにカセット20本分を記憶しているときに新しい予約をすると、予約操作の完了後に、“ プログラムナビ、残り 0カセット、データーを消してください ”と表示されます。そのまま予約録画を実行した番組は、リストに登録されません。
- すでに予約内容50番組分を記憶しているときに新しい予約をすると、予約操作の完了後に、“ プログラムナビ、残り 0プログラム、データーを消してください ”と表示されます。そのまま予約録画を実行した番組は、リストに登録されません。
- プログラムナビ を押すごとに、“ ビデオ1 ”などの表示が出たり、画面が一瞬黒くなったりすることがあります。「今すぐ再生」機能(➜21)を働かせているときは、プログラムナビ を押したときにも、テレビの入力を[ビデオ1]にする信号を出しているためです。この現象が気になるときは、「今すぐ再生」機能を解除してください。

■リストのある予約録画内容のところに新しく予約録画したとき
- 予約録画した時間によっては、前の予約内容がリストから削除されます。(下図参照)
- 通常の録画をしたときは、同様に前の予約内容がリストから削除されますが、新たに録画された内容は登録されません。

削除されません

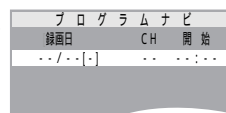
予約録画1	予約録画2	予約録画3	

新しい予約録画
[3倍]で約10分**以上**
[5倍]で約17分**以上**

リストを消去する

消去したリストは、元に戻すことができません。
消去してよいかよく確かめてから行ってください。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

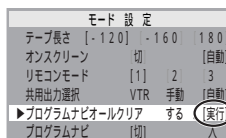
カセットのリストを一括して消去する

プログラムナビ画面の表示中に、
予約取消し を約5秒以上押し続ける

- 表示がすべて“ −− ”になります。

■お願い/ヒント
- カセットのリストはカセット単位で消去されます。1番組ずつリストを消去することはできません。

すべてのカセットのリストを一括して消去する

1 VTRモード設定の[プログラムナビオールクリア]を選ぶ
- 操作のしかた(➜46)

2 ◀ または ▶ を押し、[実行]表示を出したあと、実行/決定 を押す
- すべてのカセットのリストが消去されます。

3 メニュー を押す

■お願い/ヒント
- この操作を行っても本体内部のリストが消えるだけで、カセットにはプログラムナビデーターが残ったままになります。
  このため、本体内部のリストを消去したカセットを入れて プログラムナビ を押しても、正しく表示されません。
  カセットに記録されているプログラムナビデーターも消去したいときは、テープリフレッシュされることをおすすめします。(➜43)
  ただし、テープリフレッシュを行うと、録画した番組などもすべて消去されます。

頭出しして番組を探す

本機で録画を行うと、録画の開始点で頭出し信号が自動的に記録されます。この頭出し信号を利用して番組の最初の部分を探し出し、指定した開始点から自動的に再生を始めます。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

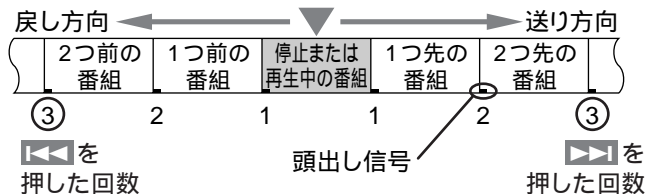
停止または再生中に、
見たい番組がある方向の頭出し ⏮ ⏭ を数回押す

- 早送り(巻き戻し)を始め、番組を探します。
- 番組を見つけると、自動的に再生を始めます。

頭出し02▶▶ CH 1
0:12.34 標準

再生▶

■途中でやめる
停止■ を押す。

■お願い/ヒント
- 頭出しする番組の指定のしかた

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 頭出し信号どうしの間隔が短いときは正しく探せないことがあります。録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ・録画● または ●録画/終了時刻予約 を押して録画を始めたとき。(録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - ・予約録画が始まったとき。
  - ・録画中に、リモコンの 録画● を押したとき。

次々に頭出しして番組を探す
(快速イントロサーチ)

上記の頭出し信号を利用して番組の最初の部分を探し出し、次々に早送り再生していきます。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

停止または再生中に、
1 快速イントロサーチ を押す

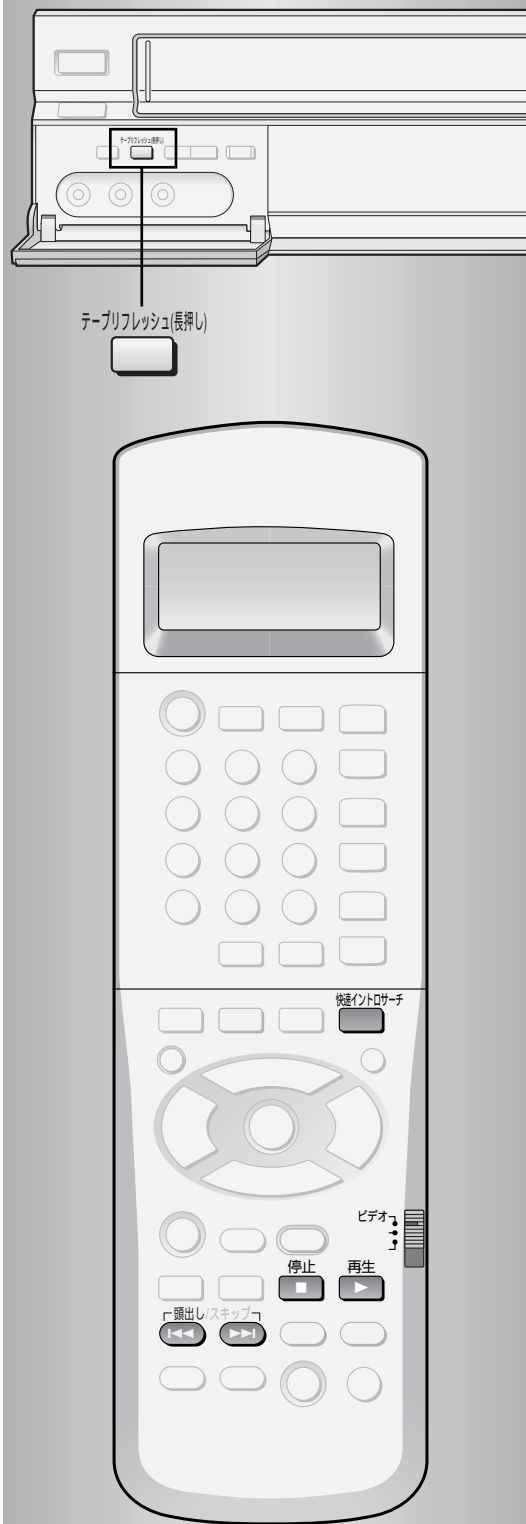
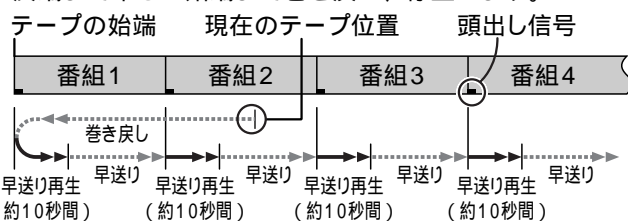
再生▶▶

テープ頭出し ▶▶▶▶

見たい番組が見つかったら、
2 再生▶ を押す

■途中でやめる
停止■ を押す。

■快速イントロサーチの動作
1. テープを始端まで巻き戻す。
2. 始端から約10秒間、早送り再生する。
3. ふつうの早送りをしながら次の頭出し信号を探す。
4. 頭出し信号を見つけると、そこから約10秒間早送り再生する。

テープの終端まで、3～4を繰り返します。
終端まで来ると始端まで巻き戻し、停止します。

カセットに録画されている内容を一度にすべて消去することができます。

※この操作をすると録画内容(映像、音声、プログラムナビデーター)はすべて消去され、元に戻すことができません。消去してよいかよく確かめてから行ってください。

※テープが新しくなるわけではありません。

1 VTRモード設定の[プログラムナビ]で[入]または[切]を選ぶ(➜46)

■本機でプログラムナビ機能[入]にして予約録画したカセットのときは、[入]を選んでビデオ表示窓にPnを点灯させてください。

■本機以外の当社製プログラムナビ機能付ビデオで予約録画したカセットのときは、[切]を選んでビデオ表示窓のPnを消してください。

2 テープリフレッシュしたいカセットを入れる

3 テープリフレッシュ(長押し)を約5秒以上押し続け、“ RF ”を点滅させる

4 もう一度、テープリフレッシュ(長押し)を約2秒以上押し続ける

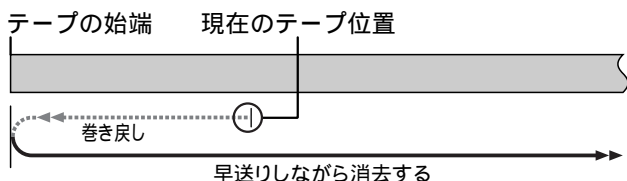
- テープリフレッシュ動作が始まります。(➜下記)

■途中でやめる

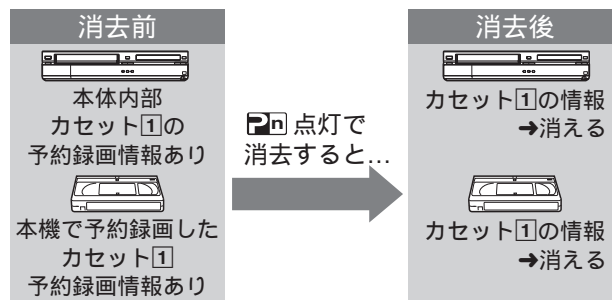
停止■を押す。

- 止めたところまでは消去されています。

■テープリフレッシュの動作

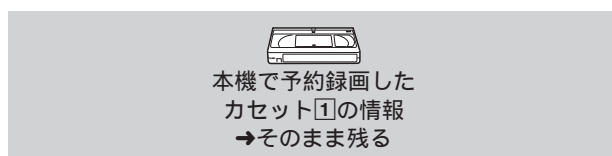
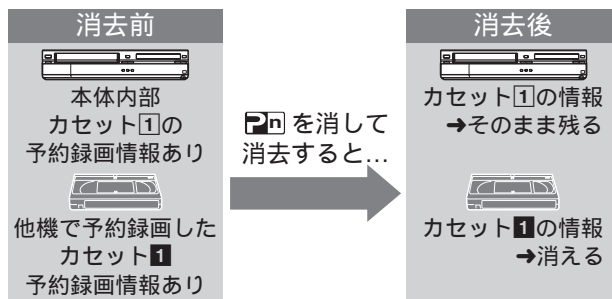
1. テープを始端まで巻き戻す。
2. 始端から早送りしながら、録画された内容を消去していく。
3. 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する。

- 120分カセットで約17分かかります。(目安です)
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが“ OFF ”になっているカセットはテープリフレッシュできません。

■本機でプログラムナビ機能[入]にして予約録画したカセットを消去するとき

- 必ず手順1でPnを点灯させてください。

- Pnを消して消去すると、本体内部は消去したカセットの情報が残ったままになってしまいます。

■他機(本機以外の当社製「プログラムナビ機能」付ビデオ)で予約録画したカセットを消去するとき

- 必ず手順1でPnを消してください。

本機で予約録画した
カセット1の情報
➜そのまま残る

- Pnを点灯させて消去すると、本体内部は、本機で録画したカセット番号(例では1)の情報も消えてしまいます。

■お願い/ヒント

- VTRモード設定(➜46)の[テープ長さ]を正しく合わせておかないと、テープの残り時間が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。

画面表示について（オンスクリーン） ビデオ

画面表示の一例

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

❶ **音声/自動CM早送り/レンタルモード**
- ステレオ(二重)放送受信時、“ステレオ(二重)。” **(➜右ページ)**
- 音声切換 で音声選択時、“左 右。”“左”、“右。” **(➜右ページ)**
- CM を押すごとに、“自動CM早送り 入(または切)。” **(➜30)**
- レンタルモード を押すごとに、“スタンダード”、“ダイナミック”、“ソフト。” **(➜30)**

❷ **動作表示**
- 再生、早送りなど、本機の動作状態。

❸ **日付/現在時刻表示**
- 時計/残量 を1回押すと、日付/現在時刻。**(➜下記)**

❹ **チャンネル表示**
- チャンネル切換時、録画開始時。

❺ **録画モード表示**
- 録画開始時、残量表示に切り換えたとき**(➜下記)**などに、“標準、”“3倍”、“5倍。”

❻ **テープカウンター/テープ残量表示**
- 時計/残量 を数回押すと、テープカウンター、テープ残量。**(➜下記)**

■お願い/ヒント
- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画、スロー再生中。
  - ・VTRモード設定**(➜46)**の[オンスクリーン]を[切]にしているとき。
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

時刻やテープカウンター、残量を確認する

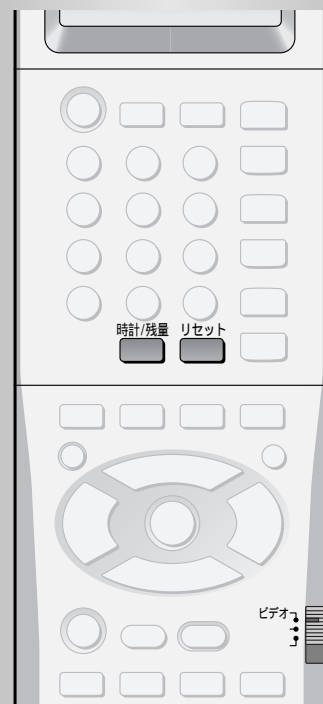
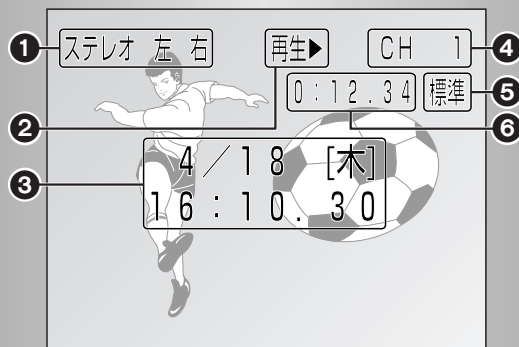
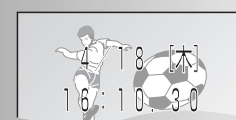
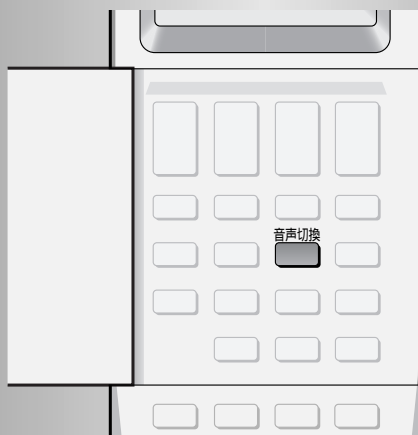
合わせてビデオ表示窓の表示も切り換わります。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を**[ビデオ]**にする。

時計/残量 を数回押す

- 5秒以内に押すごとに、右下図のように変わります。
- ボタンを押して5秒以上経過すると自動的に消えます。

■お願い/ヒント
- 自動時刻合わせ機能**(➜47)**が働いているときは、秒まで表示されます。
- テープカウンター表示になっているときに リセット を押すと、値が“0：00.00”になります。
- VTRモード設定**(➜46)**の[オンスクリーン]を[切]にしているときは、テレビ画面には表示されません。

■テープ残量について
- テープの残り時間が表示されます。(目安です)
- VTRモード設定**(➜46)**の[テープ長さ]を必ず正しく合わせておいてください。合わせていないと、正しい表示になりません。
- 残量の計算がされていないとき(カセットを入れた直後など)は、テープ残量は表示されません。(テープ残量表示にするとすぐに計算を始めます)
- 残量の計算のため、表示されるまでに多少時間がかかることがあります。
- カセットによっては、正しく表示されないことがあります。

ステレオ音声、主音声・副音声を切り換える

本機で受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

音声切換 を数回押し、聞きたい音声を選ぶ

- 押すごとに、下表のように切り換わります。
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- 表中の ▒▒ の欄が、2か国語オート再生機能(➜右記)で自動的に選ばれる音声です。

■テレビ放送受信中

	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオ放送	ステレオ　左　右	ステレオ音声
	ステレオ　左	左音声
	ステレオ　右	右音声
二重放送(2か国語放送など)	二　重　左　右	主音声＋副音声
	二　重　左	主音声
	二　重　右	副音声
モノラル放送(外部入力チャンネルも含む)	音　声　左　右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　右	右音声

■録画したテレビ放送の再生中

	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオ放送	音　声　左　右	ステレオ音声
	音　声　左	左音声
	音　声　右	右音声
	音　声	ノーマル音声(左+右)
二重放送(2か国語放送など)	音　声　左　右	主音声＋副音声
	音　声　左	主音声
	音　声　右	副音声
	音　声	ノーマル音声(主音声)
モノラル放送	音　声　左　右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　右	右音声
	音　声	ノーマル音声(モノラル)

■お願い/ヒント

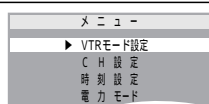
- 選んだ音声だけを録音することはできません。
  また、録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- ノーマル音声しか記録されていないカセットの再生中は、音声を選ぶことができません。
- テレビと映像・音声コードで接続していないときは、聞こえる音声は常にモノラルになります。
- [dc]チャンネル(➜69)を選んでいるときは、ビデオ側の音声の切り換えはできません。

■2か国語オート再生機能について

- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。
- 次のようなときは、2か国語オート再生機能は働きません。
  - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生するとき。
  - ・外部入力録画、または[dc]チャンネル(➜69)で録画をした番組を再生するとき。
  - ・音声切換 を押して、音声を選んだあと。
    選んだ音声を本機が記憶しているためです。
    一度電源を切ると、この機能は働くようになります。
  - ・番組の途中から再生を始めたとき。
    この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。音声切換 で音声を選んでください。

VTRモード設定

いろいろな項目をVTRモード設定画面で変更することができます。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[**ビデオ**]にする。

1 メニュー を押す

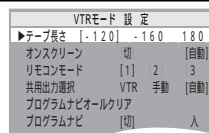
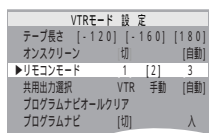
[VTRモード設定]が選ばれている状態で、

2 実行/決定 を押す

VTRモード 設定
▶テープ長さ [−120] −160 180
オンスクリーン 切 [自動]
リモコンモード [1] 2 3
共用出力選択 VTR 手動 [自動]
プログラムナビオールクリア
プログラムナビ [切] 入

3 ▲ ▼ で設定したい項目を選ぶ

4 ◀ ▶ で設定する

VTRモード 設定
テープ長さ [−120] [−160] [180]
オンスクリーン 切 [自動]
▶リモコンモード 1 [2] 3
共用出力選択 VTR 手動 [自動]
プログラムナビオールクリア
プログラムナビ [切] 入

5 メニュー を押す

VTRモード設定の項目

テープ長さ

▶−120(工場出荷時)
T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。

▶−160
T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき。

▶180
T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。

● D-VHSカセットのときは、どの位置に設定しても残量などが正しく表示されません。

オンスクリーン

▶切
テレビ画面に表示を出さないようにするとき。

▶自動(工場出荷時)
操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

リモコンモード(詳しくは➜右記)

▶1(工場出荷時)
通常はこの位置。

▶2または3
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

共用出力選択

▶VTR
ビデオ側の出力のみで使うとき。

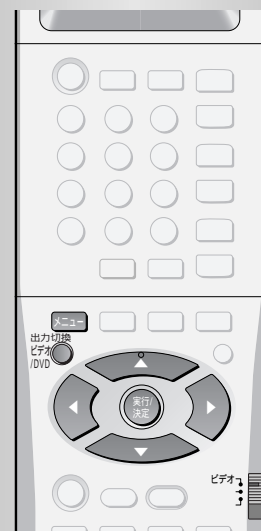
▶手動
ビデオ側とDVD側の出力を手動で切り換えるとき。
● 出力切換(ビデオ/DVD)を押すごとに切り換わります。

▶自動(工場出荷時)
操作や本機の動作に応じて、自動的に出力を切り換えるとき。
● 出力切換(ビデオ/DVD)を押しても切り換えできます。

プログラムナビオールクリア(➜41)
プログラムナビリストをすべて消去するとき。
● ◀ または ▶ を押し、[**実行**]表示を出したあと、実行/決定 を押してください。

プログラムナビ

▶切(工場出荷時)
プログラムナビを働かせないとき。

▶入
プログラムナビデーターを使って予約録画した番組を探すとき。

■ふたをひらいたところ

複数の当社製ビデオを使う(リモコンモード)

複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いの方は、機種別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。

● 当社製ビデオのほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別のビデオにも影響してしまいます。このときは、下記の操作でリモコンモードを変更してください。
● 通常は工場出荷時のまま[リモコンモード1]でお使いください。(当社製ビデオが本機しかないときなど)
● この設定は当社製ビデオが複数台ある場合にのみ有効です。DVD機器やテレビに対しては無効です。

■本体のモードを変更する
左記手順でリモコンモード[1]、[2]、[3]のいずれかを選ぶ。

■リモコンのモードを変更する

リモコン
1

1 設定/リモコン(長押し) を“☎”が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに3回押す ＋終了− でリモコンモードを選ぶ

● 押すごとに、“1”⟷“2”⟷“3”と変わります。

2 ふたを閉じる

■操作できずに、本体(ビデオ/DVD)表示窓に下図のような表示が出るとき

● 本体とリモコンのリモコンモードが合っていないので、操作できません。リモコン側のモードを本体に合わせてください。

本体のリモコンモード番号
(例では1)

● 複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いのとき、本機を操作すると別のビデオに上図のような表示が出ることがあります。このとき別のビデオが録画中や予約録画の待機状態などになっていても影響はありません。この表示は約3秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。

時刻を合わせ直す(時刻設定)

時刻が合っていないときは、下記の方法で合わせ直してください。

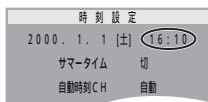
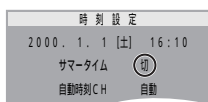
【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

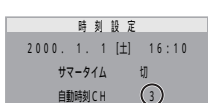
1 **メニュー を押す**

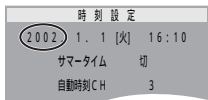
2 **▲ ▼ で[時刻設定]を選び、実行/決定 を押す**

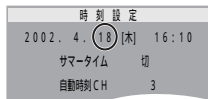
3 **▲ ▼ で時刻を合わせる**

時 刻 設 定
2000. 1. 1 [土] 16:10
サマータイム 切
自動時刻CH 自動

- 24時間表示です。
- 押し続けると30分単位で変わります。

4 **▶ で[サマータイム]を選び、▲ ▼ で設定する**

5 **▶ で[自動時刻CH]を選び、▲ ▼ でNHK教育テレビに合わせる**

- 表示チャンネルで合わせてください。

6 **▶ で[年]を選び、▲ ▼ で合わせる**

- 西暦1988～2087年までです。

7 **▶ で[月]を選び、▲ ▼ で合わせる**

8 **▶ で[日]を選び、▲ ▼ で合わせる**

9 **メニュー を押す**

■自動時刻合わせ機能について

- [自動時刻CH]をNHK教育テレビに合わせておくと、本機が毎日7、12、19時に時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正します。
- 2分以内の誤差が修正されます。
- 次のようなときは働きません。
  - ・[自動時刻CH]を[ーー]にしているとき。(自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
  - ・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
  - ・時報のバックに音楽が流れているとき。
  - ・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- [自動時刻CH]を[自動]にすると、本機が自動的にNHK教育テレビを探し出します。
  (地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします)
- 電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

■お願い

- 自動時刻合わせ機能は、NHK教育テレビの時報を利用しています。正規の時報以外に番組の中で時報が放送されると、"時報"と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が2分以上あるときは、時刻設定で正しい時刻に合わせ直してください。

■サマータイム機能について

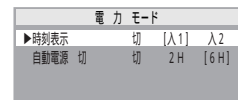
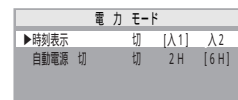
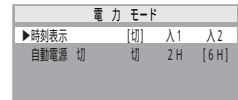
- **[入]**にすると時刻を1時間すすめます。**[切]**にすると元に戻ります。将来、サマータイムが実施されたときにお使いいただけます。現在は**[切]**にしておいてください。(2001年11月現在)

不要な電力消費をおさえる(電力モード設定)

不要な電力の消費をおさえることができます。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。

1 **メニュー を押す**

2 **▲ ▼ で[電力モード]を選び、実行/決定 を押す**

3 **▲ ▼ で設定したい項目を選ぶ**

4 **◀ ▶ で設定する**

5 **メニュー を押す**

電力モード設定の項目

時刻表示

▶切

電源「切」時や、予約録画の待機中にビデオ表示窓の表示をすべて消すとき。

- 電源「切」時や、予約録画の待機中の消費電力を約1.7ワットにすることができます。
- 何も表示されていないときでも、時計/残量 で時刻表示を確かめたり、予約録画の待機中は 確認 で予約内容を確かめたりすることはできます。

▶入1(工場出荷時)

電源「切」時や予約録画の待機中に、ビデオ表示窓に現在時刻を暗く表示するとき。

▶入2

電源「切」時や予約録画の待機中に、ビデオ表示窓に現在時刻を明るく表示するとき。

自動電源　切

続き再生メモリー機能**(➜49)**動作中は働きません。

▶切

「自動電源 切」機能を働かせないとき。

▶2H

約2時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。

▶6H(工場出荷時)

約6時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。

再生する

DVD VCD CD

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

1 ビデオ/DVD電源 を押し、電源を入れる

2 ≜開/閉ディスク または ≜開/閉(ディスク) を押し、ディスクトレイを開ける

3 ディスクを置く

4 再生▶ を押す

■お願い/ヒント
- ≜開/閉ディスク、再生▶、≜開/閉(ディスク)、再生▶ のいずれかを押しても電源が入ります。すでにディスクが入っているときは、再生▶、再生▶ を押すと、再生も始まります。
- ディスクによっては、映像や音声が出るまでに時間がかかることがあります。

音量について DVD

本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。
別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

■MP3の再生について
- 再生されるまでに少し時間がかかる場合があります。MP3で記録されたディスクを本機に認識させるためです。
- 本機で再生できるのは、ISO9660 level1およびlevel2で記録されたMP3です。ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。
- MP3ファイルに圧縮するときに使用する圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は、128kbpsの固定を推奨します。圧縮ソフトの設定によっては再生できない場合があります。

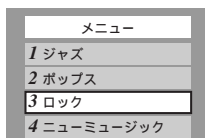
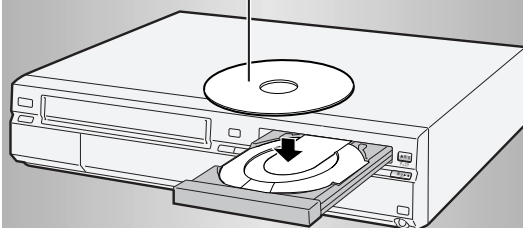
■DVD-Rディスクについて
- DVDビデオレコーダー「DMR-E20」(当社製)でDVD-Rディスク(当社製)に録画し、ファイナライズしたDVD-Rは「DVDビデオ」として再生できます。
  ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できない場合があります。

■CD-R/CD-RWディスクについて
- CD-DAフォーマットまたはビデオCDフォーマットで記録され、録画・録音終了時にファイナライズ*されたCD-R/RW再生に対応しています。
  *CD-R/CD-RW再生対応機器で再生できるよう処理すること。
- MP3で記録されたCD-R/RWの再生に対応しています。
- 記録状態によっては再生できないことがあります。

メニュー画面が表示されたときは

DVD VCD

- インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付ビデオCDの多くは、右図の例のように、メニュー画面が表示されます。
  (➔右ページ)

メニュー
1 ジャズ
2 ポップス
3 ロック
4 ニューミュージック

■ヒント
- ボタン操作中、テレビ画面に“ ⃠ ”(禁止)マークが表示されたときは、その操作がディスクまたは本機で禁止されているためできません。
  このときは、それぞれ右ページ上のマークが表示されます。

- ディスク側で禁止されている操作のとき

- 本機側で禁止されている操作のとき

■再生が終わると
- 自動的に停止し、ディスクによってはメニュー画面表示になります。

再生をやめる

再生中に、
停止■ を押す

- DVD表示窓の“ ▶ ”が点滅しているときは、「続き再生メモリー機能」(➜下記)が働いています。
- DVDまたはビデオCDの再生中で、テレビ画面にメニューが表示されているときは、画面が静止していてもディスクは回り続けています。
  もう一度 停止■ を押してください。

■ディスクを取り出す
⏏開/閉ディスク または ⏏開/閉(ディスク) を押す。
- ディスクトレイが出てきます。
- 電源が切れていても、自動的に電源が入り、ディスクトレイが出てきます。

止めた位置から再生する(続き再生メモリー機能)

DVD表示窓の“ ▶ ”が点滅中に 再生▶ を押すと、止めた位置から再生が始まります。
- 再生中、DVD表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

■あらすじリプレイについて DVD

- DVD表示窓の“ ▶ ”が点滅中に 再生▶ を押すと、右図のような画面が表示されます。
  表示中に 再生▶ を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生したあと、その位置から再生が始まります。
- 同一タイトル内でのみ働きます。
- 再生▶ を押さずにそのままにしておくと、この表示は消え、記憶した位置から再生が始まります。

■続き再生メモリー機能を解除する
- もう一度 停止■ を押す。
- ディスクトレイを開けても解除されます。
- 電源を切ったときも解除されます。

■電源を切ったあとに、止めた位置から再生したいとき
再生中、再生モード を押し、位置を記憶させる。
- テレビ画面に“ 位置を記憶しました ”と表示されます。
- 電源を切り、再び電源を入れて 再生▶ を押すと、記憶させた位置から再生が始まります。

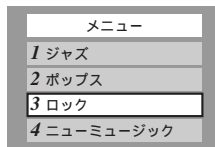
メニュー画面から再生する

DVD

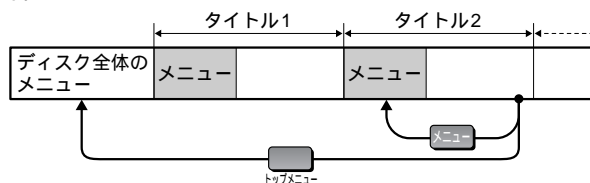
再生を始めたときや、1つのタイトルを再生し終わったときは、メニュー画面になる場合があります。

1 ▲ ▼ ◀ ▶ で、メニューの項目を選ぶ

メニュー
1 ジャズ
2 ポップス
3 ロック
4 ニューミュージック

- “ *3* ”を選んだ例。
- ① ～ ⑩/0 、⏮ ⏭ などで選べるディスクもあります。
  このときは、下記手順2の操作は不要です。
- ディスクによって異なりますが、メニューに続きがある場合は、▲ ▼ ◀ ▶ で表示します。

2 実行/決定 を押す

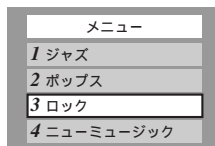
- 選んだ項目が決定し、再生が始まります。

■メニュー画面に戻す
メニュー を押す。
- 複数のメニューを持つDVDの場合、トップメニュー を押してもメニュー画面に戻すことができますが、メニュー を押したときとは異なるメニューが表示されることがあります。
  例)タイトル2の再生中に トップメニュー 、メニュー を押したときの違い

VCD

プレイバックコントロール付のビデオCD*では、再生を始めるとまずメニュー画面になる場合があります。
このときは、以下のように選んでください。
*再生するとDVD表示窓に“ PBC PLAY ”と表示されます。

①～⑩/0 を押し、メニューの項目を選ぶ

メニュー
1 ジャズ
2 ポップス
3 ロック
4 ニューミュージック

- 選んだ項目が決定し、再生が始まります。

■ヒント
- ビデオCDのときは、▲ ▼ ◀ ▶ や 実行/決定 は使えません。①～⑩/0 で選びます。
  例) 5の場合…⑤
  10の場合…≧10→①→⑩/0
  25の場合…≧10→②→⑤

■その他のメニュー操作ボタンについて
- ディスクによって異なります。ディスクの説明書をお読みください。
  例) ⏮ ⏭ ：次の(前の)項目を出す
  戻る ：前のメニューに戻る
  メニュー ：メニュー画面を出す

ディスクを再生する DVD

静止/コマ送り(戻し)/スロー/早送り/早戻し再生する

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

静止(一時停止)する

DVD VCD CD

再生中に、

一時停止/スロー ❚❚/▷ を押す

● 静止(一時停止)中でもディスクは回り続けています。

コマ送り(戻し)する

DVD VCD

静止中に、

◀ または ▶ を押す

◀ …戻る(DVDのみ)
▶ …進む

● 押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。
● 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。

スロー再生する

DVD VCD CD

静止中に、

スロー/サーチ ◀◀ または ▶▶ を押す

▶▶ …進む
◀◀ …戻る(DVDのみ)

● 押すごとに速度が速くなります。(5段階)

■ヒント
● MP3で記録されたディスクの場合、スロー再生をすることはできません。

早送り/早戻し再生する

DVD VCD CD

再生中に、

スロー/サーチ ◀◀ または ▶▶ を押す

▶▶ …早送り
◀◀ …早戻し

● 押すごとに速度が速くなります。(5段階)
● DVDの場合、100倍速で早送り/早戻し再生がお楽しみいただけます。

■ヒント
● DVD、ビデオCDのメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。
● DVD/ビデオCDは早送り1速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。**(初期設定[音声]の[早送り時の音声]➜63)**

■静止(一時停止)、コマ送り(戻し)、スロー、早送り/早戻し再生を通常再生に戻す

再生▶ を押す。

場面や曲を選ぶ

DVD　VCD　CD

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

場面(チャプター)や曲(トラック)を飛びこす

再生中または静止(一時停止)中に、

スキップ ⏮ ⏭ を押す

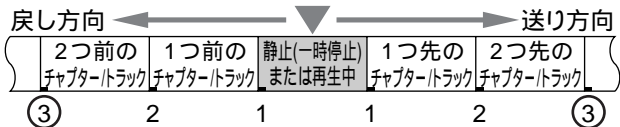
⏭…進む
⏮…戻る

- 押した回数だけ飛びこします。
- 続けてボタンを押すと、場面や曲が変更できます。
- 再生中に操作したときは、飛びこしたあとも再生、静止(一時停止)中に操作したときは、飛びこしたあとも静止(一時停止)になります。

■お願い/ヒント

- 頭出しする位置の指定のしかた

戻し方向 ←　▼　→ 送り方向

2つ前の チャプター/トラック	1つ前の チャプター/トラック	静止(一時停止) または再生中	1つ先の チャプター/トラック	2つ先の チャプター/トラック
③	2	1	1	2 ③

⏮ を押した回数　　　⏭ を押した回数

- ⏮ を1回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。
ただし、再生位置がチャプター/トラックの先頭の場合は、1つ前のチャプター/トラックの先頭へとびます。
- DVDやビデオCDのメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。

場面(タイトル)や曲(トラック)を番号指定で再生する

停止中に、

❶〜⑩/0 で再生したいタイトル/トラックを選ぶ

例）５の場合…❺
　10の場合…≧10→❶→⑩/0
　25の場合…≧10→❷→❺

- 選んだタイトル/トラックから再生が始まります。
- MP3で記録されたディスクの場合は、上記例の手順のあと、実行/決定 か 再生▶ を押して再生を始めてください。

■お願い/ヒント

- カラオケDVD、ビデオCD、音楽CDの場合は再生中でも働きます。
- ディスクや再生状態によっては、働かない場合があります。

VCD

■プレイバックコントロール付ビデオCD*のメニューを使わずに番号指定で再生するとき

停止(メニュー表示)中に 停止■ を押し、DVD表示窓の‘ PBC PLAY ”を消してから、上記の番号指定の再生操作をする。

- 再びメニュー再生に戻すには、メニュー を押します。
DVD表示窓の“ PBC PLAY ”が点灯します。

*再生するとDVD表示窓に“ PBC PLAY ”と表示されるビデオCDのこと。

好みの順に再生する(プログラム再生)

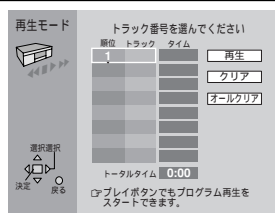
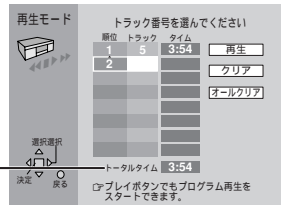
VCD　CD

最大32トラックまで好みの順に並べかえて再生します。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

停止中に、

1 再生モード を押す

- プログラム入力画面が出ます。
- 押すごとに、[プログラム]→[ランダム]→[解除]と換わります。

2 ❶〜⑩/0 でトラック番号を選ぶ

プログラム再生の総合計時間を表示します。

- 「トータルタイム」と選んだトラックの合計タイムが多少合わないことがありますが、「トータルタイム」の方が、実際の再生時間を示します。

さらにプログラムするには、

3 手順2を繰り返す

4 再生▶ を押す

- プログラム再生が始まります。

■ヒント

- 手順2では、トラックを ▲ ▼ を押して選ぶこともできます。
1. 実行/決定 を押したあと、▲ ▼ で選ぶ。
2. もう一度 実行/決定 を押す。
- プログラム再生が終了すると停止して、プログラム入力画面になります。
- MP3で記録されたディスクのときは働きません。

■プログラム再生をやめる

1. プログラム再生中に、停止■ を2回押す。
2. 再生モード を2回押す。
- プログラムは保持されています。
もう一度 再生モード を押すと、現在のプログラム入力状態が表示されます。

■プログラム再生中、はじめからもう一度プログラム再生をする

1. 停止■ を2回押す。(プログラム入力画面になります)
2. 再生▶ を押す。

■プログラムを変更する

プログラム入力画面で、▲ ▼ で変更したいプログラム番号を選び、実行/決定 を押す。
このあと、上記手順2を行い、変更するトラック番号を選ぶ。

- ◀◀ ▶▶ を押すと、画面のページが変わり、変更したいプログラム番号を素早く表示させることができます。

■プログラムを取り消す

取り消したいプログラムを ▲ ▼ で選んだあと、▶ で[**クリア**]選び、実行/決定 を押す。

- 取消し を押しても取り消すことができます。

■プログラムをすべて取り消す

▲ ▼ ▶ で[**オールクリア**]選び、実行/決定 を押す。

順不同に再生する(ランダム再生)

VCD CD

各トラックを一度ずつ、本機が自動的に順不同で再生します。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

停止中に、

ランダム再生
プレイボタンでランダム再生スタート

1 再生モード を2回押す

● 押すごとに、[プログラム]→[ランダム]→[解除]と換わります。

2 再生▶ を押す

● ランダム再生が始まります。

■ランダム再生が終了すると

停止して、ランダム再生画面に戻ります。

■ランダム再生を解除するには

1. ランダム再生中に、 停止■ を2回押す。
2. 再生モード を押す。

■ヒント

● MP3で記録されたディスクのときは働きません。

繰り返し再生する(リピート再生)

DVD VCD CD

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

再生中に、

リピート を押す

● **DVD/MP3**
押すごとに、**[C(チャプター)]**→**[T(タイトル全体)]**→**[切]**と換わります。

● **ビデオCD/CD**
押すごとに、**[T(トラック)]**→**[A＝オール(ディスク全体)]**→**[切]**と換わります。

■ヒント

● 一部のDVDではできないことがあります。
また、プレイバックコントロール付ビデオCDのメニュー再生中は働きません。
● タイトルが2つ以上あるDVDでは、ディスク全体を繰り返すことはできません。

プログラムした順番に繰り返し再生する(プログラムリピート再生)

VCD CD

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

プログラム再生(➜51)中に、

リピート を押す

● 押すごとに、
[T(再生中のトラックのみ繰り返し)]→
[A＝オール(プログラムしたトラック全体の繰り返し)]→**[切]**と換わります。

T PGM

■ヒント

● MP3で記録されたディスクのときは働きません。

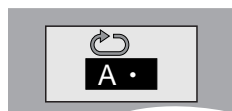
指定した2点間を繰り返す
(A-Bリピート)

DVD VCD CD

同一タイトル/トラック内で、お好みの2点(A点とB点)を指定して、その2点間を繰り返し再生することができます。

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

再生中に、

1 A-Bリピート を押し、A-Bリピート開始位置(A)を指定する

2 A-Bリピート を押し、A-Bリピート終了位置(B)を指定する

A B

- A－B間の繰り返し再生が始まります。

■**A-Bリピートをやめる**

もう一度 A-Bリピート を押す。

■**ヒント**

- 一部のDVDでは働きません。
- 終了位置(B)を指定する前に、タイトル/トラックが終了したときは、タイトル/トラックの終了点がB点となります。
- 字幕が出るディスクの場合、A-B間の前後の字幕は表示されないことがあります。

字幕/音声/アングルを切り換える

DVD

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

字幕言語を切り換える

再生中に、

字幕 を押す

● 押すごとに切り換わります。
字幕が記録されていないときは " ーー " と表示されます。

■お願い/ヒント
● 変更後は、選んだ字幕言語が表示されるまで少し時間がかかることがあります。

■字幕を切/入する
1 ▶ を押す
2 ▲ ▼ で[切]または[入]を選ぶ

音声言語を切り換える

再生中に、

音声 を押す

● 押すごとに切り換わります。
音声が記録されていないときは " ーー " と表示されます。

■お願い/ヒント
● カラオケディスクではボーカルの切/入ができます。
詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

アングルを切り換える

再生中に、

アングル を押す

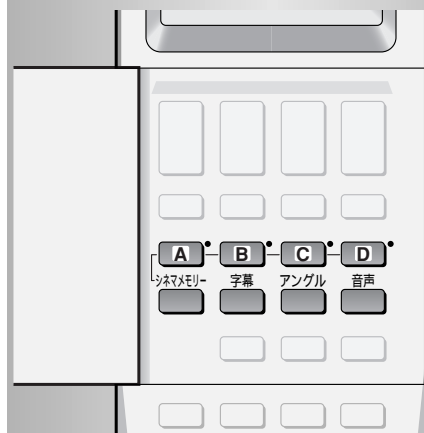
● 押すごとに切り換わります。

■字幕/音声/アングルの画面表示を消す
戻る を押す。

■" ⃠ "が表示されたとき
● ディスクに記録されていない字幕/音声/アングル番号を選んでいます。

■お願い/ヒント
● ❶～⑩⓪ 、▲ ▼ で字幕/音声/アングル番号を選ぶこともできます。
● 字幕/音声/アングルが1つしか記録されていないときは、" ▲ ･ ▼ " マークは表示されません。

● メニュー画面でのみ字幕/音声/アングルの切り換えができるディスクもあります。
● あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。ディスクの説明書もお読みください。
● 最初から好みの言語で再生したいときは、初期設定[ディスク]の[字幕言語]、[音声言語]を設定してください。(➔63)

■ふたをひらいたところ

映画鑑賞機能を設定する

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

ワンタッチで自分好みの映画鑑賞機能を記憶させる(ワンタッチシネマメモリー)

A (アドバンスド・サラウンド)(V.S.S.)、B (バス・プラス)、C (シネマ)、D (ダイアログ・エンハンサー)それぞれのボタンの設定を記憶させ、ワンタッチで呼び出すことができます。

■記憶させる

1 上記4つの機能を設定する

2 シネマメモリー を DVD表示窓の [A][B][C][D]が点滅するまで押し続ける

■呼び出す

シネマメモリー を押す

- DVD表示窓に右図のような表示が出ます。

CINEMA ON

■解除する

もう一度 シネマメモリー を押し、[CINEMA OFF]を出す。

- 工場出荷時の設定になります。
  - ・A (アドバンスド・サラウンド)(V.S.S.)：[切]
  - ・B (バス・プラス)：[入]
  - ・C (シネマ)：[N(通常)]
  - ・D (ダイアログ・エンハンサー)：[切]

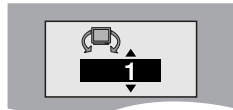
2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ (A-SRD = Advanced Surround (アドバンスド サラウンド))(V.S.S.)

DVD

音に広がりを与え、フロントスピーカー(L/R)だけでサラウンド効果を楽しむことができます。

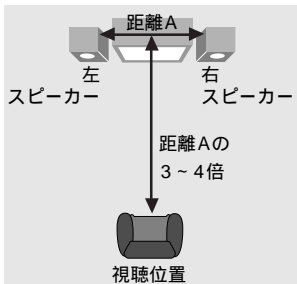
- サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
- ドルビーデジタル2ch以上のディスクで働きます。

A を押す

- 押すごとに、**[1(標準)]**→**[2(強)]**→**[切]**と換わります。

■フロントスピーカーで聞くときの効果的な聞きかた

左右フロントスピーカー間の3〜4倍の距離を離れて視聴すると効果的です。

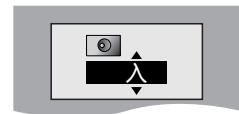
■お願い/ヒント

- [1]や[2]にしていても、ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- 音声がひずむときは、[切]にしてください。
- アドバンスド・サラウンドが働いているときは、フロントスピーカーからしか音声は出ません。
- アドバンスド・サラウンドを働かせるときは、接続した機器側のサラウンド機能を[切]にしてください。

迫力ある重低音を楽しむ (B ASS = Bass Plus (バス プラス))

DVD VCD CD

アクティブサブウーハー(アンプ内蔵)に接続(➜61)したとき、[入]にすると、迫力ある重低音が楽しめます。

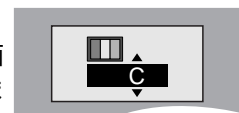
B を押す

- 押すごとに、**[入]**→**[切]**と換わります。

映画の再生に適した画質にする (C INEMA = Cinema (シネマ))

DVD VCD

ブラウン管テレビ特有のギラギラした感じをおさえ、しっとりとしたやさしい映像にします。
暗くて見えにくい場合でも、人物などが見えやすいように画面の暗部の輪郭を忠実に再現します。

C を押す

- 押すごとに、**[C(映画鑑賞向けの画質)]**→**[N(通常の画質)]**と換わります。

■ヒント

- 本機情報画面(GUI)[映像設定]の[画質モード]で、好みの画質(コントラスト、ブライトネス、カラー)に調整することもできます。(➜58)

映画のセリフを聞き取りやすくする (D-ENH = Dialogue Enhancer (ダイアログ エンハンサー))

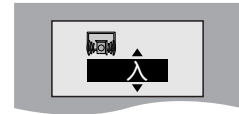
DVD

映画など迫力ある効果音が記録されたソフトでのセリフ部を聞き取りやすくします。

- ドルビーデジタル3ch以上で記録され、センターチャンネルにセリフが入っているディスクで働きます。

D を押す

- 押すごとに、**[入]**→**[切]**と換わります。

■ヒント

- [入]にしていても、ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。

GUI画面の基本操作

DVD　VCD　CD

GUI(Graphical User Interface)画面とは

「画面を見ながら操作できる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI画面」と呼びます。再生中、情報を確認しながら内容を変更することにより、さまざまな操作ができます。

【準備】 ● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

再生中または停止中に、

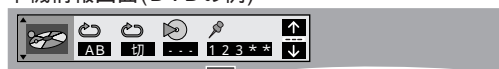
1 画面表示 を数回押し、操作したいGUI画面を出す

● 押すごとに、[ディスク情報画面]→[本機情報画面]→[シャトル画面]→[表示なし]と換わります。

ディスク情報画面(DVDの例)

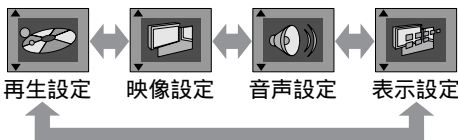
本機情報画面(DVDの例)

シャトル画面(DVDの例)

−100　+100

表示なし

本機情報画面を選んだときは、必要に応じて、

2 ▲ ▼ で設定切換アイコンを選ぶ

● 押すごとに、[再生設定]←→[映像設定]←→[音声設定]←→[表示設定]と換わります。

3 ◀ ▶ で操作項目を選ぶ

4 ▲ ▼ で設定する

項目によっては、1～10/0 や 実行/決定 を押す

● 各項目の操作について(➜57,58)

● GUI画面以外でも行える項目の詳細は、それぞれのページをご覧ください。

■GUI画面を消す

画面表示 を数回押し、表示を消す。

または 戻る を押す。

■ヒント

● 枠の“ ▲ ▼ ”マークは、▲ ▼ で変更できることを示します。

● 実行/決定 を押すまで変更されない項目もあります。

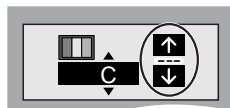
● 表示内容はディスクによって異なります。

● ディスクや再生状態(停止中など)によっては操作できない項目があります。

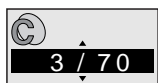
■GUI画面の位置を変える

● 自動画像ズーム機能付きテレビでその機能を働かせているときにDVDソフトを再生していると、GUI画面の一部が欠けたり、表示されなかったりすることがあります。このときは、以下の操作でGUI画面を移動できます。(5段階)

1 ◀ ▶ で矢印アイコン(右はし)を選ぶ

2 ▲ ▼ で位置を変える

ディスク情報画面を操作する

タイトル番号 DVD
トラック番号 VCD CD
番号を選び、実行/決定を押す。

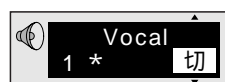
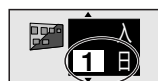
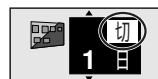
チャプター番号 DVD
番号を選び、実行/決定を押す。

- **MP3で記録されたディスクの場合:** 番号を選び、実行/決定または再生▶を押す。

経過時間 DVD
再生場所を時間で指定する。
例)1時間46分50秒から再生するとき
❶→❹→❻→→→
実行/決定と押す。

時間表示 VCD CD
再生中、▲▼を押すごとに表示を変更する。
[トラックの経過時間]↔
[トラックの残り時間]↔
[ディスクの残り時間]

- **MP3で記録されたディスクの場合:** 再生中の曲の経過時間を表示します。▲▼を押しても変更はできません。

音声言語(➜右記 ⓐ) DVD
番号を選ぶと、その音声で再生する。

音声属性(➜右記 ⓑ) DVD

カラオケボーカル切/入 DVD
(カラオケDVDのみ)
ソ　　ロ：[切]↔[入]
デュエット：[切]⟷[V1+V2]
↕　↕
[V2]⟷[V1]

字幕言語(➜右記ⓐ) DVD
番号を選ぶと、その言語で再生する。

字幕切/入 DVD
字幕[切]↔[入]

アングル番号 DVD
番号を選ぶとそのアングルで再生する。

音声チャンネル VCD
音声チャンネルを選ぶと、その音声で再生する。
[LR(左+右音声)]
↕
[L(左音声)]
↕
[R(右音声)]

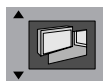
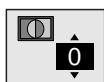
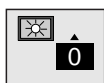
メニュー再生の切/入状態表示 VCD
(プレイバックコントロール付ビデオCDのみ)
変更はできません。

ⓐ 音声/字幕言語

日：日本語	**伊**：イタリア語	**露**：ロシア語
英：英語	**西**：スペイン語	**韓**：韓国語
仏：フランス語	**蘭**：オランダ語	**＊**：その他
独：ドイツ語	**中**：中国語	

ⓑ 音声属性
LPCM/DD Digital/DTS：信号タイプ
k：サンプリング周波数
b：ビット数
ch：チャンネル数

本機情報画面を操作する

■映像設定

画質モード DVD VCD
▲▼でお好みの画質モードを選ぶ。
[N]：通常画質
[C]：映画鑑賞向けの画質(➜55)
[U]：ユーザー画質
[U]を選ぶと以下のアイコンが表示され、▲▼◀▶で各種調整ができます。

コントラスト(－7～＋7)
映像の白い部分と黒い部分に強弱をつける。

ブライトネス(0～＋15)
画面全体を明るくする。

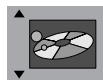
カラー(－7～＋7)
色の濃さを調整する。

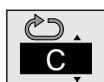
■音声設定

アドバンスド・サラウンド(V.S.S.) DVD
(ドルビーデジタル2ch以上のディスクのみ)(➜55)
[1]⟷[2]⟷[切]

バス・プラス(➜55)
[切]↔[入]
アクティブ(アンプ内蔵)サブウーハーと接続するとき[入]を選ぶ。

ダイアログ・エンハンサー DVD
(ドルビーデジタル3ch以上のディスクのみ)(➜55)
[切]↔[入]

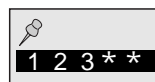
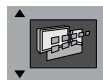
■再生設定

A-Bリピート再生(➜53)
再生中 実行/決定 を押すごとに
A点を指定 ⟶ B点を指定 ⟶ 通常再生

リピート再生(➜52)
DVD
C(チャプター)⟷T(タイトル)⟶切 (通常再生)
VCD CD
T(トラック)⟷A(ディスク全体)⟶切 (通常再生)

再生モード VCD CD
内容変更はできません。
－－－：通常再生
PGM：プログラム再生
RND：ランダム再生

マーカー
もう一度再生したいところにマーカーを付ける。(最大5か所)
実行/決定 を押し、マーカーを付けたいところでもう一度押す。

他にマーカーを付ける
▶を押し、マーカーを付けたいところで 実行/決定 を押す。

マーカーを呼び出す
◀▶でマークを選び、
実行/決定 を押す。

マークを取り消す
◀▶でマークを選び、取消し を押す。

■表示設定

IPB表示(➜76) DVD
静止時に画像の種類(I/P/B)を表示する/しないを設定する。
[切]↔[入]

FLディマー
DVD表示窓の明るさを調節する。
[明]↔[暗]↔[オート*]
*再生中は暗くなります。
スロー再生や早送り、一時停止などをすると、一時的に明るくなります。

シャトル画面を操作する

静止/一時停止

スロー再生
▮▶…進む DVD VCD
◀▮…戻る DVD

再生

早送り/早戻し
▶▶…進む
◀◀…戻る

■ヒント
- スロー再生、早送り/早戻しの速度は5段階あります。
- シャトル画面両端の数値は早戻し/早送りの最大速度を示しています。ただし、MP3で記録されたディスクの場合に表示される数値は目安です。
- ディスクによっては、操作できないことがあります。

本機はドルビーデジタルを2chで楽しむことができます。
ドルビーデジタルやDTSのサラウンドサウンドを楽しむには、ドルビーデジタルやDTSデコーダー内蔵の機器を接続してください。(本機はDTSデコーダーを内蔵していません)
- 高音質の96 kHzで楽しみたいときは、アナログで接続してください。
  デジタル接続すると、著作権保護のため48 kHzに変換しないと音声が出ません。

接続・設定早見表

本機を使った音響システムを組む場合は、以下の表を参考に必要な接続や設定を行ってください。

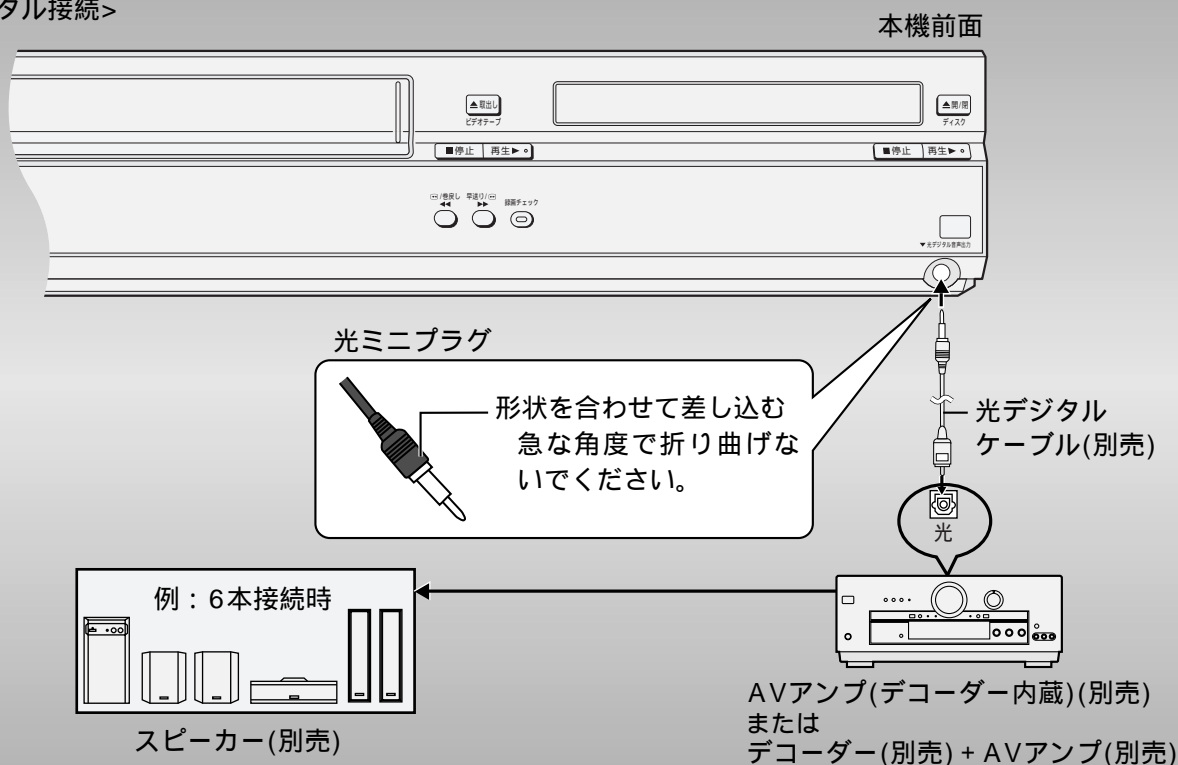
目的	必要な機器(一例です)	設定内容
5.1chサラウンドサウンドを楽しむ	**デジタル接続する(➜60)** ● AVアンプ(デコーダー内蔵) または ● デコーダー＋AVアンプ と ● スピーカー	初期設定[音声]の、 ● [PCMダウンサンプリング変換]→[する] ● [Dolby Digital]と[DTS Digital Surround]→接続する機器に合わせて設定 **(➜63,65)** ● スピーカーの設定は、AVアンプまたはデコーダーで行ってください。
2本のスピーカーでステレオサウンドを楽しむ/ **ドルビープロロジック*を楽しむ**	**アナログ接続する(➜60)** ● アナログアンプ または ● ミニコンポ	初期設定[音声]の、 ● [PCMダウンサンプリング変換]→[しない] **(➜63)**
	デジタル接続する(➜60) ● デジタルアンプ または ● ミニコンポ	初期設定[音声]の、 ● [PCMダウンサンプリング変換]→[する] ● [Dolby Digital]→[PCM] ● [DTS Digital Surround]→[Off] **(➜63)**
MDやビデオカセットに録音する	**(➜68,69)**	―――
重低音を楽しむ	**アクティブサブウーハーと接続する(➜61)**	● BASS→[入] **(➜55)**

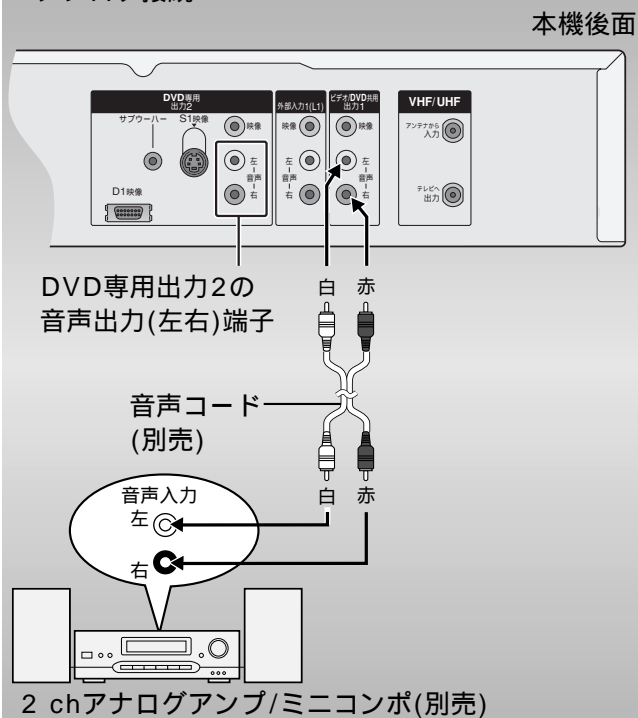
***ドルビープロロジック(➜76)のサラウンド効果を楽しむには**
- 2本のスピーカー以外に、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。
  また、このときはA-SRD(アドバンスド・サラウンド)とBASS(バス・プラス)は[切]にしてください。
  A-SRD(アドバンスド・サラウンド)を[1(または2)]にしたり、BASS(バス・プラス)を[入]にすると、サラウンド効果が正しく働きません。

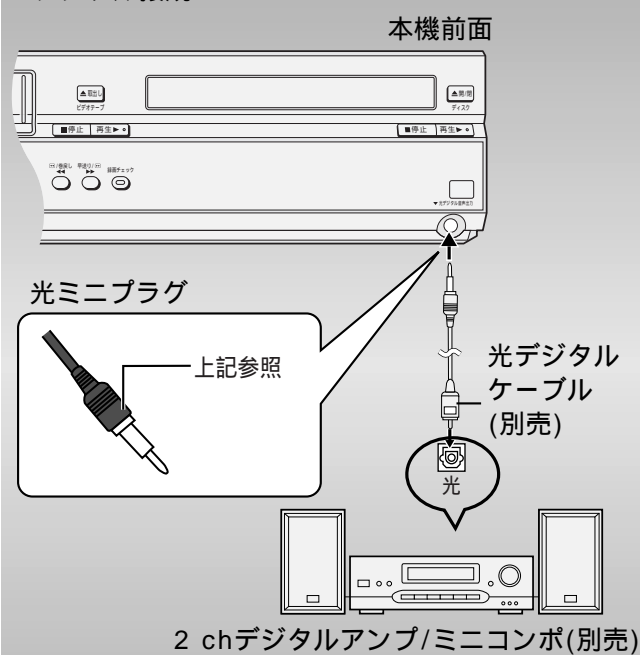
音のエチケット

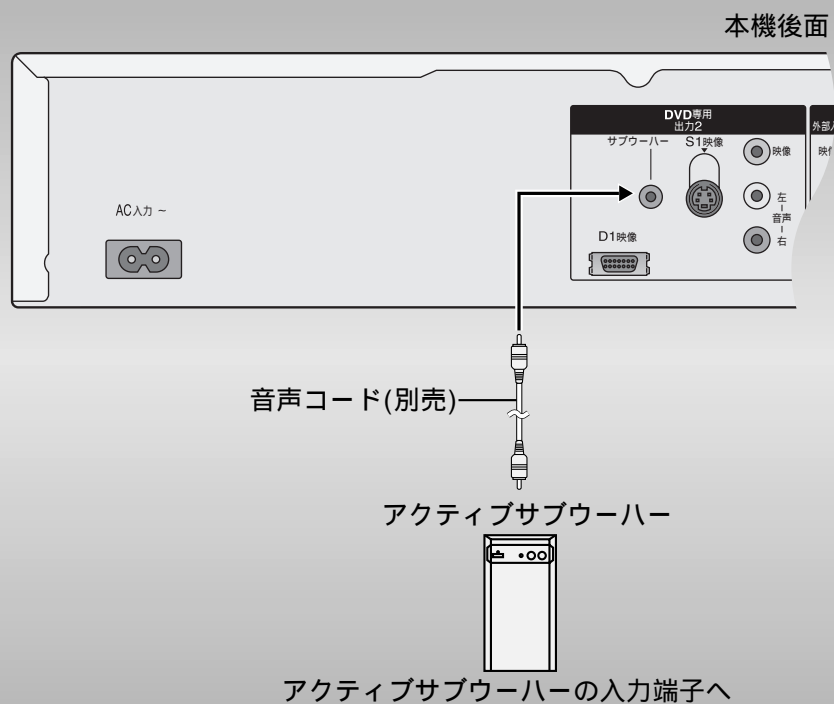
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です

音のエチケット
シンボルマーク

A. デコーダー内蔵AVアンプ(デコーダー＋AVアンプ)と接続する

■お願い/ヒント
- DVDに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
- 接続する機器に合わせて、初期設定[音声]の設定をしてください。**(➜63,65)**
- 光デジタルケーブル(別売)をお求めになるときは、あらかじめ、接続される機器の端子形状をご確認ください。光ミニプラグと光角形プラグがあります。

B. アナログ音響機器と接続する

■お願い/ヒント
- DVDの音声は、DVD専用出力2の音声出力(左右)端子からもお楽しみいただけます。
- 初期設定[音声]の[PCMダウンサンプリング変換]を[しない]に設定してください。**(➜63,65)**

C. デジタル音響機器と接続する

■お願い/ヒント
- 初期設定[音声]の設定をしてください。**(➜63,65)**
- 光デジタルケーブル(別売)をお求めになるときは、あらかじめ、接続される機器の端子形状をご確認ください。光ミニプラグと光角形プラグがあります。

D. アクティブ(アンプ内蔵)サブウーハー(別売)と接続する

■お願い/ヒント

- アクティブサブウーハーを接続すると、重低音を体で感じることができます。
- サブウーハーはできるだけ前方中央よりに置き、音量はサブウーハー側で調節してください。
- BASS(バス・プラス)は、[入]にしてください。(➜55)

本機前面の光デジタル音声出力端子に光デジタルケーブル(別売)を接続されるときは、本機を設置されるテレビ台などへの配置にお気をつけください。テレビ台などの扉が閉まりにくい場合があります。

設定のしかた

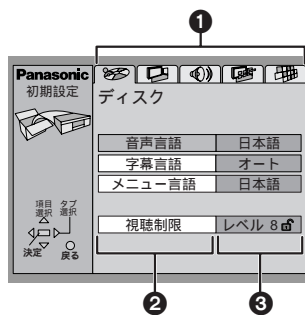
【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

1 初期設定 を押す

❶

音声言語	日本語
字幕言語	オート
メニュー言語	日本語
視聴制限	レベル 8

Panasonic 初期設定 ディスク
項目選択 タブ選択 決定 戻る

❷ ❸

❶タブ(メニュー項目)
[ディスク]、[映像]、[音声]、[画面表示]、[その他]の5項目があります。
このタブを選んで、各項目の詳細画面を呼び出します。
❷設定項目
上記で選んだタブ内の項目です。
❸設定内容
上記の項目の設定状態を表示します。
項目を選ぶと、設定内容を選ぶことができます。

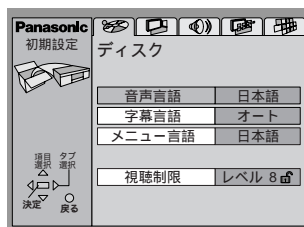
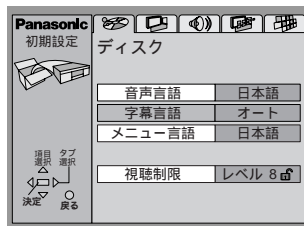
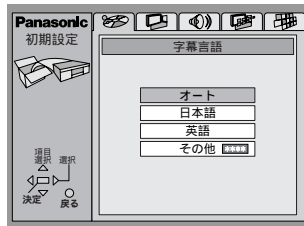
2 ◀ ▶ で設定したいタブを選ぶ

Panasonic 初期設定 ディスク

音声言語	日本語
字幕言語	オート
メニュー言語	日本語
視聴制限	レベル 8

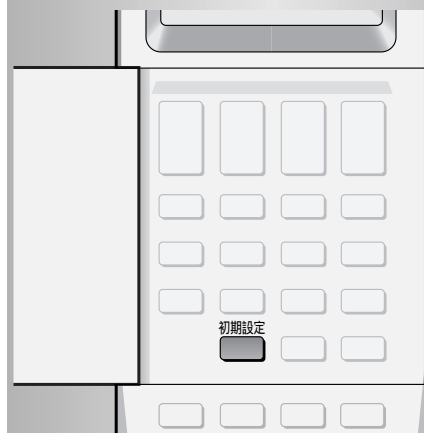
3 ▲ ▼ で設定項目を選び、実行/決定 を押す

Panasonic 初期設定 ディスク

音声言語	日本語
字幕言語	オート
メニュー言語	日本語
視聴制限	レベル 8

4 ▲ ▼ で設定内容を選び、実行/決定 を押す

■ひとつ前の画面に戻る
戻る を押す。

■設定を終了する
初期設定 を押す。

■ヒント
- 初期設定の項目(**➜右ページ**)をご覧になり、必要に応じて変更してください。
- 電源を切っても、変更した内容は記憶されています。

■ふたをひらいたところ

初期設定の項目

■ディスク

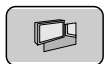
DVD

音声言語
言語(音声)を選びます。
▶**日本語(工場出荷時)**
▶**英語**
▶**オリジナル**
ディスクの最優先言語が選ばれます。
▶**その他＊＊＊＊**
❶〜⑩/⓪で言語番号を入力します。**(➜65)**

字幕言語
言語(字幕)を選びます。
▶**オート(工場出荷時)**
[音声言語]で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。
▶**日本語**
▶**英語**
▶**その他＊＊＊＊**
❶〜⑩/⓪で言語番号を入力します。**(➜65)**

メニュー言語
メニューなど、テレビ画面に表示される言語を選びます。
▶**日本語(工場出荷時)**
▶**英語**
▶**その他＊＊＊＊**
❶〜⑩/⓪で言語番号を入力します。**(➜65)**

視聴制限(➜64)
お子さまなどに見せたくないソフトをそのまま再生できないようにするなどの制限ができます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
▶**レベル8(工場出荷時)**
すべてのディスクが再生可
▶**レベル7〜1**
制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が再生不可
▶**レベル0**
すべてのディスクが再生不可
▶**ロック解除**
▶**暗証番号変更**
▶**レベル変更**
▶**一時解除**

■映像

DVD　VCD

TVアスペクト(➜64)
お使いのテレビサイズに合った画面表示方法を選びます。
▶**4：3パン＆スキャン(工場出荷時)**
▶**4：3レターボックス**
▶**16：9**

スチルモード
静止画像の表示方法を選びます。
▶**オート(工場出荷時)**
▶**フィールド**
粗めの静止画像になります。
[オート]に設定するとぶれが生じるときに選びます。
▶**フレーム**
画質のよい静止画像が表示されます。[オート]に設定すると小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないときに選びます。

■音声

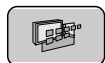
PCMダウンサンプリング変換(➜65)
96 kHzのリニアPCMで記録された音声信号を48 kHz/16 bitに変換するかしないかを選びます。
▶**しない(工場出荷時)**
▶**する**

Dolby Digital(➜65)
接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態(Bitstream)で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態(PCM 2ch)に処理して出力するかを選びます。
▶**Bitstream(工場出荷時)**
▶**PCM**

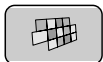
DTS Digital Surround(➜65)
上記の[Dolby Digital]と同様の選択をDTS信号に対して行います。
▶**Off(工場出荷時)**
▶**Bitstream**

音声のダイナミックレンジ圧縮
(ドルビーデジタルのみ)
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
▶**切(工場出荷時)**
▶**入**

早送り時の音声
早送りする時、音声が聞こえるようにするか、しないかを選びます。**(➜50)**
▶**あり(工場出荷時)**
▶**なし**

■画面表示

画面メニュー言語
初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語を選びます。
▶**日本語(工場出荷時)**
▶**English(英語)**

画面メッセージ
操作時の表示をテレビ画面に表示するかしないかを選びます。
▶**入(工場出荷時)**
▶**切**

■その他

デモモード
[する]を選ぶと、テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。デモンストレーションはどのボタンを押しても停止します。
▶**しない(工場出荷時)**
▶**する**

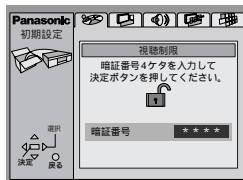
操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

初期設定を変更する

DVD

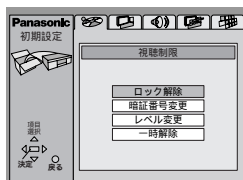
■視聴制限について

レベル7以下を選んだとき:

1. ❶～⑩/0 で暗証番号(4けた)を入力し、 実行/決定 を押す。
2. もう一度 実行/決定 を押す。
- ロックがかかります。

間違った数字を入力してしまったとき:

- 上記手順1で 実行/決定 を押す前は、取消し または ◀ を押すと取り消せます。
- 制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは[0 すべて不可]を選んでください。
- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。暗証番号は忘れないでください。

制限内容を変更する(レベル7～0のとき):

❶～⑩/0 で暗証番号(4けた)を入力し、 実行/決定 を押す。

- **ロック解除** ：制限を解除してレベル8に戻す。
- **暗証番号変更** ：暗証番号を変更する。
- **レベル変更** ：制限レベルを変更する。
- **一時解除** ：一時的に制限を解除する。電源を切るかディスクトレイを開けるまで、レベル8の状態が続きます。

■TVアスペクトについて

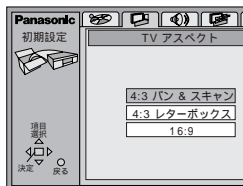
出荷時の設定は、テレビ画面の横縦比が " 4：3パン&スキャン " になっています。

標準サイズのテレビに接続し、ワイドサイズのソフトをパン&スキャン(手順4参照)で映したい場合は設定を変える必要はありません。

TVアスペクトの設定を変えたいとき:

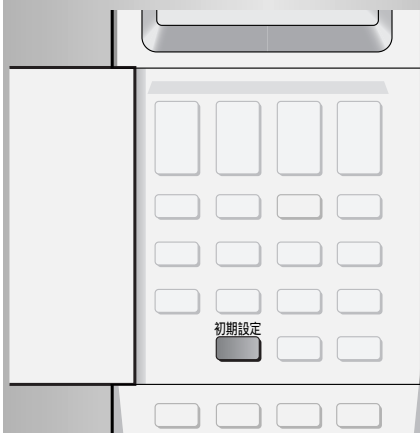
【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。

1. 初期設定 を押す
2. ◀ ▶ で[映像]を選ぶ

3. ▲ ▼ で[TVアスペクト]を選び、 実行/決定 を押す

4. ▲ ▼ でテレビ画面の縦横比を選び、 実行/決定 を押す
   - **4：3 パン&スキャン**
     標準サイズのテレビ(ワイドサイズのソフトをパン＆スキャンで映したいとき)(①)
   - **4：3 レターボックス**
     標準サイズのテレビ(ワイドサイズのソフトをレターボックスで映したいとき)(②)
   - **16：9**
     ワイドサイズのテレビ

①
②
5. 初期設定 を押し、設定を終了する

DVDの画面横縦比はディスクによってさまざまです。標準サイズのテレビ(4：3)への表示方法は上記の設定で選べますが、ワイドテレビ(16：9)をお持ちのときは、テレビ側の画面モードで表示方法を変えることができます。

■ふたをひらいたところ

■デジタル音声出力の設定について

本機前面の光デジタル音声出力端子と接続するときに設定します。

▲ ▼ ◀ ▶ で設定を変更し、実行/決定 を押す。(➜62)

設定内容:

<PCMダウンサンプリング変換>

- しない：音声コードでアナログ接続したとき
- する：光デジタルケーブルでデジタル接続したとき。著作権保護のため、出力は48 kHz/16 bit以下に制限されます。

～96 kHzで記録されたDVDを再生するとき～

接続方法(➜60)とPCMダウンサンプリング変換の設定により、以下のような音声が出力されます。

	アナログ	デジタル
しない	96 kHzで出力	出力しない*
する	48 kHzに変換され出力	48 kHz/16 bitに変換され出力

*著作権保護の処理がされていないディスクの場合は、96 kHzで出力されます。
ただし96 kHzの高音質でディスクを楽しむには、接続する機器がサンプリング周波数96 kHzに対応していることが必要です。

<Dolby Digital>

- Bitstream：ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続するとき
- PCM ：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

<DTS Digital Surround>

- Off：DTSデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき
- Bitstream：DTSデコーダー内蔵の機器と接続するとき

デコーダーを内蔵しない機器に接続するときは、必ず[Dolby Digital]を[PCM]に、[DTS Digital Surround]を[Off]にしてください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあるほか、MDなどに正しく録音できません。

■ディスクの言語について

- 選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

言語番号一覧表

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6588
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バングラ)	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

テレビのチューナーを使ってBS番組を録画する

ビデオ

接続のしかた

❶ モニター出力端子へ
❷ 外部入力1(映像・音声)端子へ

■お願い/ヒント
- 各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- テレビにBSチューナーがないときや、モニター出力端子がないときは接続できません。

録画のしかた

【準備】
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜28)
- 録画モード([標準]、[3倍]または[5倍])を選ぶ。

1 ビデオ/テレビ/DVD を[テレビ]にする

2 テレビBS →⑤〜⑪と押し、録画したいBSチャンネルを選ぶ(➜15)

BS 5ch：テレビBS→⑤　BS 7ch：テレビBS→⑦
BS 9ch：テレビBS→⑨　BS 11ch：テレビBS→⑪

3 ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする

4 ビデオチャンネル∧∨を押し、テレビを接続した外部入力チャンネルを選ぶ

L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき

5 録画● を押す

■録画をやめる
停止■ を押す。

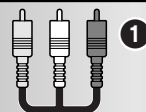
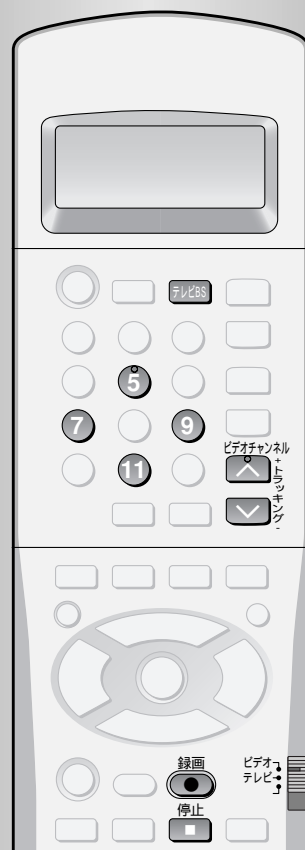
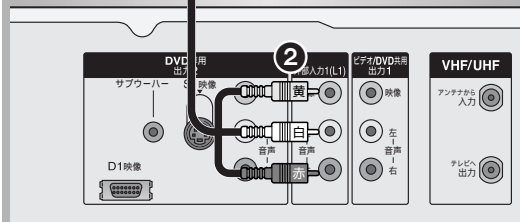
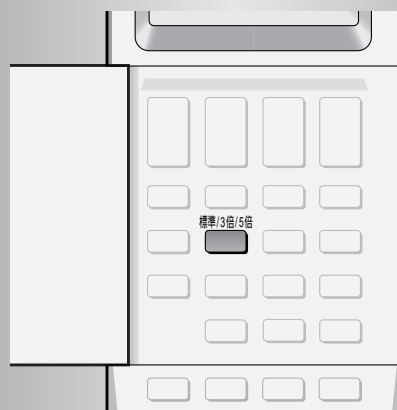
■お願い/ヒント
- BS録画中は、テレビの電源を切ったり、テレビのチャンネルを切り換えたりしないでください。

■BS番組をGコード予約して録画するとき
- 本機にはBS放送を受信するためのチューナーはありませんが、付属のリモコンではBS番組をGコード予約することができます。
  BS番組をGコード予約すると、自動的に外部入力チャンネル[L1]が選ばれます。
  このため、テレビのモニター出力(映像・音声)からの映像・音声コードは、必ず後面の外部入力1端子に接続してください。

■予約録画が始まる前、予約録画中は
- テレビのチューナーを使って録画しますので、必ず予約録画が始まるまでにテレビの電源を入れ、録画したいBSチャンネルに合わせておいてください。(予約録画が終わるまで、テレビの電源を入れたままにしておいてください)
- 予約録画中は、テレビの電源を切ったり、テレビのチャンネルを切り換えたりしないでください。

■WOWOWなど、スクランブル放送を録画するとき
- 必ずBSデコーダーの電源を入れ、音声もBSデコーダーで選んでおいてください。(BSデコーダーの説明書もお読みください)

■録画状態を確認しようとすると、ノイズ画面になるとき
- 発振によるノイズが出ることがあります。
  (テレビの説明書もお読みください)

BSチューナー内蔵テレビ(別売)

映像･音声コード(別売)

■ふたをひらいたところ

外部に接続した他のビデオやビデオカメラからの映像・音声を録画することができます。(外部入力録画)
また、編集もこの方法で行ってください。

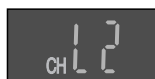
外部機器を接続する

- 右図の例では、前面の外部入力2(L2)端子に接続していますが、後面の外部入力1端子に接続することもできます。
- 外部機器の音声出力端子がモノラルのときは、ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

外部入力から録画/編集する

【準備】● ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にする。
- 録画機(本機)に「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➔28)
- 録画機(本機)で、録画モード([標準]、[3倍]または[5倍])を選ぶ。

1 ビデオチャンネル∧∨を押し、外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき

2 再生▶ を押し、再生しながら録画の開始点を探す

録画の開始点で、

3 一時停止/スロー ⏸/⏵ を押し、静止画にする

4 録画● を押し、録画の一時停止にする

5 再生機で再生を始める

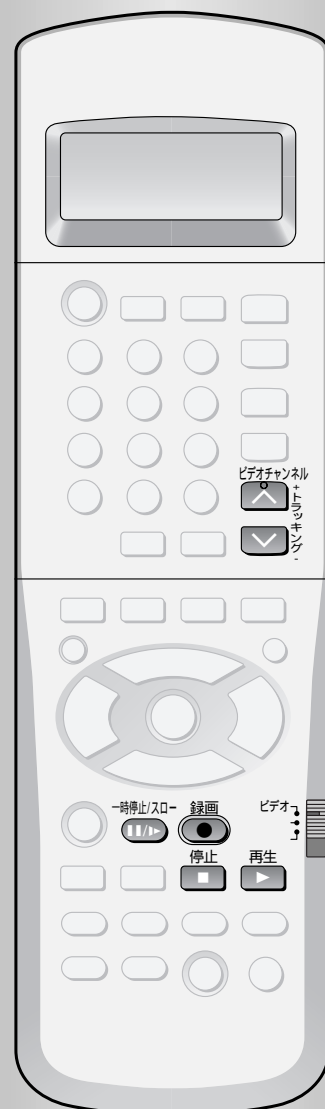
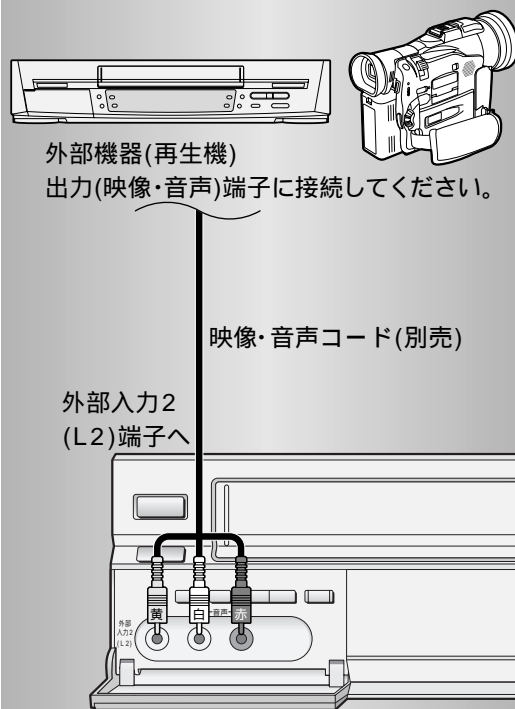
録画を始めたい場面で、

6 一時停止/スロー ⏸/⏵ を押し、録画を始める

■録画をやめる
停止■ を押す。
- 再生機も停止させてください。

■映像が乱れたり、色合いが悪くなったりするとき
- 市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)やBSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。
  コピーガードのかかった信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

■本機を再生機として使うとき
- VTRモード設定(➔46)の[オンスクリーン]を[切]にすると、画面に不要な文字や表示を出さなくなります。

■テレビの近くで操作するとき
- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

外部入力から録画／編集する

ビデオ

ディスクの内容を光デジタル音声出力でデジタル録音したり、ビデオカセットに録画することができます。
ただし、コピー禁止処理のされているディスクの内容は、正しく録音/録画できません。

光デジタル音声出力で音声をデジタル録音する

コピー禁止処理のされていないCDなどのディスクの音声をMDなどにデジタル録音することができます。

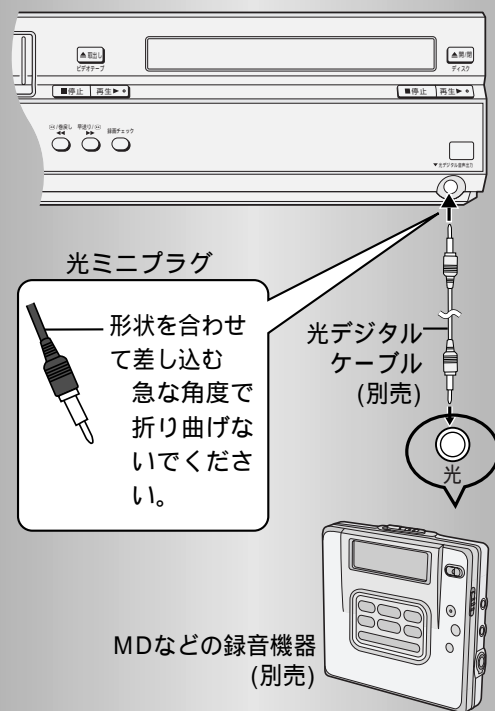
シンクロ録音機能*の付いた機器で録音されるときは、そちらの方法で録音されることをおすすめします。詳しくは、接続される機器の説明書をお読みください。
*本機でディスクの再生を始めると、同時に録音機側でも自動的に録音がスタートする機能。

【準備】
- DVDの映像がテレビに表示される状態にしておく。(➜22)
- 直接、光デジタルケーブルで録音機器と接続してください。(➜60 C)
- ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にする。
- 録音機器側を録音可能な状態にする。

1. (再生機(本機)) 再生▶ 一時停止/スロー II/I▶ **で、録音したい部分(曲)の先頭で再生の一時停止にする**
2. (録音機器) **録音を開始する**
3. (再生機(本機)) 一時停止/スロー II/I▶ **を押し、再生を始める**

■録音をやめる
録音機器と本機を停止させる。

■ヒント
- 光デジタル音声出力を使うと、デジタル信号のまま録音できます。DVDの場合、以下の条件が必要です。
  - ディスクに著作権保護の処理がされていない。
  - 録音機器側の機器がサンプリング周波数48 kHz/16 bitに対応している。
  - 初期設定[音声]が以下のように設定されている。(➜63,65)
    “PCMダウンサンプリング変換”:“する”
    “Dolby Digital”:“PCM”
    “DTS Digital Surround”:“Off”

  ただしすべての信号がリニアPCM48 kHz/16 bit以下に変換されます。
- MP3で記録されたディスクのときは、MDなどへデジタル録音することはできません。

ビデオカセットに録画する

コピー禁止処理のされていないディスクの内容をビデオカセットに録画することができます。

【準備】
- DVD側に再生するディスク、ビデオ側に「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➔28)
- テープは、録画を開始したい位置を探しておく。
- DVDの初期設定[画面表示]→[画面メッセージ]を[切]にしておく。(➔63)
  不要な文字や表示を出さなくなります。

ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にして、

1 ビデオチャンネル ∧ ∨ で、[dc]を選ぶ

- テレビ画面には、[DC]とチャンネル表示されます。
- テレビにDVD側の映像が表示されます。

ビデオ/テレビ/DVD を[DVD]にして、

2 再生▶ で録画の開始点を探し、一時停止/スロー ❚❚/▶ で再生の一時停止にする

ビデオ/テレビ/DVD を[ビデオ]にして、

3 再生▶ で録画の開始点を探し、一時停止/スロー ❚❚/▶ と 録画● で録画の一時停止にする

---

4 一時停止/スロー ❚❚/▶ を押す

- ビデオの録画が始まり、同時にDVD側の再生も自動的に始まります。
  このとき、コピー禁止処理のされたディスクをお使いの場合は、[録画できません]とテレビに表示されます。そのまま録画を続けた場合、映像は乱れて録画されます。

■録画をやめる

ビデオ側とDVD側両方を停止させてください。

- ビデオ側の場合は 停止■ を1回、DVD側の場合は 停止■ を2回押してください。

■ヒント

- ビデオの入力チャンネルが[dc]のときのみ、上記の操作で録画することができます。

故障かな？

修理を依頼される前に、症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」**(➜83)**にお問い合わせください。

電源

■電源プラグをコンセントに差し込んでいるのに操作できない
- 予約録画の待機中になっている。(ビデオ表示窓に“ 予約 ”が表示されている)
  →**タイマー 切/入** を押し、“ 予約 ”表示を消す。**(➜39)**
- 各種安全装置が働いていることがあります。
  →1. **ビデオ/DVD電源** を押し、電源を切る。
  2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。
  3. **ビデオ/DVD電源** を押し、電源を入れる。(直ることがあります)

■自動的に電源が切れた
- 電力モード設定の[自動電源 切]が働いている。(不要な電力の消費をおさえます)
  →**ビデオ/DVD電源** を押し、電源を入れる。
  →[自動電源 切]機能を働かせないようにするには、電力モード設定の[自動電源 切]を**[切]**にする。**(➜47)**
- 各種安全装置が働いていることがあります。
  →**ビデオ/DVD電源** を押し、電源を入れる。

接続・設置

■本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった
- テレビと本機に電波を分配したためです。
  →ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください)

■テレビに本機の画面が出ない
[映像・音声コードで接続したとき]
- テレビの入力を切り換えていない。
  →[ビデオ1]など、本機を接続した入力に切り換える。**(➜22)**

[映像・音声コードで接続していないとき]
- ビデオ専用チャンネルを選んでいない。
  →**メニュー** を約5秒以上押し続け、**ビデオチャンネル** **∧** **∨** でビデオ専用チャンネル“ CH 1 ”または“ CH 2 ”を選ぶ。**(➜22)**
- テレビ側で1または2チャンネルを調整してみる。(テレビの説明書もお読みください)

カセット

■カセットが入らない
- 電源プラグがコンセントから外れている。**(➜18)**
- テープの見える面を上にして入れていない。**(➜28)**

■カセットが取り出せない
- 予約録画の待機中、または実行中になっている。(ビデオ表示窓に“ 予約 ”が表示されている)
  →どうしても取り出したいときは、**タイマー 切/入** を押し、“ 予約 ”表示を消す。**(➜39)**
- 録画中になっている。
  →どうしても取り出したいときは、**停止■** を押し、録画をやめる。**(➜32)**
- 各種安全装置が働いていることがあります。
  →1. **ビデオ/DVD電源** を押し、電源を切る。
  2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。
  3. **ビデオ/DVD電源** を押し、電源を入れる。
  4. **▲取出し** を押す。

  上記の操作を2〜3回繰り返してみてください。
  それでも取り出せないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ビデオ再生

■再生できない
- D-VHSカセットでも、VHS方式で録画されたものは再生できますが、デジタル(D-VHS)方式で録画されていると再生できません。**(➜28)**
- 他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。

■静止画、スロー再生すると画面が乱れる
- 5倍モードで録画したカセットを静止画、スロー再生すると乱れますが、故障ではありません。**(➜29)**

■早送り(巻き戻し)、静止画、スロー再生が自動的に解除された
- 早送り(巻き戻し)、スロー再生は、約10分で解除されます。静止画再生は、約5分で解除されます。(テープとビデオヘッドの保護のためです)

■再生画面がチラチラする
- ビデオヘッドが汚れている。
  →乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)でクリーニングする。**(➜31)**
- ビデオヘッドが磨耗している。
  →ビデオヘッドの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- テープが古い、またはいたんでいる。**(➜10)**

■再生画面がブルーバックになる
- テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。
- 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。
  →このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■再生画面が上下にゆれる
- テレビの垂直同期を調整してみる。(調整方法については、テレビの説明書をお読みください。またはお買い上げの販売店にご相談ください)

録画

■**録画できない**
- カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。
 →「つめ」の折れていないカセットを使う。**(➜28)**
- カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。
 →「ON」側にスライドさせる。**(➜28)**

■**テレビ番組が録画できない**
- 録画したい番組が放送されているチャンネルを選んでいない。
 →**ビデオチャンネル** ∧ ∨ などで選ぶ。**(➜32)**

■**S-VHSカセットを使っても、S-VHS方式で録画できない D-VHSカセットを使っても、デジタル(D-VHS)方式で録画できない**
- 本機では録画できません。**(➜32)**

予約録画

■**Gコード予約ができない**
- ガイドチャンネルが正しく設定されていない。
 →ガイドチャンネルを正しく設定する。**(➜23,26)**
- 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。
 →ガイドチャンネルを正しく設定する。また、不要なチャンネルは削除する。**(➜27)**
- 時刻が合っていない。**(➜47)**

■**予約録画が正しくできない**
- 予約内容(予約チャンネルや開始、終了時刻など)が間違っている。
 →予約内容を確認し、間違っているときは修正する。**(➜38,39)**
- 予約録画の待機状態になっていない。(ビデオ表示窓に“ 予約 ”が表示されていない)
 →タイマー 切/入 を押し、“ 予約 ”を表示させる。**(➜39)**
- 予約録画の時間帯が重なっている。
 →重ならないように予約する。
- 時刻が合っていない。**(➜47)**

■**予約録画中に電源が切れた**
- テープの終端になると、途中でも録画を終了し電源を切ります。
 →予約した番組よりも余裕のあるカセットを入れる。

■ **停止■ を押しても、予約録画が終わらない**
- タイマー 切/入 を押し、ビデオ表示窓の“ 予約 ”を消す。(録画が終わり、電源を入れたときの状態になります) **(➜39)**

■**予約録画が終わっても、予約内容が消えない**
- 毎日・毎週予約のときは消えません。

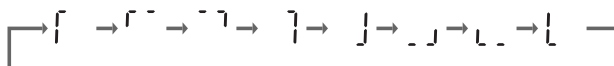
音声

■**聞きたい音声が聞こえない**
- 正しい音声を選んでいない。
 →音声切換 を数回押し、聞きたい音声を選ぶ。**(➜45)**

■**音声がステレオではない**
- 映像・音声コードで接続していない。(このときは常にモノラル音声になります)
- ステレオ音声を選んでいない。
 →音声切換 を数回押し、テレビ画面に“ 左 右 ”を表示させる。**(➜45)**

■**ステレオ音声がブツブツと聞こえる**
- トラッキングがずれている。
 →トラッキング調整をする。**(➜31)**
- 再生中のテープに傷などが付いている。

表示

■**テープカウンター表示の値が動かない**
- テープの未録画部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。

 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■**ビデオ表示窓の時刻表示が“ 0：00 ”で点滅している**
- 時刻が合っていない。
 →時刻を合わせ直す。**(➜47)**

■**電源を切ったら、ビデオ表示窓の表示が消えた**
- 電力モード設定の[時刻表示]が[切]になっている。(不要な電力の消費をおさえるための機能です)**(➜47)**

故障かな？

DVD再生

■ボタン操作ができない
- ディスクによっては、特定のボタン操作を禁止している場合があります。(➜48)

■再生▶を押しても、再生が始まらない または、すぐに停止する
- ディスクを正しく入れていない。
→正しく入れる。(➜48)
- 再生できないディスクを入れている。(➜10)
- ディスクが汚れている。
→きれいにふく。
- 初期設定の[視聴制限]で再生を制限している。
→見るときは、初期設定[視聴制限]の設定を変更する。(➜64)
- 寒いところから暖かいところへ急に移動させたときなどは、レンズ部に露が付くことがあります。
→電源を入れたまま、約2時間程度放置する。(➜8)

■音声/字幕言語が切り換えられない
- 複数の言語が入っていないディスクは切り換えできません。
- 音声、字幕を押しても切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。

■字幕が出ない
- 字幕の入っていないディスクでは出ません。
- 字幕が[切]になっている。
→[入]にする。(➜54)
- A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けたところの前後では、字幕が表示されないことがあります。

■アングルを変えて見ることができない
- 複数のアングルが記録されている場面でのみ働きます。

■視聴制限で設定した暗証番号を忘れた DVD側の設定を工場出荷時に戻したい
- 以下の操作をすると、初期設定の内容を工場出荷時に戻すことができます。
→1. 停止中、本体の再生▶(DVD操作部)、▲開/閉ディスク(DVD操作部)、巻戻し◀◀を、DVD表示窓に“INITIALIZE(イニシャライズ)”と表示されるまで押し続ける
2. 本体の電源を切/入する

■音声が出ない
- 正しく接続していない。
- 接続した機器(アンプなど)で音量調節する。

■耳を刺激するような音が出る
- 接続した機器の入力切換が正しくない。
→3本以上のスピーカーを接続しているときは、Advanced Surround(アドバンスドサラウンド)(V.S.S.)を[切]にする。(➜55)
→他の機器とデジタル接続しているときは、接続した機器に応じて、初期設定[音声]の[Dolby Digital]、[DTS Digital Surround]を正しく設定する。(➜63,65)

■早送り/早戻しをしたら画像が乱れる
- 多少乱れることがありますが、故障ではありません。

■テレビに映像が映らない または画面サイズがおかしい
- 正しく接続していない。
- テレビの入力切換が正しくない。
- 初期設定[映像]の[TVアスペクト]を正しく設定する。(➜63,64)
- テレビ側の画面モードを変更する。

■画面メッセージが出ない
- 初期設定[画面表示]の[画面メッセージ]を[切]にしている。
→[入]にする。(➜63)

■GUI画面が欠ける、または表示されない
- GUI画面表示中、◀ ▶で右側の矢印アイコンを選び、▲ ▼を押して位置を変える。(➜56)

■テレビ画面に“ディスクを確認してください”と表示された
- ディスクが汚れている。
→きれいにふく。(➜11)

■DVD表示窓に“NO PLAY”と表示された
- 再生できないディスクが入っている。(➜10)
- 初期設定[ディスク]の[視聴制限]で再生を制限されているディスクが入っている。
→[視聴制限]の設定を変更する。(➜64)

■DVD表示窓に“NO DISC”と表示された
- ディスクが入ってない。
→ディスクを入れる。(➜48)
- ディスクが正しく入っていない。
→正しく入れる。(➜11,48)

編集

■黒い帯状のノイズが録画された
- 再生側ビデオがテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。
→再生側のビデオをテレビから離す。

■DVDから録音/録画できない
- コピー禁止処理のされていないディスクは録音/録画できます。

■録音/録画できない
- 正しく接続していない。
- 再生機を接続した外部入力チャンネル[L1]または[L2]を選んでいない。(➜67)
- ディスクからビデオカセットへ録画するときに、[dc]チャンネルを選んでいない。(➜69)

■編集後の映像が、乱れたり、色合いが悪くなったりする
- コピーガードがかかっている。
→市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。コピーガードのかかった映像は正しく録画できません。

■編集後の音声レベルがDVD側とビデオ側で合っていない
- ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、ビデオテープに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が生じることがあります。

リモコン

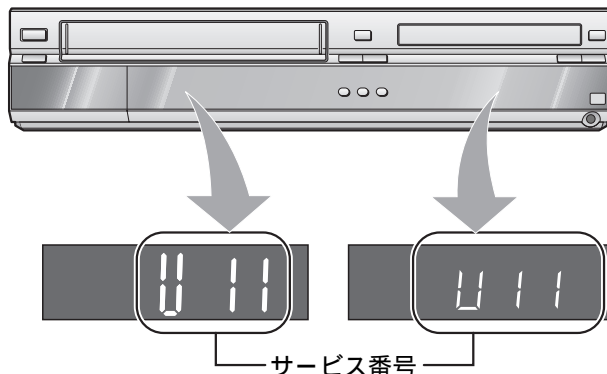
■リモコンが操作できない
- 電池が消耗している。
  →新しい電池と交換する。(リモコン表示部は点灯していても、操作できないときがあります)**(➜17)**
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していない。**(➜17)**
- リモコンと本体の間に障害物などがある。**(➜17)**

■本機(ビデオ)が操作できない
- ビデオ/テレビ/DVD が**[ビデオ]**になっていない。
- 予約録画の待機中になっている。(ビデオ表示窓に“ 予約 ”が表示されている)
  →タイマー 切/入 を押し、“ 予約 ”表示を消す。**(➜39)**
- 本体とリモコンモードが合っていない。
  →リモコンモードを合わせ直す。**(➜46)**

■テレビが操作できない
- ビデオ/テレビ/DVD が**[テレビ]**になっていない。
- メーカー番号が合っていない。
  →正しい番号に合わせる。(メーカーや機種により、操作できないことがあります)**(➜21)**

■本機(DVD)が操作できない
- ビデオ/テレビ/DVD が**[DVD]**になっていない。

自己診断表示機能

本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。
- 本機の設置中や使用中に異常を検出すると、ビデオ/DVD表示窓に下記のサービス番号を表示します。
- サービス番号は、例えば“ U11 ”のように、英文字と2けたの数字で表示されます。

■U11
ビデオヘッドが汚れている
- ビデオヘッドをクリーニングする。**(➜31)**

ディスクが汚れている
- 水を含ませたやわらかい布でふいてください。**(➜11)**

■U30
リモコンモードが合っていない
- リモコンモードを合わせる。**(➜46)**

■H□□またはF□□
異常と思われます(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります)
- 「故障かな?」の項目に従って点検してください。それでもサービス番号が消えないときは、以下の操作をしてください。

→1. ビデオ/DVD電源 を押し、電源を切る。
2. 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む。
3. ビデオ/DVD電源 を押し、電源を入れる。
(直ることがあります)

上記の操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。

Q&A

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

電源

■転居先で使えるか?
- 日本国内であれば使えます。
  →転居先で受信チャンネルを正しく設定し直してください。**(➜23〜27)**

■海外でも使えるか?
- 本機は日本国内専用です。
  海外では電源電圧などが異なるため使えません。

接続

■モノラルテレビと接続したいが?
- ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。**(➜77)**

■映像・音声コードのプラグや接続端子が色分けされているのは?
- プラグと端子の色を合わせて接続するようになっています。**(➜18)**
  (**黄**=映像、**白**=左音声、**赤**=右音声、**黒**または**白**=モノラル音声)

■ハイビジョンテレビに接続できるか?
- できます。
  特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。
  ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。

■S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか?
- DVD側の映像のみをお楽しみいただく場合は、コンポーネントビデオ入力端子またはD端子に接続することをおすすめします。**(➜19)**
  コンポーネントビデオ入力端子またはD端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像入力端子に接続したときよりも、さらに忠実に色を再現します。
  ただし、この接続をするとビデオ側の映像をテレビに表示させることはできません。ビデオ側の映像をお楽しみいただくときは、本機のビデオ/DVD共用出力1(映像・音声)端子とテレビ側のビデオ入力(映像・音声)端子を接続してください。

■ドルビーデジタルやDTSの5.1chサラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か?
- デコーダー内蔵のAVアンプ(5.1ch音声入力端子付)と6本のスピーカーを用意すれば、5.1chサラウンド音声が楽しめます。

カセット

■S-VHSまたはD-VHSカセットを使って、録画・再生できるか?
- できます。ただし、S-VHS、D-VHSカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。**(➜32)**
- S-VHS方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。
  デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。**(➜28)**

■S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか?
- カセットアダプター(別売)を使えばできます。
  ただし、S-VHS-Cカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。
- S-VHS方式で録画されたS-VHS-Cカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- 8ミリビデオカセット、デジタルビデオカセットは使えません。

ビデオ再生

■海外で録画したカセットを再生できるか?
- 同じNTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。

■本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか?
- できません。
  →5倍モードで録画されたカセットは、本機でお楽しみください。

録画

■録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2か国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか?
- できます。
  →音声切換で聞きたい音声を選んでください。**(➜45)**
  ただし、[dc]入力で録画をしている場合は音声を切り換えることはできません。

■ステレオ放送の左または右音声のみ(2か国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか?
- できません。
  →再生時に、音声切換で聞きたい音声を選んでください。

■VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか?
- BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。

予約録画

■予約録画は予約した順番に行われるのか?

- 予約内容の日付・時刻順に行われます。

■予約録画が始まるまでの間、他のカセットを見ることができるか?
予約録画の待機中に、カセットを入れ替えることができるか?

- 予約録画の待機状態を解除しないとできません。
  →**タイマー 切/入** を押し、ビデオ表示窓の" 予約 "を消してから操作してください。**(➜39)**

■テレビの電源は入れていなくてもいいのか?

- 本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。
- テレビのチューナーを使ってBS番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。**(➜66)**

DVD再生

■海外で買ったDVDは再生できるか?

- リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいるもので、映像方式がNTSCであれば再生できます。
  ディスクのジャケットを確かめてください。

■海外で買ったビデオCDは再生できるか?

- 映像方式がNTSCであれば再生できます。

■リージョン番号がないディスクは再生できるか?

- DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。
  規格を満たしていないDVDは再生できません。

ディスクからの録音/録画

■ディスクの内容を本機でビデオカセットに録画できるか?

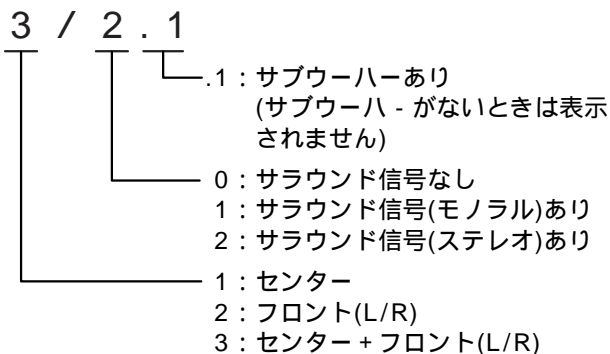
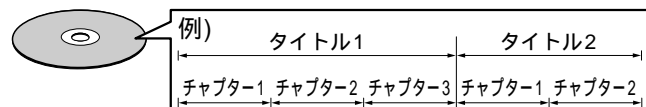
- コピー禁止処理のされていないディスクは録画できます。

自動出力切換

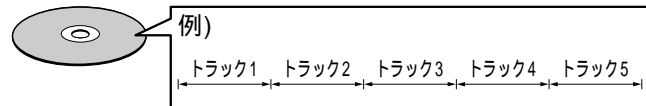
■電源を入れたときにDVD側の映像に切り換わる場合があるが、なぜか?

- 本体にディスクを入れたまま電源を入れると、ディスクによっては自動的に再生が始まることがあります。
  VTRモード設定の[共用出力選択]で「自動」**(➜46)**を選んでいる場合は、DVDの再生が始まると自動的にDVD側の映像に切り換わります。
  映像を自動的にDVD側に切り換えたくない場合は、VTRモード設定の[共用出力選択]で「手動」を選んでください。**(➜46)**
  また、[共用出力選択]が「自動」であっても電源を入れるときにディスクが入っていない場合は、DVD側の映像には切り換わりません。

■DVDの音声チャンネル(ch)
出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。
例)5.1チャンネル
- フロントスピーカー[L(1ch)/R(1ch)]
- センタースピーカー(1ch)
- サラウンドスピーカー[L(1ch)/R(1ch)]
- サブウーハー[1ch×0.1*= 0.1ch]
  *出力される音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面では以下のように示されます。

■タイトル、チャプター(DVD)
DVDは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられており、それぞれの区切りの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

■ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

■デコーダー
DVDなどに符号化して記録した音声データを通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

■トラック(ビデオCD/CD)
ビデオCDやCDは、いくつかの区切り(トラック)に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

■ドルビーデジタル
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。
ステレオ(2ch)はもちろん、最大5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

■ドルビープロロジック
4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により、再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

■光デジタル音声出力端子
電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるので、外部からの電気的な影響による雑音を防ぐことができます。

■フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。
1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　フィールド　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

■プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
本書ではメニュー画面を使って再生することをビデオCDの「メニュー再生」と呼びます。

■リニアPCM(LPCM)
圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。
DVDは容量が大きいため、CD以上の精度でデータを収録することができます。
本機では、デジタル音声出力端子からのリニアPCM音声は2chで出力されます。

■Bitstream(ビットストリーム)
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダーによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード(復号)されます。

■DTS (Digital Theater Systems)(デジタル シアター システムズ)
多くの映画館で採用されている最大5.1chのサラウンドシステムです。
チャンネル間のセパレーションもよく、情報量も多いので、リアルな音響効果が得られます。

■I/P/B
DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。
- I-picture(ピクチャー)：共用データの基準として単独で記録されるフレーム
- P-picture(ピクチャー)：過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられるフレーム
- B-picture(ピクチャー)：I/P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっともよいため、画質調整の際は、I-pictureで静止することをおすすめします。

■MP3 (MPEG1 AUDIO Layer3)(エムペグ オーディオ レイヤー)
MPEG1に採用されているオーディオ圧縮方式の一つです。
元の音質をあまり損なうことなく音声を10分の1程度に圧縮できます。

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。

- ※印の付いているものは、サービスルート扱いなどでご用意しております。
- 品番、メーカー希望小売価格は、2001年11月現在のものです。
  また、消費税や工事代などは含まれておりません。

品　名	品番・メーカー希望小売価格
※ビデオヘッドクリーナー	VFK0923FM (乾式、使用回数180回) 3,000円
	VFK0923FS (乾式、使用回数30回) 1,800円
カセットアダプター	VW-TCA7 3,000円
映像・音声コード (ステレオ↔ステレオ)	RP-CVP3G05(0.5 m) 1,150円
	RP-CVP3G10(1.0 m) 1,300円
	RP-CVP3G15(1.5 m) 1,400円
	RP-CVP3G20(2.0 m) 1,500円
	RP-CVP3G30(3.0 m) 1,700円
映像・音声コード (ステレオ↔モノラル)	RP-CVP2G10(1.0 m) 1,200円
	RP-CVP2G20(2.0 m) 1,400円
	RP-CVP2G30(3.0 m) 1,600円
音声コード (ステレオ↔ステレオ)	RP-CAP3G05(0.5 m) 550円
	RP-CAP3G10(1.0 m) 600円
	RP-CAP3G15(1.5 m) 650円
	RP-CAP3G20(2.0 m) 750円
	RP-CAP3G30(3.0 m) 900円
D端子ケーブル	RP-CVDG15(1.5 m) 3,500円
	RP-CVDG30(3.0 m) 5,000円
D端子ピンケーブル	RP-CVCDG15(1.5 m) 2,500円
	RP-CVCDG30(3.0 m) 4,000円
S映像コード	RP-CVS0G10(1.0 m) 900円
	RP-CVS0G20(2.0 m) 1,200円
	RP-CVS0G30(3.0 m) 1,300円

品　名	品番・メーカー希望小売価格
光デジタルケーブル	RP-CA2105A(0.5 m) (光ミニプラグ ⟷ 光角形プラグ) 2,000円
	RP-CA2205A(0.5 m) (光ミニプラグ ⟷ 光ミニプラグ) 2,000円
	RP-CA2110A(1.0 m) (光ミニプラグ ⟷ 光角形プラグ) 2,200円
	RP-CA2210A(1.0 m) (光ミニプラグ ⟷ 光ミニプラグ) 2,200円
	RP-CA2120A(2.0 m) (光ミニプラグ ⟷ 光角形プラグ) 2,600円
	RP-CA2220A(2.0 m) (光ミニプラグ ⟷ 光ミニプラグ) 2,600円
※75Ω同軸ケーブル	VUA7051(1.4 m) 400円
※V・U分波器	VUA7052F 800円
※V・U混合器	VUA7053 600円
※75Ωアンテナプラグ	VSQ1035 (VHF/UHF入力端子専用) 300円
※アンテナプラグ	VUA7050 300円

ビデオ部

DVD部

電　源	AC 100 V ± 10 %、50/60 Hz ± 0.5 %
消費電力	動作時 ：約23 W 待機時 ：約2.2 W　(時刻表示消灯時：約1.7 W)

■ビデオ部

録画方式	VHS規格
テープ速度	33.35 mm/秒(標準) 11.12 mm/秒(3倍)
使用カセット	VHSビデオカセット
録画時間	最大9時間(T-180使用：3倍の場合)
早送り・巻き戻し時間	約1分(T-120使用の場合)
映像方式	
● テレビジョン方式	NTSC方式、525本、60フィールド
● 入力	1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
● 出力	1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
● 受信チャンネル	VHF：　1〜12チャンネル UHF：　13〜62チャンネル CATV：C13〜C63チャンネル
● VHF/UHF アンテナ入力	75 Ω
● RFコンバーター出力	VHF1または2チャンネル
音声方式	
● 入力	309 mV、47 kΩ(ピンジャック)
● 出力	309 mV、1 kΩ(ピンジャック)、 負荷インピーダンス：10 kΩ
● トラック数	3トラック (ハイファイ：2トラック、 ノーマル：1トラック)
ハイファイ音声特性	ダイナミックレンジ：　90 dB以上 ワウフラッター：　0.005 %以下 周波数特性：　20 Hz〜20 kHz

■DVD部

再生可能ディスク	DVDビデオ DVD-R(DVD-Video compatible) 音楽用CD(CD-DA) ビデオCD CD-R/RW (CD-DA、ビデオCDフォーマットのディスク/MP3で記録されたディスク)
信号方式	NTSC
映像出力	
● ライン	1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
● S映像	Y出力：1.0 Vp-p、75 Ω C出力：0.286 Vp-p、75 Ω
● D1映像	Y出力：1.0 Vp-p、75 Ω C_B出力：0.7 Vp-p、75 Ω C_R出力：0.7 Vp-p、75 Ω
音声出力	
● ライン	2 Vrms(1 kHz、0 dB) (ピンジャック)
● 端子数	2CH：1系統 サブウーハー出力(0.1CH)：1系統
音声出力特性	
● 周波数特性	● DVD(リニア音声) 4 Hz〜22 kHz(48 kHzサンプリング) 4 Hz〜44 kHz(96 kHzサンプリング) ● CD：4 Hz〜20 kHz(JEITA)
● S／N比	● CD：115 dB(JEITA) (DVD専用出力端子)
● ダイナミックレンジ	● DVD(リニア音声)：102 dB ● CD：98 dB(JEITA) (DVD専用出力端子)
● 全高調波歪率	● CD：0.0025 %(JEITA) (DVD専用出力端子)
デジタル音声出力	
● 光デジタル出力	光コネクター

許容動作温度	5 〜 35 ℃
許容動作湿度	35 〜 80 %(結露なきこと)
時計部	クォーツ制御、24時間、 デジタル表示
本体外形寸法	約幅 430×高さ89×奥行345 mm
本体質量	約5.2 kg

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

「故障かな?」(➜70〜73)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体(ビデオ/DVD)表示窓に「サービス番号」(➜73)が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、DVDプレーヤー一体型Hi-Fiビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
  注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル(全国共通番号)　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　**お客様ご相談センター**

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）
FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**
365日／受付9時〜20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北 海 道 地 区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東 北 地 区

地区	住所	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首 都 圏 地 区

地区	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中 部 地 区

地区	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近 畿 地 区

地区	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中 国 地 区

地区	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四 国 地 区

地区	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九 州 地 区

地区	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

地区	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

Panasonic DVDプレーヤー一体型Hi-Fiビデオ NV-VHD1 取扱説明書

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 DVDプレーヤー一体型Hi-Fiビデオの点検を！

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 時刻表示などに異常がある
- テープをいためた
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	NV-VHD1
	販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	

松下電器産業株式会社

AVCネットワーク事業グループ
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

システム事業グループ
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号

VQT9499
F1101Sa0 (30000 Ⓐ)

Ⓒ Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.(松下電器産業株式会社)2001